

ムトス飯田まちづくり 活動報告集



第35回ムトス飯田賞
「小野子区」



第35回ムトス飯田賞
「ふれあいボランティア もみじの会」



令和元年度
ムトス飯田推進委員会

「ムトス」とは、広辞苑などにも載っている言葉「むとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味が込められており、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は、昭和57年3月に市が作成した「10万都市構想」において、理想とする都市像の実現に向けての行動理念・合言葉として「ムトス」を使用しました。

飯田市自治基本条例（平成19年4月1日施行）にも、まちづくりに進んで参加するムトスの精神について謳われております。「ムトス」を地域づくりの合言葉にして、私たち一人ひとりの心の中にある「地域を愛する想い、自分ができることからやってみよう」とする自発的な意志や意欲、具体的な行動をあらわし、住みよいまちづくりをめざしています。

ムトス飯田表彰事業は、「ムトス飯田の精神を広めるために役立ててください」という一市民の寄付が契機となり、昭和60年度に創設されました。以来、「ムトスの精神」が際立ち、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰してきました。この賞には、受賞者のムトスの活動をたたえ励ます気持ちと、受賞者の生き生きとした活動の姿が、私たち一人ひとりの秘めているムトスと呼び起こし、市民活動が発展していくことへの「期待」が込められています。ムトス飯田賞は、創設から今回の第35回までに、73団体と2個人に授与され表彰されております。

ムトス助成事業は、平成3年度からふるさと創生の1億円を基金として、公益的な地域づくり活動を支援するために、独創的で波及効果のある地域づくりの活動に対して助成事業を開始しました。毎年、団体・個人からの助成金申請に対して、会長（飯田市長）と各分野で活動する市民でつくる「ムトス飯田推進委員会」が審査し、ムトスの精神にふさわしい団体等に助成をしています。平成30年度までに541の団体・個人の活動を支援してきました。

飯田市のまちづくりは、多様な主体の協働により、団体や個人、NPO・NGO、各地区のまちづくり委員会などに支えられています。右肩上がりの時代が終わり社会経済が停滞し先が見えにくい状況の中、市民協働の広がりへの期待が大きくなってきています。市民を軸に、多様な主体が地域で連携して取り組む「結い」が、今後の飯田市のまちづくりには大変重要になります。

ムトス飯田推進委員会では、市民の皆様の活動状況を広く情報提供して、今後のまちづくりや協働の参考にしていただくよう、ムトス飯田に関係する団体等を中心にした「活動報告集」を毎年発行しています。新たな繋がりや構築や連携、地域づくり活動の一助としていただければ幸いです。

この活動報告集を作成するにあたり、情報提供をいただきましたムトス飯田助成団体、歴代ムトス飯田賞受賞団体、まちづくり委員会等及びNPO法人の皆様をはじめ、ご協力いただきました方々に、深く感謝とお礼を申し上げます。

皆様のご活躍と、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

令和2年2月

ムトス飯田推進委員会

— 目 次 —

I 第35回 ムトス飯田賞受賞団体のご紹介	ページ
・ 小野子区	1
・ ふれあいボランティア もみじの会	2

II 令和元年度 ムトス飯田助成事業 助成団体活動報告

まちづくり・地域づくり応援事業	ページ
・ 松尾郷土芸能まつり実行委員会	3
・ 天龍峡篠笛愛好会	5
・ ラン伴飯田2019実行委員会	7
・ NPO法人南信州クラブ	9
・ 名古屋三菱壮年団	11
・ 鼎地区まちづくり委員会(豊かで潤いのある元気な鼎を実現するための構想の策定)	13
・ 代田地区寺子屋運営委員会	15
・ 代田獅子囃子保存会	17
・ プロ野球選手を招く会	19
・ 川路七区	21
・ シャレルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会	23
・ NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師	25
・ しなの大和	27
・ 水城区お立ち符保存会	29
・ 下栗案内人の会	31
・ 座光寺地域自治会(ふるさと座光寺へ還ろう「プロモーションビデオ」制作事業)	33
・ アンサンブル・ヴィルトゥオーゾ吹奏楽団	35
・ 信州森組	37
・ はなのき友の会	39
・ 千代地区まちづくり委員会(野池親水公園活性化事業)	41
・ 森集人プロジェクト	43
・ 農愉快	45
・ NPO法人もりの学校	47
・ 佐倉さま桜まつり実行委員会	49
・ IIDA WAVE	51
・ 川路まちづくり委員会(川路へ帰ろうプロジェクト)	53
・ 芸能の郷づくりの会	55
・ 大瀬木自治区	57
・ 米川桃源郷プロジェクト委員会	59
・ 夢かなえ隊	61
・ 一般社団法人 レキップ飯田	63

III 市民活動団体のご紹介 (情報提供いただいた団体)

1 ムトス飯田賞 受賞団体 (受賞年度順)			ページ
・ 伊那史学会	平成元年度	第5回受賞	65
・ 伊那谷自然友の会	平成6年度	第10回受賞	66
・ 飯田市民吹奏楽団	平成8年度	第12回受賞	67
・ 風越山を愛する会	平成8年度	第12回受賞	68
・ 飯田少年少女合唱団	平成9年度	第13回受賞	69
・ 上飯田タ市グループ	平成12年度	第16回受賞	70
・ 飯田観光ガイドの会	平成12年度	第16回受賞	71
・ 飯田子ども劇場	平成13年度	第17回受賞	72
・ ひさかた風土舎	平成14年度	第18回受賞	73

・黒田人形保存会	平成14年度	第18回受賞	74
・飯田交響楽団	平成15年度	第19回受賞	75
・南信州蕎麦達人の会	平成15年度	第19回受賞	76
・子ども科学工作教室推進協議会	平成16年度	第20回受賞	77
・下栗里の会	平成17年度	第21回受賞	78
・木沢地区活性化推進協議会	平成17年度	第21回受賞	79
・杵原学校応援団	平成20年度	第24回受賞	80
・南信州飯田 おもしろ科学工房	平成21年度	第25回受賞	81
・麻績の里振興委員会	平成21年度	第25回受賞	82
・遠山山の会	平成22年度	第26回受賞	83
・社会医療法人栗山会 飯田病院	平成22年度	第26回受賞	84
・みんなの家 ぬくぬく	平成24年度	第28回受賞	85
・地域ぐるみ環境ISO研究会	平成26年度	第30回受賞	86
・NPO法人南信州おひさま進歩	平成26年度	第30回受賞	87
・華齢なる音楽祭実行委員会	平成28年度	第32回受賞	88
・夢くらぶ	平成28年度	第32回受賞	89
・橋北面白倶楽部	平成30年度	第34回受賞	90

2 ムトス飯田助成事業 平成29, 30年度の助成団体等 ページ

・おはなしのいす	91
・ふれあいボランティアもみじの会	92
・遠山郷観光協会	93
・まるやま石窯部	94
・虎岩の文化財を守る会	95

3 まちづくり委員会等 ページ

・橋北まちづくり委員会	96
・橋南まちづくり委員会	97
・羽場まちづくり委員会	98
・丸山まちづくり委員会	99
・東野まちづくり会議	100
・座光寺地域自治会	101
・松尾地区まちづくり委員会	102
・下久堅地区まちづくり委員会	103
・上久堅地区まちづくり委員会	104
・千代地区まちづくり委員会	105
・龍江地域づくり委員会	106
・竜丘地域自治会	107
・川路まちづくり委員会	108
・三穂まちづくり委員会	109
・山本地域づくり委員会	110
・伊賀良まちづくり協議会	111
・鼎地区まちづくり委員会	112
・上郷地域まちづくり委員会	113
・上村まちづくり委員会	114
・南信濃まちづくり委員会	115

4 特定非営利活動法人（NPO法人） ページ

・飯伊学生防犯対策支援協会	116
・飯田ブルーベリー振興会	117
・ひなた	118
・おしゃべりサラダ	119

第35回ムトス飯田賞 受賞団体

小野子区 ～ 小さな集落の革新的な取り組み ～

上久堅小野子区は、57戸からなる小さな集落であり、区民が助け合って、楽しく暮らしていくため、地域課題に対して常に革新的な取り組みを行ってきています。

「全日本ゲタ飛ばし大会」は平成11年に長野県サンセットポイント百選に選ばれたのを機に始めたもので、本年で21回目となり、県外からも含め85名の参加者がありました。小野子地区の温かいおもてなしもこの大会の魅力です。「おもしろそうだからやってみよう」と軽い気持ちで始めた行事も今では伝統行事となっています。この発想と行動力、そして自分達が楽しみながら運営をしていることが、本大会をここまで継続させている理由であり、コミュニティの熟成にも寄与していると感じます。

地区にある「クラインガルテン(農園付き貸し住宅)」も地区内の住民により平成12年から行われています。借りるためには地区民との交流も前提となっており、借りていた方が空き家を改修して移り住んだ事例もあります。昨年度は一般社団法人東京農業会議が支援隊の活動と合わせ視察に来ています。



昨年 視察の様子(クラインガルテン)

「小野子人参クラブ」は、小野子に古くからある人参を復活させようと平成16年に設立され、活動を続けています。人参はそのまま食べても良いですが、ジュースに加工し販売も行っており、三遠南信自動車道の開通式の乾杯にも使用されました。また、小学校の総合的な学習の時間として、小学校と連携しながら取り組んだ時期もあり、現在も多くの方に参加いただきながら活動を続けています。

そして、平成29年に「小野子支援隊」を組織し、新たな取り組みを始めました。これは、地区内での困りごとについて、低廉な作業単価を定めて区民が気がねなく助け合える仕組みづくりです。田畑の草刈り、支障木除去、除雪、ゴミ出し、障子貼り等ですが、高齢化に伴いできなくなっている作業に対して、できる区民が協力する仕組みづくり、活用し合っています。

今でも集落としての課題は山積していますが、これまでも取り組んできたように、住民の知恵と工夫と汗をかく覚悟があれば、解決できることもあります。このムトスの精神を持ち続け、次の世代にもつなげていくことができれば、地区の維持や活性化に繋がっていくのではないでしょうか。

- ◆区 長 ながぬま 長沼 しまお 孜磨 雄
- ◆発 足 明治22年
- ◆会 員 152名



全日本ゲタ飛ばし大会



小野子人参クラブ収穫祭

第35回ムトス飯田賞 受賞団体

ふれあいボランティア もみじの会

～音楽で元気を届け、歌と踊りを一緒に楽しむ～

福祉施設などで、大正琴・ハーモニカ・音響（カラオケ）の音に合わせて、皆さんの知っている歌を私たちが手作りした「歌集」をめくりながら、「一緒に歌う」ことが私たちのモットーです。出演内容は、歌だけでなく体操のような踊りや、プロ並みに歌える会員がいるので、華麗なドレスを着ての「独唱」、フラダンスなども取り入れ、最後は「きよしのズンドコ節」の歌でボンボンをつけた手袋を利用者さんにはめてもらい一緒に踊ると、場内は最高の雰囲気になり盛り上がって終わるようにしています。



一緒に「きよしのズンドコ節」で盛り上がる



大正琴で「信濃の国」を演奏しみんなで唄う

大正琴の音色に合わせて童謡・唱歌、音響（カラオケ）では懐メロや若いころよく歌った歌を唄うのですが、日頃声も出さない方にマイクを向けると「歌えない」と言いながらも口ずさんだり、大きな声を出して歌うなど、職員からも驚くほど利用者さんが笑顔と明るい表情をしてくれると言って喜んでもらっています。また、手を振ったり身体を動かすので一定のリハビリ効果が生まれていると思います。終わってから利用者さんと一緒にお茶を頂き、わず

かの時間ですが交流することもあります。出演時間は40分～60分ですが、訪問先への移動時間や機材の設定・片付け・車への積み下ろしなどを含めて1回の訪問に2～3時間を月に約20回、年間平均213回の活動をしています。このような活動を平成26年11月に始めて満5年を過ぎました。現在会員は女性13名、男性2名（会費月500円）年齢は60歳後半～70歳後半です。今後会員の高齢化も進みますが、私たちも利用者さんからパワーをもらいながら、「地域の高齢者が益々元気で楽しく暮らせるために」との思いをもって、この有意義なボランティア活動に確信を深め長く続けていきたいと考えています。

私たちの仲間には是非入ってみませんか？

- ◆代表者 中島 茂
- ◆副代表 吉地 道子（事務局）
- ◆発 足 平成26年度
- ◆会 員 15名
- ◆連絡先 090-4158-9364



もみじの会メンバー

取組名称	松尾の未来を考える～松尾地区基本構想策定事業～
団体名	松尾地区まちづくり委員会
代表者氏名	宮澤 直人
地区名	松尾地区

取組みの目的	<p>松尾地区基本構想策定の取組は、昭和58年に飯田市ムトス事業の助成を得て「八幡の街づくり委員会」から始まっている。昭和60年には国の都市計画補助事業により居住環境等の調査を実施し、昭和62年から特別委員会を設けて検討、平成2年には基本計画等(第一次)の実施実現を飯田市に対して依頼している。</p> <p>平成4年から推進委員会を組織して取組を図ることになったが、進展が見られないまま時間が経過し、社会情勢とも合わなくなったことから、平成10年に改めて基本構想を策定することを決定している。</p> <p>平成12年には、各区からの推薦と公募による検討組織(まちづくり委員会、最終的には67名)を組織して、ワークショップや住民アンケートなどにより検討を進め、平成14年に「基本構想 やらまいか松尾」(第二次、計画期間:平成14年度～平成33年度)を策定している。</p> <p>この基本構想は、計画期間が20年間と長期にわたるものであったことや、中間年度での進行管理について定めていないことなどから、現在の経済状況等と合致しなくなっている。</p> <p>今回リニア時代を見据え、10年後の目指すべき松尾の姿を描き、その実現に向けて地区民自らが自主的に活躍するため、改めて基本構想を見直し、新しい基本構想を今年度中に作り上げることを目的とする。</p>
具体的内容	<p>平成29年10月にまちづくり委員会内に特別委員会を設置して基本構想(第三次)の改訂に着手した。現在基本構想特別委員14名、分科会委員36名、合わせて50名の体制で検討を進めている。</p> <p>基本構想を策定するにあたり、これらの委員を中心に外部有識者との情報交換や先進地の情報収集などを行う。</p> <p>また、策定した基本構想を広く地区民へ周知するため冊子を印刷し、配布する。</p>



説明 | 松尾の未来を考える学習会の開催



説明 | 健康長寿の取り組み例(通所サービスB)



説明 | 小学校でのあいさつ運動



説明 | 未来へ残す地域の宝(くよとの桜)

取組の経過	<p>4月10日 基本構想役員会 4月17日、10月7日 基本構想特別委員会 5月16日 学習会の開催</p> <p>※通年で分科会を開催(5つの分科会で各分科会おおよそ月に1回程度の会議)</p> <p>7月22日 松尾地区市政懇談会(基本構想の検討内容の報告) 10月29日、12月17日 分科会合同会議</p> <p>以下実施予定 1月 完成、印刷、各戸配布</p>
取組の効果	<p>地区民自らが基本構想を策定することで、地区民が自立的に自らの地域の未来を考え、行動することに繋がった。 地区の将来像を地区全体で共有することで、外部へ地区の総意を示しやすくなる。</p>
今後の取組	<p>基本構想の中に具体的に取り組む事業を盛り込み、その進捗管理を行うことで、基本構想の進み具合を常に確認していくこととする。 状況の変化に対応できるよう、随時基本構想の内容の見直しを行っていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	400,000
	うち助成金(見込み)	280,000
主な経費内訳 (上位3項目)	未来を語る研修費	100,000
	印刷製本費	236,500
	事務費	63,500

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	祇園囃子等の伝統芸能継承
団体名	天龍峡篠笛愛好会
代表者氏名	清水 實
地区名	川路

取組みの目的	<p>川路には、伝統芸能の川路祇園祭があり、そこでは必ず篠笛が演奏されています。しかし、篠笛自身が伝統芸能であると思っていますので、祇園以外の場面でも篠笛を演奏することで、伝統芸能を継承していると考えています。</p> <p>よって、私達は伝統芸能を継承するため、様々な場面で篠笛演奏を行っていきたくと思っています。</p>
具体的内容	<p>昨年から練習してきましたので、今年からは、演奏する機会を見つけて篠笛演奏を積極的に行っていきたいと思っています。具体的には、天龍峡での春の花祭り等の各種イベントへの参加、文化祭、敬老会での演奏等であり、多くの演奏機会があると思っています。</p> <p>天龍峡での演奏活動には重点を置いて、天龍峡に篠笛文化を育てていきたいと考えています。</p> <p>祇園囃子では昨年と同様に篠笛演奏の指導を担当していきます。</p> <p>そのために、篠笛、教材、音響機器を充実させ、さらに演奏技術を磨くため、昨年に引き続いてプロ篠笛奏者からご指導を受けます。</p>



川路祇園祭りの練習教習



川路敬老会での発表



上久堅北田遺跡「月見の宴」での発表



三遠南信自動車道天龍峡ICでの発表

取組の経過	<p>川路には伝統芸能となっている祇園祭があり、そこでは必ず篠笛が入っており、囃子の重要な部分を担っています。祇園以外の祭りでも笛は活躍していますから、川路には昔から篠笛文化と呼べるものが、目立たない状態で存在していました。その篠笛を天龍峡の文化に育てたい。この峡谷に笛の音色を響かせたい。そして天龍峡を舞台にした伝統芸能祭を行いたい。そんな夢のような事も実現できるようにと取り組んでいます。</p> <p>1. 練習日は毎月第2水曜日19:00から約1.5時間 毎月第4水曜日19:00から約1.5時間 場所は川路公民館です。</p> <p>2. 指導を福原道子先生から受けています。月1回篠笛教室で受けます。</p> <p>3. 川路祇園囃子を、6月～7月に各区で指導して練習を行いました。</p> <p>4. 発表会への参加 ○2019年7月上旬 「川路祇園祭り」で各自各区の祇園囃子にて練習教習と祭りへの参加 ○2019年9月14日 上久堅北田遺跡「月見の宴」で発表 ○2019年9月22日 川路敬老会で発表 ○2019年11月10日 三遠南信自動車道天龍峡IC完成イベントで発表</p>
取組の効果	<p>祇園囃子では、川路全地区で篠笛演奏を小学生に教えています。この時期に習った小学生は、中学、高校、そして成人になった後も祇園祭りに参加してくれます。すばらしい世代間交流ができており、地域への波及効果は非常に大きいです。</p> <p>天龍峡においては、その峡谷に篠笛の音色を響かせることで、観光に大変役立つものと思います。</p> <p>敬老会等での演奏においては、その音色の響き、心地良さで参加者のみなさんが癒され、楽しい時間を過ごすことが予想され、効果は大きいと思います。</p>
今後の取組	<p>継続して、敬老会等での演奏活動は行っていきます。</p> <p>天龍峡においては、篠笛以外の伝統芸能を含めた祭りを開催したいと考えています。南信州には伝統芸能と呼ばれる物が多くあり、川路の祇園を含めたその祭りを、三遠南信自動車道の要となってくるこの地で開催できれば、その自動車道の沿線地域の活性化に繋がると思われ、広い範囲に活動が広がると思います。</p> <p>天龍峡の景観を舞台にすることは出来ると思いますが、舞台施設が現状ではありません。屋内施設が望ましいと思われませんが、屋根が付いていれば屋外施設でも良いですから作って頂けるよう要望していきたいと思います。</p> <p>天龍峡ICでは、軽トラ市、テント市の開催が計画されており、そこでのイベントに参加していきたいと思います。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		313,000
うち助成金(見込み)		219,000
主な経費内訳 (上位3項目)	備品(音響機材、篠笛等)	138,000
	受講料	105,000
	事業費(練習活動、演奏会参加等)	50,000
	事務費(印刷費、インク代等)	50,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	RUN伴+Nanshin 2019 飯田地区大会
団体名	RUN伴飯田2019 実行委員会
代表者氏名	社会医療法人栗山会飯田病院 小宮山 徳太郎
地区名	飯田市大通

取組みの目的	認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活でき、社会の一員として活動できるよう、認知症の認知症の啓発と理解を広め、あわせて認知症の方が積極的に社会参加できるような地域づくりを行う。また、認知症のあるなしや年齢にかかわらず、地域で暮らす誰もが混ざり合いながら、楽しみや生きがいを持って暮らしていけるような地域づくりのきっかけとして、だれでも一緒になって参加できる「RUN」イベントを行う。
具体的内容	飯田地区内のコース約10Kmを、リレー形式でタスキをつなぐ。参加者は3人以上1組でチームを作って参加する。今年はスタート地点・ゴール地点を旧南信州地場産業センターに設置し、旧市街5地区～鼎下山地区～西鼎と昨年よりも多くの地域をまたいでのリレー開催となった。スタート・ゴール地点では、有志によるジャズバンドの演奏や地域の農家の物販など地域を巻き込んだ形でイベントを盛り上げた。 中継地点をルート上に介護施設を設定することで、職員はもちろん入所者やその家族も応援に出てきていた。また、当日応援に來れない方も、応援用のボンボンや旗づくりで協力してくれた。 認知症当事者の参加が昨年よりも大幅に増えて、10名の方が車いすや杖を使いながら、自分のペースに合わせて参加した。



説明 開会式での準備体操



説明 第1走者のスタート



説明 大人も子どもも一緒に街中を走る



説明 会場内でのイベントの様子

取組の経過	<p>28年度にNPO法人認知症フレンドシップクラブ(全国)主催のRUN伴に飯田地区として初めて参加し、今年で4年目の開催となった。飯田旧市街地をつなぐタスキリレーからはじまり、市内の他の地区へもコースが広びてきたと同時に、松川・高森・阿智と他地域で開催する地区も増えてきており、飯田下伊那地域全体でタスキがつながる大きなイベントとなってきている。また、駒ヶ根や宮田でも開催がはじまるなど、RUN伴を通して南信地域のなかでの交流も広がっている。</p> <p>今年度は毎年課題としてあった、幅広い年齢層のランナーに参加していただくという点では、認知症当事者を含め、子供世代の参加を増やすことを特に目標として広報・周知を行った。</p> <p>【経過】 2019年1月 全国開催説明会参加 2月 全国本部へ参加登録 4月 実行委員会発足 6月ルート決定、チラシ等作成 7月参加者申込・協力金依頼開始 9月申込終了、ランナーの担当区間振り分け、当日スタッフミーティング 9月28日 当日 ○当日○参加チーム数16チーム ランナー約90名 スタッフ約50名 12:00イベント開始 12:45開会式 13:00スタート(旧市5地区～鼎下山～西鼎) 15:30ゴール</p>
取組の効果	<p>タスキリレーの参加者は毎年増えており、初年度約50人であったランナーは今年度は飯田地区で 90人、下伊那圏域で200名となった。ランナーの年齢層も変化しており、今まで参加してくれていた30代40代の参加者が子供や親世代に声を掛け参加につながっている。また、認知症当事者の方の活躍も増えており、初年度2名の参加であったのが今年度は10人となり、社会とつながる機会のひとつとなっている。認知症の当事者が家に閉じこもり、家庭の問題となってしまいがちな認知症だが、RUN伴を通して地域とのつながりを取り戻すきっかけとして、役割を果たしてきているのではないかと。</p>
今後の取組	<p>新たな参加者の獲得や、より地域に開かれたイベントにしていくためにも、ランナーだけでなく、誰もが気軽に遊びに来れるような催しを計画していく。</p> <p>過去3年間、継続的に行ってきたことで、参加者の増加はもちろんだが、何より認知症当事者の参加が増えたことは大きな成果と言える。地域のひとと認知症の人が新たなつながりを持つ、また今までの繋がりを一層強くできる「イベント」としてあり続ける様、今後もこの取り組みを継続していく。</p> <p>RUN伴はあくまで非日常のイベントであるため、RUN伴を通して始まった繋がりが、日常の中で生かせるような形も考えていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		432,234
うち助成金(見込み)		296,000
主な経費内訳 (上位3項目)	タスキ・応援旗等作成費、安全対策スタッフTシャツ代等事業費	200,453
	チラシ・ポスター・ホームページ等広報費	175,344
	チラシ発送費、写真印刷費等事務費	49,437

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	健康体操教室・サロン付買物弱者支援無料バス運行
団体名	NPO法人南信州クラブ
代表者氏名	木下 要弥
地区名	

取組みの目的	買物弱者対策用の買物バスを無料で運行する。 居住地の近くにスーパーがなく、運転免許・自家用車がなく一人ではなかなか買物に出掛けられない高齢者をサポートする。 また、ロコモ対策を含めた健康教室を開催するとともに、茶話会を開催し健康寿命の延伸に寄与する。
--------	---

具体的内容	当クラブでは平成31年2月にマイクロバスを購入し、前年度事業で活用した。週末は中学生や女子の活動に利用するが、平日は日中であっても自由に利用できる。 そこで、総合型地域スポーツクラブである当南信州クラブは、本年度まで子供の運動遊び教室は実施してきたが、本年も高齢者対象の体操教室を毎週水曜日に開講する。 それにあわせ、一人では簡単に買い物に出掛けられない高齢者を体操教室後に地元経営のスーパーに寄って買物をしてもらいことを計画。 講師は基本的に当クラブの担当者が務めるが、月に1回4月～2月まで毎月第3水曜日に指導力のある隣村の総合型地域スポーツクラブから講師を招聘する。 それ以外の水曜日は当クラブ担当者が転倒予防の体操を施す。 また、参加者同士の懇親を深めるため茶話会を開催する。
-------	---



説明 健康体操教室4/17

説明 健康体操教室5/15



説明 健康体操教室6/19

説明 健康体操教室9/18

取組の経過	4月3日 今年度の運行開始(毎週水曜日) 以後4月3回、5月5回、6月4回、7月4回、8月2回、9月4回、10月5回、11月4回、12月4回 実施。 以後3月11日までに、1月4回、2月4回、3月2回実施予定 7月上旬 チラシ配布
取組の効果	1、健康体操により、ロコモティブシンドロームを防ぎ健康寿命の延伸を図る。 2、サロン(茶話会)開催により仲間を増やすとともに関係を深め、独居による脳機能の低下を防ぐ。 3、独居希望者の見守りにもなる。 4、特に生鮮食料品の購入を援助し、健康的な生活の維持に寄与する。 5、地元経営のスーパーでの購入により地元経済の活性化に寄与する。
今後の取組	1、実態を把握しながら対象地域・日数を増やしていきたい。 2、買い物はスーパーだけにとどまらず、例えば丘の上商店街での買い物も計画する。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		141,400
うち助成金(見込み)		98,000
主な経費内訳 (上位3項目)	印刷代	86,400
	講師謝礼	55,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	名古屋熊壮年団100周年記念誌発行事業
団体名	名古屋熊三菱壮年団
代表者氏名	事務局 関島和幸
地区名	飯田市鼎名古屋熊

取組みの目的	<p>名古屋熊壮年団の活動の歴史は、名古屋区の地域の歴史と密接に関わり合っている。この度、名古屋熊壮年団は100周年を迎えます。</p> <p>今後、リニア中央新幹線開通・三遠南信自動車道全通の時代を見据えるとき、これまでの地域の歴史を振り返っておくことは大変重要である。</p> <p>このため、壮年団創立100周年に当たり、これまでの名古屋熊壮年団の活動と地域の歴史とを重ね合わせながら振り返り、記念誌として編纂するとともに、これを区内全戸に配布して、区民をはじめ若い世代に歴史を知っていただき、将来の地域像を考えるきっかけとしたい。</p>
具体的内容	<p>以下のような内容で創団100周年記念誌を編纂し、区内全戸に配布し、記念誌活用を進める。</p> <p>(1) 壮年団100年の歴史をまとめたこの記念誌は、今までの地域との関りが分かりや、活動の様子をわかりやすく知ることができます。そして区内の歴史文化にも多く触れることができると考えます。まず作成した団員が過去を知り学び、今後の活動をどうしていくか考えるきっかけにします。そして「こどもを育む会」との歴史を学ぶ場で教材として活用していきたい。</p> <p>(2) 獅子舞の記録動画を作成し、獅子舞を知らない世代へ、また全国へも名古屋地区を獅子舞の様子から知っていただきたく、動画というツールから興味を持っていただきたい。QRコードでの動画配信。</p>



説明

編集作業



説明

獅子舞練習



説明

獅子舞



説明

稲井学校

取組の経過	2018年から記念誌部が立ち上がり、様々な資料、写真を集め、各記事の部会ごと記事の内容を作成してまいりました。過去の歴史を紐解き、先輩の方々からお知恵を借りて、中身の濃い記念誌を作り上げるよう各部会が努力してきました。特に歴史に関しては不明な点や、確認が取れない部分がありましたが、区史を活用したり図書館資料を用いて形ができてきました。また、壮年団らしい現代らしさを盛り込みたいと思い、トークコーナーや、過去と現在のカラー写真をふんだんに使用しました。獅子舞に関しては動画を作成し、誰もがどこでも名古屋獅子舞を見てもらえるように、QRコード化してページに盛り込みました。非常に完成度が高い良い記念誌ができたと思います。
取組の効果	記念誌を編集していく過程が、過去から未来への壮年団の歴史、区の歴史を紡いでおり、編集活動が非常に良い勉強の機会となりました。また、長い期間を用いて会議等を行い、団員や先輩方との協力ができた事は大変良かったと思います。まだ完成していませんが、完成した後に区民の皆様へ配布し今後活用していこうと考えています。
今後の取組	記念誌が完成した後は、区民の民様、協力企業の方々、図書館や振興センターにも寄贈する予定です。まずは、記念動画を見ていただき名古屋の様子を知って頂きたいと思えます。そして、過去から未来へ繋がっていくであろう壮年団と地域の繋がりを紙面から感じていただけたらと思います。さらに、子供たちに伝えられるような場で、記念誌を活用し、大人が楽しく活動している様子をこれからも伝えて行きたいと思えます。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	1,443,600円
	うち助成金(見込み)	270,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	記念誌印刷費用	1,344,600円
	記念動画撮影費用(獅子舞DVD)	77,000円
	記念動画撮影データ作成費用(記録DVD)	22,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	第4次 鼎地区基本構想・基本計画の策定
団体名	鼎地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 安田 完爾
地区名	鼎

取組みの目的	<p>鼎地区では、第1次基本構想・基本計画を平成元年度に策定して以来、10年毎に、第2次、第3次と見直しにより新たな計画の作成を行い、第3次基本計画が平成30年度末で終了となった。</p> <p>今回、まちづくり委員会のみならず、地域の様々な団体から策定委員を選出し、飯田市総合計画「いいだ未来デザイン2028」や「田舎に還ろう戦略」と連動した、新たな第4次の基本計画を策定し、今後12年間の鼎地区の目指すべき姿を明確にし、地域内で共有化する中で具体的な取り組みを進めていく。</p>
具体的内容	<p>○まちづくり委員会及び関係団体等から構成する策定委員会を組織し、7つの分科会に分かれて、今後12年間の地区の基本構想案を検討。</p> <p>○7つの分科会から出された基本構想案を策定委員の中から選定した起草委員会にて整理、修正等を行い、基本構想としてまとめた。</p> <p>○デザイン、写真についても、地域住民からの推薦により担当者を選任し編集・校正を実施。</p> <p>○鼎地区10区のそれぞれの紹介欄を設け、各区で内容を検討して作成。</p> <p>○基本構想(A4版 フルカラー 28頁 4,500部)を印刷し、全戸配布により住民に周知。</p> <p>○独自で概要版を作成し、会議等で内容の説明に利用。</p>



説明

総務文教分科会



説明

健康福祉分科会



説明

第4次鼎地区基本構想・基本計画



説明

市長へ報告

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月16日 第1回 第4次基本構想策定委員会及び研修会実施 ・平成30年9月10日 7分科会リーダー説明会実施 ・平成30年9月～令和元年8月 各分科会実施(計38回) 基本構想内容検討 (Ⅰ:4回、Ⅱ:6回、Ⅲ:7回、Ⅳ:4回、Ⅴ:6回、Ⅵ:4回、Ⅶ:7回) ・平成31年2月～令和元年9月 起草委員会5回実施(2/21・5/23・6/24・8/9・9/5) ・令和元年6月～令和元年9月 デザイン・写真担当者会議4回実施(6/6・7/12・9/5・9/20) ・令和元年8月22日 鼎地区まちづくり委員会区長・委員長会にて原案説明・承認 ・令和元年10月18日 基本構想納品 ・令和元年10月23日 鼎地区全戸へ配布 ・令和元年11月5日 市長・教育長へ報告
取組の効果	<p>○まちづくり委員会役員及び各種団体など多くの地域住民で策定することにより、現状・課題などの共有を図ることが出来た。</p> <p>○まちづくり委員会にとっての今後の課題などに対する具体的な取り組みへの指針となる。</p> <p>○全戸配布することにより、地域住民が将来の地域の姿、現在の課題、今後の取組などを共有し、まちづくり委員会の活動に理解と関心をもつことが出来る。</p>
今後の取組	<p>○年度ごとに7つの分野ごとに取組計画を作成し、具体的な実行に移していく。</p> <p>○4年毎に点検・評価を行い、修正・追加等行いながら、めざす理想の地域となる取り組みを進める。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		915,750
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	基本構想冊子 印刷製本費	915,750

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	代田地区寺子屋
団体名	代田地区寺子屋運営委員会
代表者氏名	松澤 秀明
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的
 明治6年に学校制度ができるまでは、地域の子どもは地域に開設された寺子屋で、読み書き算盤を習っていた。学校制度ができた後は、そのほとんどを学校に任せてしまい「地域の子どもは地域で育てる」との思いを忘れてしまっている。上久堅地区では、夏休みに地域の大人が子どもの面倒を見ることによって、子どもさんと親御さんさんの支援になり「地域の子どもは地域で育てる」との思いを実現できると考え方に立って「寺子屋」を29年前から行っている。この活動を知ってから、何時かは自分の地域でも行いたいとの思いがあった。この考えを同級生や区長さんに相談したところ、「いいことだからやってみようではないか」となり、地区の大人6人が平成24年から始めた。毎年「来年も是非開設してほしい」「ぜひ来たい」という保護者や子どもさん方の声をいただいて今年で8年目を迎えた。

具体的内容
 ○「夏休み寺子屋」は、夏休みの初日からお盆までの平均18日間、毎日朝6時40分にラジオ体操が終わった後、公民館へ入って夏休みの宿題帳を7時30分まで行っている。また、毎日「師匠の話」として地域の大人が子ども(寺子)に話す時間もある。こうした「朝学」の他に、「工作教室」や「星見の会」を行っている。また、1日だけであるが自分でおにぎりを作って食べる「朝食会」を保護者も参加して行っている。
 ○冬休みは「書初め教室」として、学校から出される書初めの課題を1月4日前後の午前中、地域の大人が師匠となって書いている。その中で干支の大文字を幅90cmのロール状の障子紙書くことも行っている。書き終えた後は、お茶会を催して新年の決意を寺子も師匠も語り合っている。でき上がった作品の一番いいものは学校へ持って行き、二番目にいい作品は、地区の文化祭や松尾地区文化祭に出品して見ていただいている。



説明 足し算を1年生と5年生が一緒に考える



説明 師匠のお話を聞き入る寺子



説明 工作教室で作ったフォーククラフトで遊ぶ



説明 師匠のお手本を基に書初めをする

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ・6月26日 代田地区組長会で「寺子屋」について説明し、募集案内の組合回覧を依頼 ・7月 3日 代田地区小学校地区懇談会で寺子屋について説明 ・7月11日 参加者の集約32名・参加者名簿作成 師匠10名連絡網作成 ・7月18日 師匠連絡会。参加児童保護者説明会 ボランティア・ボランティア行事保険加入 ・7月25日 寺子屋入山式(開講)(朝6時45分～7時30分まで) 以後18日間開講 ・7月30日 工作教室開講 ・8月4日 朝食会 ・8月 7日 星見会 ・8月11日 下山式(終了式)・がんばったで賞を授与 ・8月26日 代田地区組長会で活動報告をし、活動報告の組合回覧を依頼 ・8月30日 師匠反省会開催 ・11月26日 代田地区組長会で「書初め教室」を説明し、募集案内の組長回覧を依頼 ・12月13日 参加者集約18名、師匠9名 ・12月16日 小学校・中学校へ書初めの課題と紙の大きさを問い合わせる ・12月24日 師匠連絡会(お手本を書いて練習する) ボランティア行事保険加入 ・1月 6日 書初め教室開催(9時～12時) ・1月26日 代田区組長会で活動報告をし、活動報告の組内回覧を依頼 ・2月 9日 代田地区文化祭で書初め作品を展示発表
取組の効果	<p>(寺子の感想)しずかだったから、べんきょうがどんどんすすみました。(2年生)・勉強で分からなくて、しつこく聞いてもやさしく教えてくれたので勉強がよく分かりました。師匠の過去にあった事やおもしろかったこと、工作教室などがあり、ためになることがあってよかったです。(6年生)</p> <p>(保護者の感想)朝寺子屋で宿題を済ませて帰ってくる子どもは満面の笑顔で「こんなにできたよ」と私に見せてくれ、一緒に○を付けました。その後食べる朝食も食欲が出るので、もりもり食べられ親子共にニコニコの毎日でした。その後も勢いがついているので、プールに行ったり他の活動に参加したりと本当に充実した休みになりました。・家で「宿題をやった?」というような言葉を言わなくなったので、お互いに嫌な思いをしなくていいです。</p> <p>(師匠の感想)今年はずじめて「出て来られる日だけでいい」という言葉に少し気を楽しみ参加させていただきました。先輩の師匠の皆さんはこんなに素晴らしい活動をやっていたということに感動しました。私も良い経験をさせていただき充実した楽しい時間を得ることができました。</p>
今後の取組	<p>○来年も開講していきたいと計画している。この活動は開講時間もラジオ体操が終わった6時45分から7時30分までと実質45分間であり、終わった後から師匠も仕事に行くことができる。また、子どもに教えるのではなく、子どもの学習を見守る活動であることから、特別教職の経験は必要としないことから、代田地区以外でも、師匠となれる人や場所はあるので開講できると思う。これからは他地区でも開講できるように広めていく活動を行っていきたい。</p> <p>○代田地区は女子短大のある上段と国道沿いの下段とに大きく地域が分かれている。公民館は下段にあり、上段の子どもが朝下段の公民館へ歩いて降りてくるのは無理なので、現在は師匠が希望のある場合は送迎をしている。今後上段の希望者が増えれば上段にも開設していくことを考えたい。</p> <p>○運営に関わる費用を今までは、「松尾まちづくり委員会のやらまいか松尾」、「ムトス飯田助成事業」「退職公務員蓮玲下伊那支部松尾」等から支援をいただいて運営することができてきたが、これからは、もっとPTAの皆様との協力をいただくと共に、代田地区の区の事業として位置付けていただけるように働き掛けていきたい。</p> <p>○寺子と師匠となってくださる方をさらに増やしていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		151,200円
うち助成金(見込み)		102,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(ボランティア・ボランティア行事保険)、奨励賞	41,500円
	備品費(プリンター購入)	36,500円
	材料費(生け花教室、書初め用紙、ひらがな練習帳)	20,300円
	その他(講師謝礼、プリンターインク代、用紙代)	52,900円

取組名称	小学生のための「笛」の吹き方教室
団体名	代田獅子囃子保存会
代表者氏名	松澤 秀明
地区名	飯田市松尾代田

取組みの目的
 明治初期に伝授されて以来140年にわたって「代田獅子囃子」は、代田区民の有志によって構成される「代田獅子囃子保存会」が伝承している。2年に一度、代田区の鎮守「下の宮諏訪神社」の祭典に合わせて二日間にわたって地区内を巡行している。獅子の前で稚児(小学3, 4年生女兒)が舞う可憐さに特徴がある。一方男児の参加する場がない。そこで、男児女児に関わらず子ども達に新たに加わっていただき、地区全体で継承していきたいと願っている。昨年度から小学生への参加について活動を展開し、現在13名の子どもが参加している。来春の例大祭では、子ども用の衣装を身に着けた子ども達が地区内を演奏して巡行することを通して、小学生の参加が増えてほしいと願っている。

具体的内容
 昨年度から小学生への参加についてより具体的な活動を行ってきた。①小学校地区PTAで説明会の開催 ②子ども達の集まる行事である「天神様」で獅子舞の披露 ③地区回覧による募集案内 ④保存会役員による個別訪問による依頼 等々を繰り返し実施してきた。その結果昨年末には、10名の小学生が参加をしてくれる事になった。今年の1月から笛の吹き方教室を開講して、長期休みを中心にこれまで13回行ってきた。この練習には笛の師匠となる大人が毎回6～7人参加して支援している。また子どもに分かりやすく伝えるために、楽譜を作成し、指使いについては、絵や映像化してそれをファイル化したり、DVDにする等の工夫を行っている。そうした努力もあり子ども達の上達は目を見張るものがあった。9月には敬老会でお囃子を披露するまでになった。11月には衣装の選定と発注もできた。これからは、春の式年齋に向けて春休み中に集中練習を行って準備をしていきたい。



説明 初めての練習の様子



説明 春休み中の練習の様子



説明 夏休み中の練習風景



説明 9月敬老会で1曲を披露した

取組の経過	<p>7月3日 夏休み前の小学校地区懇談会で小学生の保護者の皆さんへ入会説明会開催 8月26日 小学生の夏まつりで、小学生に直接保存会への入会を勧誘 11月・12月 小学3、4年のご家庭を役員が訪問し勧誘、更に、会長副会長が勧誘、10名入会 12月23日 笛の吹き方教室準備会を開催(手作りの笛、楽譜づくり、演奏法のDVD化) 1月4日・12日 「小学生の笛の吹き方教室」初めて開講 1月26日 組合回覧で「小学生のための笛の吹き方教室」が始まったことを周知 3月10日 保存会総会で、子どもの笛の組織化と来春の祭りに向けて衣装を作ることを承諾 春休み中 3日間「小学生のための笛の吹き方教室」を開講 6月26日 組長会で「小学生のための笛の吹き方教室」について説明、パンフレット回覧を依頼 夏休み前 小学校地区懇談会で小学生の保護者の皆さんへ保存会への入会の説明 夏休み中 4日間「小学生のための笛の吹き方教室」を開講、3人増えて13名となる 9月16日 代田区敬老会芸能祭で、お囃子1曲を披露 その様子の活動報告を組合回覧 11月30日 役員会で子ども用の衣装の選定を行い業者へ発注 小学生の再募集のパンフ配布</p>
取組みの効果	<p>○長期休み中の集まりやすい日と時間帯を調整して、9月までに10回の練習を行ってきた。その中で初めから参加している子ども達は、お囃子の中の1曲が吹けるようになった。そこで、急遽9月の代田敬老会芸能祭で代田獅子囃子保存会が演舞をする中に、特別演奏のプログラムを入れていただき披露した。客席からお花が飛び賞賛の声を受けた。 ○当初はこんなに早く吹けるようになっていかなかった。子どもの支援策として、笛を手作りしたり、楽譜を作ったり、指使いについては図化して映像化してDVDにしたりするなど、今まで取り組んできた練習方法や教授の仕方に自信が持てるようになった。 ○来春の下の宮諏訪大社春季例大祭で、子どものお囃子が加わる見通しが持てるようになった。衣装も整える準備が進んでおり、保存会として新たな歴史を歩みだせる喜びがある。 ○こうした活動を通して、小学生の会員を増やすことへの自信が持てるようになった。</p>
今後の取組	<p>○今春の式年祭に向けて、春休みに集中練習を行い、お囃子3曲を吹けるようにしたい。 ○1月12日に予定されている、新年の子ども会行事である「天神様」で、子どもの笛を加えた獅子舞を演舞して、まだ入会していない子ども達に獅子舞の素晴らしさを披露したい。 ○今春の式年祭で地区内を巡行する時が、地域デビューであるので、子どもの笛のお囃子がよく分かるような隊形を考えるなど、披露の仕方を工夫したい。 ○今春の地区内巡行では、笛を吹く子どもの保護者にも警護役として参加してもらいみんなで楽しみたい。その発展として、保存会への入会を勧めたい。 ○「子どもの笛の吹き方教室」の活動を知ってもらえるように活動報告を行っていく。 ○子どもの笛のお囃子を披露する機会があれば積極的に披露して知ってもらおうようにする。 ○笛を吹けるようになった子どもは、自分で取り組んでみたい、獅子舞やお囃子の他の楽器に、組み替えて取り組んで行けるように支援したい。 ○引き続き、笛を吹く子どもの参加者の募集を行って、会員を増やしていきたい。 ○将来的には、子ども用の獅子頭を作って、子どもの獅子舞ができるまでにしたい。</p>

報告

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	387,960円
	うち助成金(見込み)	274,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(腹掛け、股引、ジャンパー)	294,625円
	備品費(笛)	66,000円
	事務費(プリンターインク、名札、ファイル等)	14,343円
	その他(9)	12,992円

取組名称	2019 第1回飯田市軟式少年野球教室
団体名	プロ野球選手を招く会
代表者氏名	池田 大介
地区名	飯田市

取組みの目的	野球人口の減少の中、飯田市で野球をやっている子供たちの為にプロ野球選手を招き野球教室を開催する。子供達が夢や希望や野球の楽しさを再認識し、沈みかけた他競技にも刺激となり、飯田市のスポーツ、特に野球をやっている子供達の日常生活やチーム活動が充実・活性化することを目的とする。
具体的内容	野球教室参加チーム9団体5,6年生対象99名の子供達が参加。プロ野球選手を招き子供達へ子供達へ野球の楽しさ、技術、次へのステップアップ、保護者や指導者にも勉強となるよう事業を進める。バッティング、守備、走塁、トレーニング、考え方などの技術を教えてもらう。トレーナーの方から怪我防止、トレーニングの仕方を学び子供から大人までが今後の競技生活に活かしていく。講師＝矢野謙次さん(北海道日本ハムファイターズ)、脇谷亮太さん(読売巨人軍)、田丸凌さん(トレーナー)、亀田恭之さん(横浜DeNAベイスターズラミレス監督マネージャー)。



説明

講師への質問



説明

守備



説明

バッティング



説明

トレーニング

取組の経過	2.10プロ野球選手を招く会発足、第1回実行役員会。2.14～プロ野球団体の調査、相談 3.8第2回実行委員会。4.4ムトスへ申請書提出。5.8ムトス面接。6.10ムトス助成金交付決定。9.24飯田FMに生放送出演。10.1プロ野球関係者と繋がる。10.10実行委員1名脱退2名となる。10.17資金集めに動きだす。10.20開催が12/14と決定。10.22講師3名決定。(随時講師との打ち合わせ)。10.27飯田市少年野球チームへチラシ配布。11/9各チーム代表者への説明会、協力団体決定。11.27講師もう1名決定4名となる。11.28ムトスへ概算払い請求。11.29参加チームへ講師追加1名の名前を連絡。12.10講師へ謝礼支払い。12.13直接講師との打ち合わせ。12.14野球教室当日朝、協力団体と打合せ。野球教室開催。
取組の効果	参加された子供、保護者、指導者の意識、知識、技術が向上。子供達が緊張していましたがだんだんと笑顔がいっぱいになったことや、保護者からもこういう事業があるといいなと昔から思っていた、ワクワクした、勉強になった、また来年もやってくれるようなら協力したいなどのお声も頂き、飯田市の少年野球に刺激が与えられたような気がします。
今後の取組	今回ほぼ1人でやってきましたが、当日に協力していただいた団体から貴団体の年間行事に入れていただけるとのお話を頂き、毎年開催ができるよう相談、運営を一緒にしていただける方ができそうでうれしく思っております。今回来ていただいた講師の方々から「いままでやってきた野球教室の中で一番楽しかったし良かった」との連絡がきて、来年も飯田市軟式少年野球へ協力させてくださいと言っていただき感激しました。今回は10月17日に開催が決定したので予算集めが大変でしたが、今回はこの繋がりを持って早めの動きができそうですので早い段階から動いていくつもりです。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	682,271
	うち助成金(見込み)	240,000
主な経費内訳 (上位3項目)	講師謝礼	605,000
	備品購入	32,045
	交通費	23,000
	その他	22,226

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	相生「花いっぱい」運動
団体名	川路七区
代表者氏名	中島良彦
地区名	川路七区

取組みの目的	<p>天龍峡の活性化に関しては、飯田市観光課が主体となって、公園を中心に整備が進んでおりますが、天龍峡駅から派出所に至る旧商店街の空き家、空き地化が進み、だいぶ寂れた印象となって来ております。この寂れた印象の天龍峡旧商店街を中心とした川路七区を花でいっぱいにして、少しでもさわやかな、明るい印象の街に変えて行き、住む人の気持ちを明るくし、子供が故郷に愛着を持てるようにして行きたいと考えております。</p> <p>更に、天龍峡を訪れる観光客の皆さんにも、良い印象を持ってお帰り頂けるようにして参りたいと考えております。</p>
具体的内容	<p>昨年、一昨年のドーム菊の区内展示、ミニ公園の維持に追加して、新ミニ公園の造成及びイルミネーションの飾り付け活動を進めて参りました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「天龍峡秋の彩展」に連動した、ドーム菊の七区区内配布と公共施設への展示 2. 春、夏の「花いっぱい」運動として、プランターに花苗を植えたセットを希望家庭に配布し、地区を花で飾る。 3. 天龍峡は空き地が目立つが、昨年造成したミニ公園の隣に新ミニ公園を造成する。 4. ミニ公園内にイルミネーションを飾り付け、クリスマスから正月の期間にかけて花が少なくなる時期に、街を少しではあるが明るくする。



説明 昨年造成したミニ公園の今年度の春



説明 ドーム菊の配置例



説明 新ミニ公園



説明 ミニ公園のイルミネーション

取組の経過	<p>上記活動を支援する為に、天龍峡相生「花いっぱい」運動有志の会を結成し、区役員だけではなく一般の区民の皆さんに参加頂き、以下の活動を展開して参りました。</p> <p>①5月 ドーム菊の挿し木講習会の開催と有志の会会員による挿し木苗の育成 ②6月 地元農家からお借りした畑をドーム菊用畑にする準備作業の実施 ③6月 無償でお借りした空き地をミニ公園にする造成作業と有志で育てた花苗の植栽 ④6月 区民に花苗を配布し、「花いっぱい」運動を展開 ⑤7月 挿し木で育成したドーム菊苗を畑に植栽 ⑥10月 昨年の約倍の数量のドーム菊678株を畑で育て、菊用鉢に移植 ⑦10月 7区区民にドーム菊を配布し、更に公園、メイン道路脇に配置 ⑧11月 ドーム菊の回収と来年の為の親株の定植を実施 ⑨11月 ミニ公園に冬用花苗を植栽し、来年春に向けて花の球根を植付実施 ⑩11月 ミニ公園にソーラー発電式イルミネーション1200球を飾り付けし、点灯を開始</p>
取組の効果	<p>相生「花いっぱい」運動を区民主体で推進することにより、区民の連帯感も深まり、又「天龍峡秋の彩展」への区民の方々の参加意識が芽生え、天龍峡全体の活動に高めることができました。又ミニ公園は当初の期待以上に区民の皆さんの評価を頂き、お年寄りの方がベンチで花を見ながら休んで頂いたり、中学生、小学生がベンチの周りでおしゃべりをする姿が見られ、区民の憩いの場として定着することができました。ドーム菊の配置に関して、今年はドーム菊の栽培を昨年の約倍に増やし、八十二銀行の駐車場付近の道路脇、天龍峡郵便局の道路脇、ミニ公園等公共の施設の道路脇に多くのドーム菊を配置したところ、集団の美により街が美しく飾りたてられ、他地区から来られた方からも活動の取り組みを高く評価して頂きました。又、天龍峡大橋開通により、観光客も大幅に増えましたが、ドーム菊の展示に対する評価は高く、昨年同様多くの観光客の方が、ドーム菊の前で記念撮影をして楽しんでお帰り頂きました。</p>
今後の取組	<p>放置された空き地が目立つ川路七区全体を少しでも明るくしたいと一昨年相生「花いっぱい」運動を立ち上げ、3年間ムトス支援事業として認可頂き、活動を展開して参りました。ドーム菊の展示、ミニ公園の造成、イルミネーションの設置等の活動で、寂れかかった街が少しですが華やいだ雰囲気になり、多くの区民の皆様喜んで頂きました。相生「花いっぱい」運動は、ムトス支援が3年たち、本年度で支援は終了します。この活動を定着させ、更に発展させて行くことが課題となりますが、相生「花いっぱい」運動中心の活動は今後も従来通り継続できると考えております。しかし、活動資金面での支援が無くなりますので、その分の補填が最大の課題となります。現在ドーム菊の有料配布を増やす等の案が有りますが、区民の賛同を得ながら、相生「花いっぱい」運動役員で慎重に検討して参りたいと考えております。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		502,970円
うち助成金(見込み)		300,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	ミニ公園造成代	179,280円
	花苗、培養土、肥料代	218,694円
	ドーム菊用鉢代	51,885円
	その他	53,111円

取組名称	シャルルヴィル・メジェール市訪問ツアー事業
団体名	シャルルヴィル・メジェール市訪問ツアー実行委員会
代表者氏名	実行委員長 一ノ瀬孝司
地区名	龍江

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年8月9日、人形劇が縁で天竜峡桜街道が、「シャルルヴィル・メジェール通り」と命名された。 ・長年地域住民に愛されてきた同桜街道が、「シャルルヴィル・メジェール通り」と命名された事を地域振興につなげる為に、同市を訪問すると共に、飯田市の産業をPRをすること。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年9月24日～9月30日に15名の参加を得て、シャルルヴィル・メジェール市を訪問する。(訪問日は9月26日) ・同市で開かれている「世界人形劇フェスティバル」に訪問日程を合わせ、訪問すると共に、市長を表敬訪問する予定。 ・また同市の小学校訪問、飯田通りの見学、通り近くの中学校生徒との交流、他。更には、飯田市の産業(飯田市の商品持参)をPRする。



説明

メジェール市庁舎表敬訪問



説明

ノートルダム小学校訪問



説明

フォンテーヌ中学校生徒との交流



説明

飯田通り訪問

取組の経過	<p>1.シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会立ち上げ(H30.12.20)</p> <p>2.シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会(31.3.15)(31.4.10)(元年5.30)(元年6.11)(元年7.19)</p> <p>3.シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会 参加者結団式(元年9.3)</p> <p>4.シャルルヴィル・メジエール市訪問 出発(元年9.23)～帰国(元年9.30)</p> <p>5.シャルルヴィル・メジエール市訪問(元年9.26)市長表敬訪問、ノートルダム小学校訪問及び交流、飯田通り見学及びフォンテンヌ中学校生徒との交流、日本の間開所式参加、飯田の商品PR</p> <p>6.シャルルヴィル・メジエール市訪問ツアー実行委員会 訪問団帰国(元年9.30)</p>
取組の効果	<p>1.地区住民に対しては、龍江新聞(月刊、連載中)。文化祭での交流の様子の写真及び、記録類の展示。龍江ホームページへの交流記録及び仏小学校生徒の贈り物掲載(掲載中)シャルルヴィル・メジエール市の理解と、シャルルヴィル・メジエール通りが地域の大切な宝として認識を深める事が出来ている。</p> <p>2.龍江小学校へは、全生徒を対象に報告会を開催し、理解を深めると共に、仏小学校との今後の交流につなげる様小学校でも対応していきたいとの回答あり。</p>
今後の取組	<p>1.地域住民に対しては更に、賀詞交歓会(2年1.16予定)及び市政懇談会(2年7月予定)、又引き続きの龍江新聞を通じて報告を継続し、更なる広がりを図りたい。</p> <p>2.竜峡中学校生徒へも、訪問報告を実施したい。</p> <p>3.天竜峡桜街道(シャルルヴィル・メジエール通り)桜祭り(毎年4月下旬)を実施する中で、多くの人達に周知を図り、交流人口の増加につなげるべくつとめたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	529,128
	うち助成金(見込み)	240,000
主な経費内訳 (上位3項目)		384,900
		113,328
		30,900

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	木工製品づくり環境整備事業及び森の市への参加協力
団体名	NPO法人いいだ自然エネルギーネット山法師
代表者氏名	中島武津雄
地区名	飯田市下久堅

取組みの目的	<p>①温暖化、プラスチックによる環境汚染、里山の荒廃等を緩和するためには、暮らしの中に地域材の活用を推進する必要がある。そのため、木工製品づくりを効率的に進めるための木材加工施設「木の駅のひさかた」の環境整備を進めたい。</p> <p>②他団体との実行委員会組織による森の市等クラフト展の開催に協力し、市民に地域材の良さを知ってもらう機会を提供する。</p>
具体的内容	<p>○木工機械の設置のため傾斜床面の水平化コンクリート打ち工事実施</p> <p>○体験学習用のコースターや皿づくり、オリジナルな製品製作のために必要な木材加工機器「トリマー、ルーター関係」の整備</p> <p>○和風洋風の旅館や住宅にも適した創作木簡(木と書の新たなデザインによる工芸品)の企画開発事業の推進</p> <p>○2019年9月に開催のエシカルマルシェに参加</p> <p>○2019年11月に開催の第4回森の市に参加</p>



2019.9 エシカルマルシェ参加(創作木簡展示)



2019.11

森の市参加



2019.7

下久堅自治会に納めた丸テーブル



2019.7

床水平化コンクリート打ち工事

取組の経過	<p>1木の駅ひさかた施設内の床の水平化工事 2019年7月23日～24日</p> <p>2機材購入 2019年8月～2020年1月</p> <p>3クラフト展等出品及び受注品の製作(創作木簡、コースター、まな板、テーブル、棚など) 2019年6月～11月</p> <p>4地域材等普及啓発イベントへの参加</p> <p>①森の市 第1回実行委員会2019年8月6日 第2回〃 2019年9月4日 第3回〃 2019年11月5日 開催日 2019年11月10日</p> <p>②エシカルマルシェ 第1回実行委員会2019年7月8日 第2回〃 2019年8月28日 開催日 2019年9月29日</p>
取組の効果	<p>○施設の改修や機材の整備により、以前より多くの種類の作品が効率的に製作で来ることとなったことから、昨年以上に住民や自治会などから注文をいただき地域材による木工製品を暮らしなどで使用していただけた。</p> <p>○今年度から、森の市に加え、女性団体が中心になって行うエシカルマルシェにも参加することができたことから、地域材による作品のPRの機会が増え、消費者の関心も高まったと感じた。</p> <p>○コースターやまな板づくりなどの体験希望者も受け入れ、木の良さに関心を持ってもらうとともにハンドメイドの楽しさも知ってもらった。</p> <p>○特に都会からの来館者には創作木簡が好評で展示や贈答品として購入して頂けた。</p>
今後の取組	<p>○機能的でデザインにも優れた木工製品づくりをさらに進めたい。</p> <p>○イベントや店頭販売だけでなくネット販売などにも取り組みたい。</p> <p>○地域住民の協力を得て山の間伐など地域材の確保にも取り組みたい</p> <p>○地域材の良さをPRするための森の市などのイベントの継続開催に協力していきたい。</p> <p>○木の駅ひさかたの施設においても端材市などが開催できるような準備を進めたい</p> <p>○大径木など当法人の製材施設では加工ができないものについては、民間の力を借りて製材を行い、テーブル等の製作に活用していく。</p> <p>○木の駅プロジェクトに参加する会員を増やしたい</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	457,754
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	木材加工機器の整備	289,914
	施設コンクリート打ち工事	132,840
	書道家謝礼	30,000
	その他	5,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	しなの大和2019～さあ日常をぶち壊せ～
団体名	しなの大和
代表者氏名	寺澤 亜由美
地区名	飯田市

取組みの目的	よさこいを通じて南信州の伝統芸能である屋台獅子を県内外に発信していく。様々な世代の人が集うコミュニティを形成し地域の祭りを通じ地域住民や様々な世代の人との新たなつながりを作り一体となって地域を盛り上げていきたい
具体的内容	南信州の獅子をテーマとした南信州の特色を生かした作品作りをする。(日常から祭りへの非日常に変わる様を表現した作品) 地域の祭りに積極的に参加しチーム活動をPRし様々な人とのつながりを作り活動の場を広げると同時にメンバー募集をしてコミュニティを強化し様々な人が集える場所作りを行う。 小学校へのよさこい踊りを広げる活動。 福祉施設のイベントに参加し高齢者や障害者に笑顔と元気を届ける。 県内外の祭りに参加して南信州の良さをよさこいをツールとして伝え、他チームやその地域住民と交流する。県内の他よさこいチームと交流を深め振付を提供したり、今年は台風19号被災地への支援にもよさこい他チームの皆さんと一緒に参加しました。



説明

日本ど真ん中祭りの写真



説明

犬山踊芸祭の写真

説明

説明

取組の経過	<p>2019年より作品作り開始。 2019.6月 犬山踊芸祭に参加。 2019.7月 丸三建設の祭りに参加。宮田祇園祭参加。阿島の祇園祭。 2019.8月 日本ど真ん中祭り。信州大学わっしょいの公開演舞にゲストとして参加させて頂く。 2019.9月 長野県看護大学大学祭へ参加。諏訪湖よさこいへ参加。輝き賞受賞 2019.10月 駒ヶ根おいでなんしょ祭りへ参加。長野日報賞受賞。伊久間のわのさと祭りに参加。羽場公民館の掃除に参加 2019.11月 浜松フルーツパークインよさばかへ参加し3位を頂く。豊丘祭りにてよさこいを地元の人にアピールする目的でブースを出展。また豊丘祭りのよさこい祭りに参加。 2019.12月 瑞浪で行われたバサラカーニバルに参加。 2017.10月～阿南町のよさこいグループへ講師として参加開始。2019年伊那のよさこいグループの振り付け2曲。下条小学校へ踊りを教えに行き運動会で披露。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 祭りへの非日常に変化する様を熱のこもった演舞で表現することで観客と一体となってよさこいを通じてPRすることが出来た。 ● よさこいを通じて様々な世代の人が集うコミュニティを形成することで交流の場が生まれ新たなつながりが生まれた。 ● 地域の祭り、小学校への指導等へ参加することで地元住民、高齢者、子供との交流を深めることでよさこいを通じて地域を元気にする効果があった。 ● 県内外の祭りで知り合った他チームの若者を飯田下伊那地域に呼び、豊丘祭りを盛り上げることが出来た。また今年起きた台風19号の被災地支援によさこいチームのメンバーで参加した。 ● 県内外の祭りで知り合った若者がメンバーが実際にチームに入会し長野県全域にメンバーがいるチームに成長した。 <p>◎ 衣装に「信州飯田」の文字を入れることで県外に出た際に飯田出身の方に声を掛けられたり、信州飯田をアピールすることができた。</p>
今後の取組	<p>現在のメンバーよりメンバー数を増やし、日本ど真ん中祭りで40人以上でパレード演舞をすることが出来るようになる。 小さい子からお年寄りまで参加できるコミュニティに育て上げる。また結婚しても子供が出来ても参加しやすい環境作りに努める 日本ど真ん中祭り等で実績を残し県内1のチームを目指す。 さらに地域の祭りや敬老会、福祉施設へのボランティア活動に参加を強化し地元住民や高齢者の方々との交流を深める。 保育園や小学校のイベントも参加し小さな子でも踊れるよさこい(中央通りの商店街と共同で作った総踊りである踊りんごレボリューション)を広めていく。 他チームとの交流の中で被災地支援をしたりよさこいで元気を与える活動に取り組みたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,950,000
うち助成金(見込み)		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	衣装代	534,000
	作曲代	275,000
	道具	215,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	樹齢350年以上の桜を安全に保存する事業
団体名	水城区 お立ち符保存会
代表者氏名	区長 大蔵正明
地区名	松尾 水城区

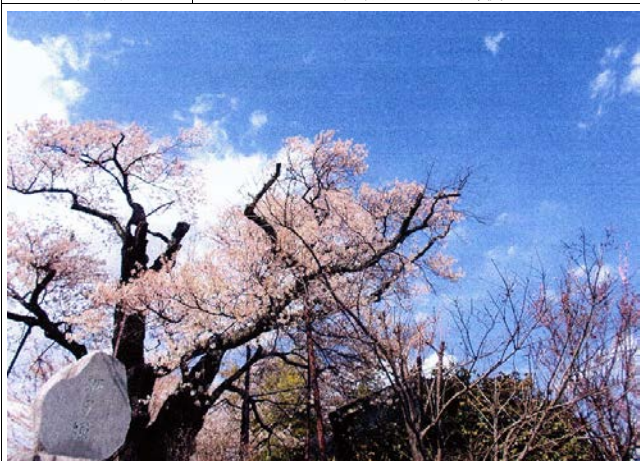
取組みの目的	飯田市の指定文化財となっている樹齢350年以上の桜を、区をあげて保存活動をしています。この桜の名称は「お立ち符」と呼ばれ、区役員を中心に保存活動しています。飯田の1本桜の銘木の1つにも指定されており、毎年多くの見物客の来場も頂いています。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、桜周辺の草刈り、草取り作業(AM6:00～) ・根元周辺に多くの堆肥散布(年1回) ・見学者に対して「案内板の設置」と「公民館のトイレの開放」をしています ところが近年2つの課題が発生した為、このムス助成金で対応する事が出来ました。 <ol style="list-style-type: none"> ①大きな枝から3本枯れてしまい、隣の住宅に落下する可能性がある ②桜の周りの土止めの杭が腐食してしまい、見学者の安全面、見た目に悪い



説明 工事前の土手崩れ



説明 土手の杭修復工事後



説明 満開時の枯れ枝



説明 枯れ枝切り落とし工事後

取組の経過	<p>①太い枯れ枝の切り落とし事業……専門業者に依頼 ・高所作業で、クレーンを使用する為、業者に依頼</p> <p>②土留め杭 ・区民の人的協力により実施 ・長期に耐えられるように、防腐剤を浸透した杭を使用</p> <p>③月に1回の保存活動 ・草刈り、草取り ・ワラ敷き、堆肥の散布</p>
取組の効果	<p>①年々増加してきている見学者の皆さんに、素晴らしい桜を見せられる事ができます。</p> <p>②見学者の安全面、歩道の概観が良くなり、更に隣の住宅への安全を確保出来る様になりました。</p>
今後の取組	水城区としても、この「お立ち符保存会」を資金面でも支援しこの立派な桜を後世にずっと引継いでいきます。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	303,745
	うち助成金(見込み)	210,000
主な経費内訳 (上位3項目)	枯れ枝切り落とし(文伍林造園)	194,400
	杭代金	98,345
	ワラ代	10,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	下栗の里案内充実による活性化
団体名	下栗案内人の会
代表者氏名	胡桃澤 三郎
地区名	上村 下栗

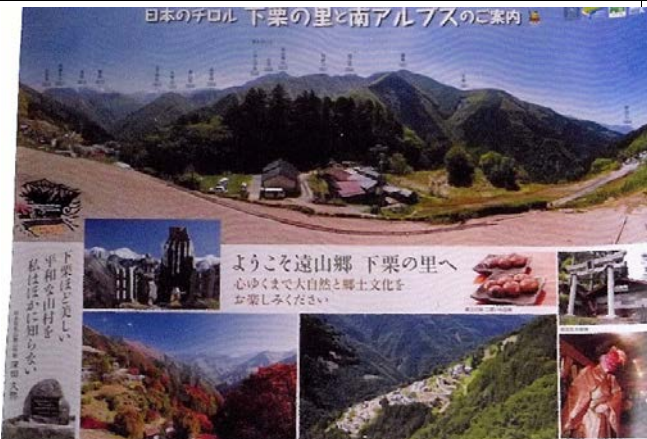
取組みの目的	平成21年、地域住民が手作りにより、集落を展望する遊歩道及び、展望台を設けたところ、大阪の「引越しのサカイ」のCMにより、全国に紹介され、里を訪ねる人が急増した。このため、里の暮らし、地域の自然や文化等を案内人の活動を通して紹介するべく、会を設立。地域の発展につなげようと取り組んでいる。
具体的内容	<ol style="list-style-type: none"> 案内用パンフレット改訂印刷 10,000部 案内用ベスト、キャップ更新 各15着 案内業務遂行のためのFAXリボン、コピー用紙等購入



説明 下栗の里案内人によるガイド



説明 南アルプスを眺めてのガイド



説明 令和元年ムトス助成で更新のパンフレット



説明 令和元年 ムトス助成で購入、案内用ベスト、キャップ

取組の経過	<p>下栗の里を案内する「下栗案内人の会」の装備を整え、イメージアップを図り、観光地として充実した地域として発展するよう活性化を図る。</p> <p>そのために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下栗の里を案内するためのパンフレットの整備を、自然、ジオパーク、エコパーク指定など変化に対応した内容に改め、印刷発行した。 ○案内人が着用するベスト、キャップを新たに更新した。 ○案内人業務遂行のため、FAXリボン等、事務消耗品の購入。 <p>等秋の観光シーズン到来前に整備対応した。(9月終了)</p>
取組の効果	<p>案内利用者に配布するパンフレットの整備、ベスト等の着用により、受け入れ体制を向上させ、観光来訪者に好印象を与えると共に、新入案内人の魅力向上にも結びつける。</p> <p>案内人の活動の充実が地域のイメージアップにつながる。</p>
今後の取組	<p>観光来訪者に適切な案内をすることにより、地域をよく理解してもらい、魅力ある観光地として、やがてはリニア時代を迎える飯田市の中で、優れた観光地として発展に寄与してゆきたい。</p> <p>南アルプスの景観と「下栗の里」の佇まいを「下栗ほど美しい平和な山村を私はほかに知らない」と百名山登山家 深田久弥氏をして言わしめた自然や郷土の文化を紹介し続けてゆきたいものと思う。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		188,000
うち助成金(見込み)		131,000
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(案内用ベスト、キャップ更新)	77,000
	広報・印刷費(案内用パンフレット印刷)	102,000
	事務費(FAXリボン、コピー用紙等購入)	9,000
		188,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ふるさと座光寺へ還ろう「プロモーションビデオ」制作事業
団体名	座光寺地域自治会
代表者氏名	会長 福田 富廣
地区名	座光寺

取組みの目的	<p>田舎へ還ろう戦略の一環として、地域の自然・歴史・文化・ものづくりなどの魅力を広くPRし座光寺ファンの獲得・対流人口の拡大を図るためのふるさと座光寺プロモーションビデオを制作する。</p> <p>この取り組みを通じて、地域住民が地域の魅力や良さを肌で感じ、この地域に住み続けることが誇りとなるような取り組みとする。</p>
具体的内容	<p>1年を通じて地域の魅力(四季・行事)を住民参加で撮影しプロモーションビデオを制作する。</p> <p>制作したビデオは、座光寺HP、東京ふるさと高陵会、渋谷区・奈良市との住民交流などで活用する。</p> <p>また、座光寺小学校において子どもたちの教材として活用するとともに、地域住民にも触れていただく機会を提供する。</p>



説明

対岸から座光寺全景を撮影



説明

たわわに実ったりんごを撮影



説明

稲刈りの様子を撮影



説明

農家の柿すだれを撮影

取組の経過	<ul style="list-style-type: none"> ○検討会議 6月28日、8月8日、12月11日他、随時打ち合わせ ○地区内撮影 9月19日、11月13日他、天候、季節に合わせ随時撮影 ○編集作業 1月～ ナレーション録音、確認作業等
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎へ還ろう戦略の一環として、座光寺ファンの獲得・対流人口の拡大が図られる。その取り組みからやがて移住・定住者が生まれる。 ・座光寺HPにより情報発信することで、座光寺地区へのふるさと納税が促進される。 ・地域住民もふるさと座光寺の良さを再認識し、地域への愛着の心が醸成される。
今後の取組	<p>プロモーションビデオの制作は手段であって、制作してからの取り組みが重要であると考えている。座光寺HPでの情報発信と様々な機会を捉えて地域をPRしていく。</p> <p>リニア関連整備事業をはじめとする移転を余儀なくされる住民が座光寺地域に留まっていたための取り組みと並行して移住・定住者の獲得をめざす。</p>

○取組経費 (単位:円)



事業費総額(見込み)		594,000
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費(撮影・編集費)	594,000

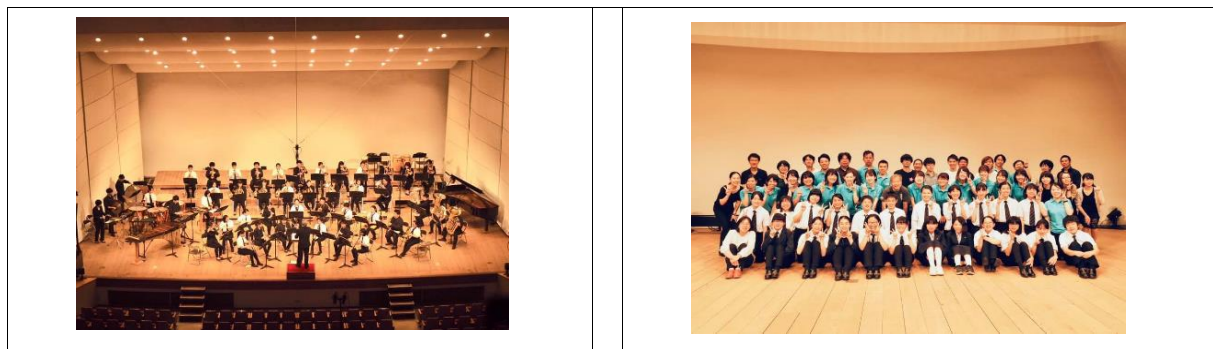
*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「アンサンブル・ヴィルトゥオーゾ吹奏楽団 第11回定期演奏会」を通じた、 若年層吹奏楽人口増加事業		
団体名	アンサンブル・ヴィルトゥオーゾ吹奏楽団		
代表者氏名	嶽野 洋平		
地区名	飯田市		
取組みの目的	<p>◆社会人吹奏楽団の意義とは、、、、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団員自身の生きる喜びを見出すこと ・地域に根差し、地域イベント等で演奏をすること <p>○効果は？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントを盛り上げる ・音楽を聴いた地域の方々の気持ちを豊かにさせる <p>⇒個人の趣味活動だけではなく、地域の音楽芸術文化向上に寄与している</p> <p>◆課題・問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の新規入団者（新卒社会人）の入団が減っている ・部活動引退と共に吹奏楽から離れる学生が多い <p>○このままでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人吹奏楽団の活動が衰退する ・地域イベントにおいて生の音楽が無くなる <p>⇒当地域の音楽芸術文化の衰退を招いてしまう</p> <p>◆対策・当事業の目的</p> <p>○なぜ部活動引退と共に音楽から離れてしまうのか、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクールの結果重視で、音楽の楽しみが伝わっていない ・高いレベルでの指導が無いため、技術向上が難しく、楽器を演奏する楽しみが伝わっていない <p>⇒『当団の定期演奏会を通じて、音楽・楽器を演奏する楽しさを伝える』</p>		
具体的内容	<p>1. 学生との合同ステージの実施（第11回定期演奏会にて） 当団第11回定期演奏会にて、学生との合同ステージを企画した。 管楽器指導等の交流があった飯田西中学校さんに依頼をした。 ⇒・学生との世代を超えたコミュニケーション ・吹奏楽の魅力、社会人吹奏楽団の魅力を伝える</p> <p>2. プロプレイヤーによる指揮・音楽指導の実施 合同練習、合同ステージの指揮、音楽指導、合同演奏をプロプレイヤー※に依頼。 ※元東京佼正ウインドオーケストラ 主席トロンボーン奏者 萩谷克己氏 洗足学園音楽大学卒業のプロレベル打楽器奏者3名 ⇒・レベルの高い音楽を伝えることで、音楽の魅力を伝える ・音楽指導を通じて、学生の技術向上を図る</p> <p>3. 学生の演奏会入場料の無料化 従来、定期演奏会においては一律500円の入場料だったが、第11回定期演奏会では、 学生の入場料は無料とする。 ⇒・演奏会に来場する敷居を下げる ・吹奏楽の魅力、社会人吹奏楽団の魅力を伝えるきっかけとする</p>		
			
説明	合同練習の様子1		
			
説明	合同練習の様子2		



説明 合同ステージの様子 説明 演奏会終了後の集合写真

取組の経過	年月日	内容
	2019年4月20日	合同練習の実施 プロプレイヤーによる音楽指導 (練習場所：飯田西中学校)
2019年4月21日		
2019年5月18日		
2019年5月19日		
2019年5月25日	前日合同リハーサル (リハーサル場所：飯田文化会館)	
2019年5月26日	第11回定期演奏会 (演奏会会場：飯田文化会館)	

取組の効果	<p>1. 学生の技術向上 ・プロプレイヤーの指導を通して成長し、本番は素晴らしい演奏であった。 (技術向上例) ビブラートの習得、呼吸法の習得、楽器の響かせ方の習得 他</p> <p>2. 両団体のコンクール上位入賞 アンサンブル・ヴィルトゥオーゾ 吹奏楽団、飯田西中学校吹奏楽部、共に吹奏楽コンクールで上位入賞(下表参照)を果たした。 西中学校では合同ステージで演奏した曲をコンクールでも演奏して好成績を残したことから、本事業が好影響を与えたと考える。 同じステージを経験した両団体が好成績を残したことは、当地域の他学校の刺激となっていることから、当地域の音楽芸術文化の発展に寄与できたと考える。</p>								
	飯田西中学校	アンサンブル・ヴィルトゥオーゾ 吹奏楽団							
	<table border="1"> <tr> <td>7月14日</td> <td>吹奏楽コンクール南信地区大会 金賞受賞 地区代表</td> <td>7月21日</td> <td>吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 長野県代表</td> </tr> <tr> <td>8月5日</td> <td>吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 南信地区代表の中で1位</td> <td>9月8日</td> <td>吹奏楽コンクール東海大会 銀賞受賞 長野県代表の中で1位</td> </tr> </table>	7月14日	吹奏楽コンクール南信地区大会 金賞受賞 地区代表	7月21日	吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 長野県代表	8月5日	吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 南信地区代表の中で1位	9月8日	吹奏楽コンクール東海大会 銀賞受賞 長野県代表の中で1位
7月14日	吹奏楽コンクール南信地区大会 金賞受賞 地区代表	7月21日	吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 長野県代表						
8月5日	吹奏楽コンクール長野県大会 金賞受賞 南信地区代表の中で1位	9月8日	吹奏楽コンクール東海大会 銀賞受賞 長野県代表の中で1位						

今後の取組	<p>1. 定期演奏会における合同ステージの継続 学生に吹奏楽の魅力伝える良い機会であるので、今後も合同ステージを継続して実施していく。 次回は西中学校さんに限定せず、検討していきたい。</p>
	<p>2. 定期演奏会における学生入場料の無料化 演奏会に訪れるハードルを下げるためにも、今後も学生の入場料無料を継続して実施していく。</p>
	<p>3. 学生への指導に積極的に応える 今回の活動で西中学校さんとの繋がりができ、学生への指導の機会が増えた。音楽の魅力伝える良い機会であるため、積極的に応じていく。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額		638,396
うち助成金		270,000
主な経費内訳 (上位3項目)	プロ指揮者謝礼	226,544
	文化会館使用料	157,700
	プロレベル打楽器奏者謝礼	141,700
	その他	112,452

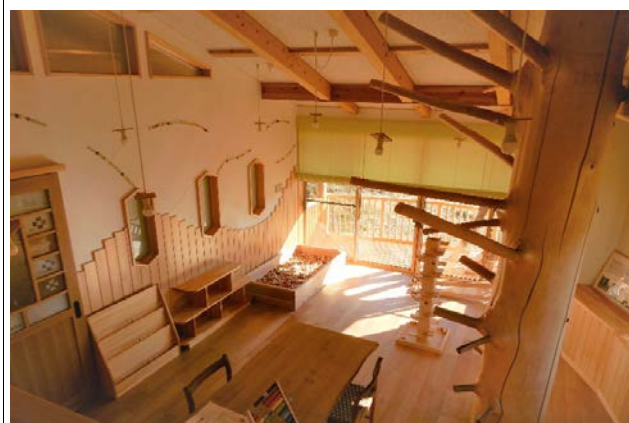
*活動状況がわかる写真を入れてください。
 *取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。
 その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。
 *この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	地域産材による「すまいづくり」の普及・啓発活動
団体名	里山発すまいづくり集団「信州森組」
代表者氏名	代表幹事 木下 光
地区名	事務局 飯田市上郷

取組みの目的	南信州の森林は、戦後植林された人工林が成長し、伐採の適期を迎えている。資源の少ない日本にあって、森林資源はとて 大きなポテンシャルを持ち「宝の山」 である。昭和30年代の木材輸入自由化により低迷した日本の木材自給率も、近年 36%までと回復 しつつある。今こそ地域産材による「すまいづくり」の普及・啓発活動に取り組みたい。林業振興・地産地消に繋げ、 特色ある地場産業として定着 させたい。
具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ◇地域産材の住まいとは何か、現物を分かり易く体感する為の「見学会」の開催。 ◇実際に木材に触れる体験、工作等のイベント開催。 ◇参加メンバーの建築的な知識・知見の向上。 ◇活動趣旨を分かり易く説明・文章・コラム化・広報活動を行う。 ◇具現的な新規パンプの製作、階数別プラン等掲載。 ◇HPの製作、具現案を多数掲載。



説明 箸づくり体験風景

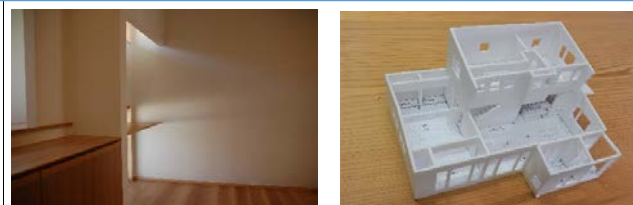


説明 医院待合室・竣工写真

2019.10.3(掲載)
**信州人の暮らしには、
 信州の木が似合う。**



2020.2.6(掲載予定)
民家は、森の博物館。



説明 「週刊いいだ」掲載記事

説明 竣工物件・見学会予定物件

取組の経過	<p>◇体験活動……ヒノキ材加工「箸づくり教室」の開催(2019,11/10)</p> <p>◇活動趣旨の広報活動……「週刊いいだ」活動趣旨掲載(2019、10/3)コラム掲載(2020、2/6)</p> <p>◇現物体感「見学会」……「構造見学会」の開催(2020 2月末 予定)</p> <p>◇参加メンバーによる勉強会の開催……(2019、8月、11月、2月、随時技術交流、検討会実施)</p> <p>◇HPの製作、更新……現況の内容更新、具現案(プラン等)多数掲載(2020、2月末予定)</p> <p>◇新規パンフの製作……追加パンフの製作、階数別プラン等掲載(2020,2月末予定)</p>
取組の効果	<p>◇竣工物件の感触が良く、地域産材の良さを体得して頂いた。特に医院待合室に丸太材等を設置したのは、多数の方々に周知して頂くという点で効果的であった。</p> <p>◇「箸づくり教室」はヒノキの香りが良いと大好評、地域材に直接触れる良き体験活動であった。</p> <p>◇参加メンバーの勉強会は、技術面の公開にも繋がり、品質向上・コスト価値向上面からも大変意義があった。</p>
今後の取組	<p>◇建築関係者のみの集団でなく、森林・木工・環境問題等に興味ある人々の交流の場、学習の場にしたい。</p> <p>◇「すまいづくり」のみの活動でなく、森林再生を主題に多方面に活動して行きたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	350,000
	うち助成金(見込み)	239,000
主な経費内訳 (上位3項目)	エッセイ掲載(週刊いいだ)	150,000
	箸づくりイベント、材料代	40,000
	H・Pの更新	150,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	「生物多様性の自然遺産ハナノキ湿地」の保全のパンフレット作製
団体名	はなのき友の会
代表者氏名	所沢あさ子
地区名	山本

取組みの目的	生物多様性の自然遺産、ハナノキとハナノキ湿地を保全して生物多様性に貢献する。
具体的内容	◆生態調査:環境省企画「モニタリングサイト1000(略してモニ1000)調査」里山コアサイト指定。2007年から100年間の予定で、・植物・鳥・チョウ・哺乳類カメラセンサー設置し、其々観察会方式で調査中。2018年度だけでも39回の調査を実施した。◆保全作業:発足当時から195回実施。その他多数自発的な作業が行われた。ゴミ拾い、草刈り、除伐、枯れマツ木伐採、竹藪払い、観察路の整備、木道の設置、補修。◆広報活動:会報「はなのき通信」103号発行 :環境省指定「重要里地」「重要湿地」の手作り看板設置 :展示(山本文化祭、ロビー、健和会病院ロビーなど。飯田市美術博物館ハナノキの自然史展協力。):座学・観察会「東海自然学園」毎年実施。他筑波大学大学院、金城大学、名古屋産業大学の研究者や学生等様々なグループに調査地提供と調査のサポートや観察会などに対応している。



山本二ツ山堂坂稲荷11月初旬



説明

観察会大明神のハナノキ



説明

環境省指定「重要湿地・里地」
看板設置



説明

モニ1000調査

取組の経過	<p>◆3月10日第27回はなのき友の会総会にて「ハナノキ湿地」パンフレット10000枚作製決定。3月27日、8月26日打合せ会議。年間を通して点在する湿地と植物、生き物の写真を集める。12月からパンフレット作製に入る。2月には印刷予定。◆調査:モニ1000植物・鳥・チョウ・哺乳類カメラセンサー設置調査実施。植物は8回。鳥は12回。チョウは10回。哺乳類カメラセンサー設置は4月から10月まで、それぞれ観察会方式で実施。◆保全作業:ゴミ拾い。草刈り。竹藪払い。スギの間伐。枯れマツ伐採。観察路の手入れ。木道補修。絶滅危惧1A類種のミカワバイケイソウの手入れ等。この1年で会で8回実施。当初から195回行う。この他に自発的な作業が会員によって沢山なされている。◆広報活動:展示11月17日山本文化祭・6から7月山本公民館ロビー・通年(3か月ごとに入れ替え)健和会病院ロビー。観察会・5月22日松本自然の会・名古屋市産業大学生態調査打合せ下見 2回。・11月1日「東海自然学園」座学・観察会実施。</p>
取組の効果	<p>新しい「ハナノキ湿地」パンフレット作製ということで、新たためて湿地を見つめることになった。何があるのか、どういう状態なのか、写真撮影と植物標本作成を行った。採集、同定、乾燥、データ整理、標本保管を進めた。結果モニ1000調査実施地域「飯田市竹佐箱川のたねほさんのハナノキ湿地」約8haに、長野県レベルの絶滅危惧種が今年度新たに2種見つか、26種もあることが分かった。他の湿地でも、足元でシダ等新たな貴重な植物を数多く確認できた。また湿地を囲む周囲の水源地の里山から眺めたり、広く、角度を変えて見直した。ハナノキの赤い花、翅のついた果実(翅果・しか)、紅葉、カザグルマ、ミカワバイケイソウなどハナノキ湿地の植物や生き物を見つめなおす大変いい機会になった。</p>
今後の取組	<p>◆「ハナノキ湿地」パンフレット10000枚を小学校、中学校、文化祭、座学などで配布する。その中で参加者を募る。◆1993年に会を発足した当時から、湿地の保全作業、今は主にモニ1000調査を行っているが生態調査、座学・観察会などを継続し、ハナノキとハナノキ湿地の保全を行いたい。◆ハナノキ湿地がある飯田市・阿智村は、絶滅危惧植物種が多いがそれを支える植物種も多い。どのような植物種があるのか植物標本作成し整理をしたい。植物標本作成、同定作業は手間がかかり、虫がつきやすく、カビてしまうので大変難しいが、進めていきたい。◆調査したものは、今後公表し、保全につなげたい◆。豊田市では東海地方の湧水湿地群を先駆けてラムサール条約を提携している。私達の地域は湧水湿地群の規模は大きい。ハナノキ、ミカワバイケイソウ他絶滅危惧種が多く植物種多様性が高いので、さらに多くの方たちの協力を頂いて、ラムサール条約制定を視野に活動をしていきたい。</p>

事業費総額(見込み)		269,000
うち助成金(見込み)		140,000
主な経費内訳 (上位3項目)	パンフレット・案内図作成印刷	240,000
	観察路の整備	29,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	野池親水公園活性化事業
団体名	千代地区まちづくり委員会
代表者氏名	会長 関口 俊博
地区名	千代地区

取組みの目的	<p>野池親水公園は、千代地区のよこね田んぼ、万古溪谷と並ぶ重要な地域資源の一つであり、三遠南信道の千代インターの供用開始や2027年のリニア中央新幹線の開業を控え、今後増加が見込まれる山岳観光・体験型観光の拠点として、千代地区のみならず飯田下伊那一帯に誘客効果をもたらす観光資源であると考えている。</p> <p>今回の事業によって公園利用者を増加させ、公園が持続可能な地域づくりに資する地域資源となるような取組を行う。</p>
具体的内容	<p>○飯田市から譲り受けたマイクロ水力発電所は、野池親水公園の特徴であり環境教育の場となっており、引き続き地域で発電事業を継続するとともに、子どもたちの環境学習を積極的に引き受ける。</p> <p>○公園へのリピーターを増やすため、公園の環境整備活動を行う。</p> <p>○親水公園の魅力を地域外に発信するため、こども釣り大会を実施する。</p>



説明

マイクロ水力発電施設



説明

小学生の環境学習受入れ



説明

こども釣り大会



説明

環境整備活動

取組の経過	<p>3月13日 マイクロ水力発電施設、今年発電開始 7月20日 まちづくり委員会を主体とした環境整備活動 7月27日 こども釣り大会開催 12月17日 マイクロ水力発電施設、今年発電終了</p>
取組の効果	<p>○野池親水公園の利用者が増加することにより、地域の魅力を多方面へ発信することに繋がり、他の観光拠点(万古溪谷やよこね田んぼ等)との誘客の相乗効果が得られる。11月の三遠南信道千代インターの供用開始により千代地区への来訪者が増加しており、親水公園を訪れる県外ナンバーの車も増加している。また、秋や冬にキャンプを行うニーズが増えてきており、公園がその受け皿になっている。</p> <p>○地域住民が一体となって環境整備等の活動に取り組むことにより、地域資源の再発見につなげることができた。また、活動に参加した住民の地域への誇りや愛着を高めることに寄与できた。</p> <p>○こども釣り大会やマイクロ水力発電の環境学習で公園を訪れた子どもたちの環境への意識を高めるとともに、地域への愛着の心を育むことに寄与できた。</p>
今後の取組	<p>○公園の利用者を増加させるとともに、現在無料となっているキャンプ場の利用について、協力金を得る方向で検討を進め、地域で自立した事業が行える体制を構築する。</p> <p>○公園の環境整備活動等については、引き続き地域住民が一体となった取組みを継続する。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	465,000
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	マイクロ水力発電所発電事業委託料	300,000
	環境整備活動の際の伐木等処理費	105,000
	こども釣り大会の魚代	60,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	森集人プロジェクトの更なる質的向上と森林保全・利活用拡大を目指す事業
団体名	森集人プロジェクト
代表者氏名	尾曾 幹男
地区名	飯田市内中山間地域

取組みの目的	平成14年「NPO法人自然エネルギーネット山法師」を設立し、資源・エネルギーを可能な限り自然エネルギーに転換し、「地産地消」による良好な環境づくりを基本に、飯田らしい地域活性化を図る活動を展開してきた。 その活動の中で、飯田下伊那地域において今後取り組むべき重要な課題の一つとして、「森林の保全」と「有効な利活用のシステムの確立」であることを確認し活動を開始した。 平成28年4月から、「山法師」から自立し、新たに広範な市民による活動団体を立ち上げた。
--------	--

具体的内容	自立して4年目、試行錯誤の中ではあるが、活動継続中であり 安全な伐採・技術の向上・伐採木行こう活用の更なる推進を図ってきた。 1 間伐希望の林家を募集し、間伐・搬出と木材の安価な提供 2 間伐研修 後継者育成も意図としつつ、集中講義と実践活動を通じて間伐技術習得 3 広報活動 森林フェア(森の市)への参画など事業周知PR活動
-------	---



説明

間伐作業 1



説明

間伐研修会



説明

間伐作業 2



説明

森の市 活動PR

取組の経過	<p>1 間伐希望の林家を募集し、間伐と搬出 安全第一を旨とし、省力化に資する作業改善に努め ・間伐材を有効活用してくれる団体・個人へ安値で売り渡し</p> <p>2 間伐研修会など開催し、①森林保全・利活用の重要性・緊急性を学ぶ。 ②その伐採、搬出の知識・技術向上を図る 講師 嶋村浩 氏 (1) 地元マスコミを通じて関心のある人たちにも呼びかけ研修会と事業説明会を開催 9月15日(日) 20名参加 (2) 引き続き希望者及び現会員を対象に間伐研修会開催 10月13日 10月27日 11月からの本格的伐倒作業も 知識・技術の向上を第1義的に位置づけ、じっくりと取り組んだ</p> <p>3 広報活動 「南信州森の市」を11月10日(日)に風越子供の森公園で開催、実行委員として参加</p> <p>4 特別事業 天竜川河川敷での樹木伐採事業への参加 河川浄化・良好な景観創造を目指す活動に今後2年間協力する</p>
取組の効果	<p>1 間伐・搬出 ウインチ専用のロープなど購入し「安全第一・作業の省力化」に努め 作業効率が向上、今年度も無事故で終了しようという機運が高まった。 作業装備の収納庫を購入して安全な収納ができるようになった。</p> <p>2 研修会など開催 マスコミを通じて参加を呼びかけ事業説明会・研修会を実施して、3名の新入会員を迎えることができ、又ほとんどの現会員も参加し、更なる技術向上に真剣に取り組んだ。</p> <p>3 「森の市開催」実行委員として参画 「森の市」を11月10日(日)に開催し、50名程の参加者にPRが出来て5名加入の意志表示</p> <p>4 特別事業 河川浄化・景観保持に協力し、環境を軸とした地域づくりに資する 令和2年1月から3月に実施</p>
今後の取組	<p>1 森林の保全と有効な利活用のシステム確立という目指す山は高けれど、長野県そして飯田下伊那地域の活性化に向けて欠かすことができない事業であり、私たちは、小さな取り組みではあるが、 あせらず一歩一歩進めてまいりたい。</p> <p>2 「森の市」を引き続き開催し、このフェアを通じて 森林に関わる団体と交流を深め 横の繋がりを創っていききたい。</p> <p>3 次の世代を担う世代への「実体験学習会」の開催</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		388, 600
うち助成金(見込み)		260, 000
主な経費内訳 (上位3項目)	伐採・搬出装備購入	338, 600
	研修講師謝礼	48, 000
	森の市フェア経費 印刷代	2, 000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	羽ばたけシニア 野菜づくり を通じ 健康・交流・地域貢献GET で 生き生き生活
団体名	農愉快
代表者氏名	眞野 貴司
地区名	飯田市全域

取組みの目的	<p>超高齢化社会がやって来た……</p> <p>高齢化率30%を超える飯田市においても、「元気で楽しく過ごせるライフスタイル」を高齢者一人一人自らが作り上げなければならない</p> <p>日本の財政状況からみても、介護・医療面において「予防」というキーワードへの取り組み強化が喫緊の命題である するためには、行政任せでなく、小さな取り組みでも「出来ること」を全ての地域・全ての組織でコツコツと積み上げていくことが求められている</p>
--------	---

具体的内容	<p>「農作業(土づくり、種まき・苗植え・収穫)を通じて健康で、楽しいライフづくり」</p> <p>平成23年度飯田市の事業としてスタート、平成28年度からは、市民の自主的活動へと移行</p> <p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 味噌づくりなど</p> <p>②収穫野菜を介護施設などに贈呈する・文化展・公民館文化祭参加・焼き芋会など</p> <p>地域還元活動に取り組む</p> <p>③リーダーづくり</p> <p>④・野菜づくりの技術・知識の習得向上に努める 源助かぶ菜 収穫見学(泰阜村)</p> <p>⑤・広報活動の強化</p>
-------	--



説明	保育施設で焼き芋大会
----	-------------------



説明	農作業
----	------------



説明	研修視察 源助かぶ菜のお話
----	----------------------



説明	シルバー文化展 野菜販売
----	---------------------

取組の経過	<p>①野菜づくりを今一度学習し、野菜への付加価値を検討していく 今年度は、味噌づくりに挑戦 令和2年3月8日 予定</p> <p>②地域還元に取り組む 8月 2日 収穫野菜を保育園に贈呈する 11月 2日 公民館文化祭参加(バザー)野菜を安価で販売 11月13・14日 シルバー人材センター文化展参加(バザー)野菜販売 11月28日研修視察 域産域消について考える 自主的活動の活性化</p> <p>③12月6日保育施設で焼き芋会お手伝いなど</p> <p>④・広報活動の強化—文化祭参加でPR</p> <p>●定例事業 1月に2回から3回土づくり・種まき・苗植え・水やり</p>
取組の効果	<p>① 野菜づくりの素晴らしさを生かし伝統的な味噌・漬物などの作り方を習得する</p> <p>② 自らの利益だけでなく地域貢献につながる活動で、より「充実感」「楽しさ」を感じることができる</p> <p>③ 野菜づくりの技術、知識を習得し会員の協働の力で長く続く会としていく</p>
今後の取組み	<p>取り組みを検証しながら、シニア世代が「元気で楽しく」生き生きと暮らせることに少しでも寄与できるよう活動していきたい。 特に地域貢献活動を活発化させていく</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		287,913円
うち助成金(見込み)		160,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	農業指導料	130,000円
	研修視察大型車輛レンタル代金	32,400円
	肥料堆肥代	30,000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月15日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ネット環境を使って、プログラムなどの学習を進め、将来の飯田下伊那を担っていく子ども達を育成するための取り組み
団体名	NPO法人もりの学校
代表者氏名	小林俊二
地区名	山本

取組みの目的	これまでネット上で活動してきた内容を、飯田下伊那の子ども達に提供し利用してもらおう。算数だけでなく、より楽しくて集中できるプログラミング教育を行う。 また子ども達が学ぶ内容として、教科書から発展した内容の理科の実験も行う。
--------	--

具体的内容	プログラミング及び理科実験教室を行う。 会場は山本公民館。 2019/08/09 子供7名 大人2名 指導者2名 4回目外部講師1名(11名) 2019/08/10 子供6名 大人2名 指導者2名 3回目外部講師1名(10名) 2019/08/11 子供6名 大人2名 指導者2名 2回目外部講師1名(10名) 2019/08/12 子供7名 大人2名 指導者2名 1回目外部講師1名(11名) 以後9月3回、10月3回、11月3回、12月2回 同様に講座実施 プログラミングは主にcode. oegページを使って、手順を考えたりループ条件分岐の学習を行う。 理科は、スライム、紙飛行機、など毎回内容を変えて実験を行う。
-------	--



説明



説明



説明



説明

取組の経過	<p>7月、公民館と相談、山本小学校へ2回、児童館へ1回、プリント配布をお願いする 8月、夏休みを利用して4回のプログラミング教室を行う。 第1回はプログラミングの仕方 2回以降は、個人の進度に従って学習を進める。 9月、10月、11月、12月まで継続してプログラミング教室を行う。 同時に理科実験教室を行う。 実施内容を、信濃毎日新聞及び南信州社で取り上げていただき、また実施内容を中心に、南信州新聞で連載記事をのせている。 座光寺に会場があるので実施しないかという話があり、計画中</p>
取組の効果	<p>多い日で7人少ない日で4人の参加を得ることが出来た。 パソコンの台数が7台で、人数はこれ以上増やせなかったが、継続して参加してもらえて良かった。また、子ども達は楽しんで問題に取り組めた。 理科の実験は、スライム作り、電気パン、世界一よく飛ぶ紙飛行機、電気を通すもの通さないものなど毎回実験の内容は変えておこない、実験を楽しみに来てくれる子どももいた</p>
今後の取組	<p>1, 現在の内容を継続する また、春休みに山本小学校に働きかけ、来年度の参加者を確定したい。 2, 座光寺に会場が確保できたので、来年度は座光寺でも開催できるようになった。 パソコン利用だけでなく、ロボット購入をしてロボットを操作できるように 試しに数台購入して、来年度の準備している。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		
うち助成金(見込み)		200,000
主な経費内訳 (上位3項目)		200,000
		100,000
		25,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	佐倉さま 桜まつり実行委員会(佐倉さま眺望はいいぞ！)
団体名	桜まつり実行委員会
代表者氏名	宮下 博
地区名	伊賀良 北方区

取組みの目的	本会は、北方佐倉公園における南アルプスの眺望や緑豊かな自然環境、保全することを基本におき、身近な里山として環境整備を推進するとともに、桜まつりを通し手北方地域内外にその魅力を発信することにより、地域資源の有効活用による活性化を推し進める中で、伊賀良地区の発展に寄与することを目的とする。
具体的内容	毎年、4月第三日曜日、実行委員会主催で以下のような内容で「佐倉さま桜まつり」を開催しています。小学校の金管バンドや地元獅子舞、ママさんコーラスなどの舞台イベント・豚汁やつくきたてのお餅の無料提供。シイタケの駒打ちや桜の記念植樹。商工会による売店の開設など、年々訪れる人は増えており、殊に本年は、シャトルバスの導入により各段と増加がありました。様々な催しを通じて地域の人たちの交流の場とした。それに伴い環境整備への活動も行った。



説明

佐倉さま桜まつり



説明

環境整備を行なってる佐倉公園



説明

佐倉さま桜まつり



説明

井京原から望む佐倉さま周辺

取組の経過	<p>当実行委員会は、3地区の財産区や各種団体が所属し年間を通してそれぞれの活動を行っています。</p> <p>※上下殿岡・北方財産区による桜の植樹や山林整備 年団・実年会による年二回の下草刈作業 による桜の手入れなど</p> <p>※壮 ※商工会 佐倉公園の活動を行なっております。また、実行委員会は11月より会議を開き、4月の桜まつりの開催への準備を行っております。</p>
取組の効果	<p>桜まつり・公園整備作業を通じて佐倉公園一帯が桜の名所・憩いの里山として認知され始めてきたこと、また、名勝の地として景観保全や環境整備への関心を高めることができたことは大きな効果です。</p>
今後の取組	<p>今後の取り組み、駐車場とシャトルバスの代行作業が、まだまだの状況です。どうしても、他の地区と違い佐倉さまは斜面を有効利用してお祭りを考えていかないといけないので、見晴らしの良い佐倉さま、桜の名所佐倉さまを、もっともっと宣伝して、東京・名古屋から僅かでも佐倉さまの桜と佐倉さまから見える南アルプスを味わって頂く努力を試行錯誤しています。ひとまずSNSか発信していきます。</p>

○取組経費 (単位:円)766220円

事業費総額(見込み)		766200円
うち助成金(見込み)		270000円
主な経費内訳 (上位3項目)	事業費 マイクロバス・運転手	249510円
	広報・印刷	140800円
	謝礼各種団体	142000円
	材料費	100000円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に 見込み と記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	おとめウェーブ
団体名	IIDA WAVE
代表者氏名	桑原 利彦
地区名	飯田市

取組みの目的	飯田・下伊那郡を中心とした地域の方々「自分らしく楽しく輝く」を軸に、母親としても妻としても女性としても女性らしく輝く女性の憩いの場と学びの場を作っていきます。妻として、親として女性としていつも社会を支えている側の立場の女性の多くは、子育てと家庭の両立を考えて「自分らしい生き方」を諦めてしまったり、家族や社会を支えるためにいつの間にか本来の輝かしい自分の姿が埋もれてしまっている女性多いです。そんな方々が活動を通して自信をつけ、仕事や日々の活動を通して、自分を生かし輝くために最初の一步を踏み出せるきっかけになるようにしていきたいと思ひます。
具体的内容	毎月1回の例会を開催し、皆が興味があることや学びたい事を一つのテーマとして話し合ったり、講師の方をお招きして勉強し、知識や技術を学びます。一つのテーマについて皆で学ぶことで共有感を養い、連帯感が築けたらと願っています。また、一年に一度、「ランウェイショー」を開催します。女性が仕事や日々の活動を通して、自分を生かし輝くために夢や目標を持ち、その目標が達成できるように応援し合いながら、最初の一步を踏み出せるきっかけになるようなイベントを行います。自分自身にスポットライトを当て、人前で歩くことで自信をつけて輝いた姿を家族や友人に見て頂けたらと思っています。



説明 《ギター教室例会》初心者でも一時間で一曲ギターが弾けるようになる。



説明 《パーソナルカラー診断例会》自分に合う本当の色を知り新しい自分を発見しよう。



説明 《ランウェイショー》家族の応援があつて、今の輝ける自分がいるとして感謝の気持ちで家族と一緒にウォーキング



説明 《全世代のモデルさんとスタッフ》歌あり、ダンスあり、サプライズプレゼントありの様々な発表の場となりました

取組の経過	毎月1回の例会は様々な内容で行っています。パーソナルカラー診断では専門の講師を招き、一人ずつカラー診断をして頂き4シーズンのタイプに分けて頂きました。自分が苦手と思っていた色が本当は似合うのだと知り、新しい自分との発見が出来ました。また、ギター教室例会では初めてギターに触れる人から昔やっていたけど長い間触れていない人まで幅広いレベルの中で1時間で1曲弾けるように楽しく指導頂きました。毎回毎回、様々なテーマで楽しく学んでいます。また、「ランウェイショー」では、10代から80代までのすべての世代のモデルさんが3か月間目標に向かいながら、ウォーキングや姿勢の指導、体操などを行いランウェイショーの準備を進めてきました。仕事や家事などの忙しい時間の中で家族に応援してもらいながら、精一杯努力したモデルさんは当日100人の来場客の前で思い思いの発表を行いました。感動で涙したり、緊張で震えながらも堂々を胸を張って歩く女性の方々は本当に輝いていました。
取組の効果	例会を開催する内容ごとに興味がある方々が来て下さり、沢山の方々と繋がりが出来ました。なかなか一人では学べなことも皆で一緒に学ぶことで共有感が生まれたと思います。また、新しいコミュニティの場として月1回の例会を楽しみにして下さる方が増えました。「ランウェイショー」を開催したことで多くの方が興味を持って下さり、「こんな楽しいイベントは初めて」「来年は自分も歩きたい」と好評でした。モデルさん達も3か月それぞれの目標達成のために努力をして下さり、毎回毎回お会いする度に成長して輝きを増していく方々ばかりで本当にパワーを感じました。全世代の方々が一つの事に向かって真剣に取り組むことで世代を超えた交流ができ、絆が生まれました。地域の企業さんや店舗さん、女子短大さんなど多くのかたにもご協力いただき、イベントも成功できました。
今後の取組	今度はより多くの仲間を増やし、一緒に「自分らしく楽しく輝く」過ごせる時間を共有していきたいです。一つ一つの例会もきちんと広報を行い、多くの方が参加しやすいように努めていきます。また、来年度に行う「ランウェイショー」にはもっと多くの企業さんや女子短期大学さんとの連携をはかり、地域密着の活動をなるように工夫していきたいです。

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	408,900
	うち助成金(見込み)	257,000
主な経費内訳 (上位3項目)		イベント会場費
		広告宣伝費
		レッスン費

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	川路へ帰ろうプロジェクト ～まちづくり活動の見える化と情報発信事業～
団体名	川路まちづくり委員会
代表者氏名	会長 中島 千明
地区名	川路

取組みの目的	<p>今年度まちづくり委員会では、重点施策「住み続けたいと思える川路まちづくり」に向けて、「川路カレンダー作成プロジェクト」と「川路に帰ろうプロジェクト」を実施する。</p> <p>「川路カレンダー作成プロジェクト」では、地区内にある各種団体の年間事業を1枚のカレンダーにすることで、川路地区の一年を住民一人ひとりが見通すことが可能になり、各種団体が連携するきっかけをつくるとともに、改めて川路地区を知る機会としたい。また、川路地区住民がどのように地域情報を得ているか、どのような情報発信方法がよいのかを探り、年代にあった方法で情報発信を行いたい。</p> <p>「川路に帰ろうプロジェクト」では、川路を離れた兄弟、弟妹、息子、娘、孫に、川路地区の多様な活動を紹介する川路カレンダーや活動紹介チラシ、また川路に帰ろうメッセージ等を送付する。ふるさととの祭りや運動会、文化祭等に参加してもらい、ふるさととのつながりを深め、将来は川路に帰りたくなる若人を育て、迎えるチャンスをつくりたい。</p>
--------	--

具体的内容	<p>ア: 回覧板による情報取得状況の調査 回覧板による情報取得量、家族間での情報共有方法、情報の受け手側の情報重要度を調査して、世代別の適切な情報発信方法を検討する。(SNSの有効活用など)</p> <p>イ: 川路カレンダーの作成とキックオフミーティングの開催 地区内の各種団体とまちづくりの委員を対象に、まちづくり委員会の事業方針や取組内容を伝える研修の場をつくる。 川路地区内の団体(保育園・小中学校・各委員会・公民館・観光・日赤・防災等)の主な会議、研修・奉仕活動、イベント等を1年間のカレンダーに集約する。 各団体に所属する地区住民の交流の場をつくり、新たな活動や、類似した活動の団体が連携するなど、事業の見直しを図る。</p> <p>ウ: 川路まちづくりの活動紹介のホームページの立ち上げ</p> <p>エ: 地区外へ在住する家族親戚への情報発信事業 地区内の行事や活動の案内を、1世帯2人を目標に、親戚や家族あてに通知を発送するよう、全世帯に働きかける。</p> <p>オ: 地区外在住の家族や親せきの受け入れ事業 川路地区運動会、天龍峡大橋・三遠南信自動車道開通プレイベント、天龍峡マルシェ等の行事に、地区外在住者を受け入れ、川路に帰ってきてもらえるよう伝える。</p>
-------	--



説明	「川路カレンダー」	説明	タウンミーティング
----	-----------	----	-----------



説明	ホームページ	説明	
----	--------	----	--

取組の経過	<p>4月 川路カレンダー作成 5月19日 キックオフミーティング開催 6月 回覧版による情報取得状況の調査(全戸対象) 7月～8月 (各区)タウンミーティング 10月15日 ホームページ立ち上げ 10月17日 地区外に在住する家族親戚への情報発信事業</p> <p>以下実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区外在住の家族者親戚の受け入れ事業 ・事業のまとめ、今後への取組検討
取組の効果	<p>「川路カレンダー」を作成したことで、地域全体の動きを知ることが出来た。「キックオフミーティング」及び「タウンミーティング」により、まちづくり委員会の考えと地域住民の想いを、丁寧に意見交換することが出来た。</p> <p>川路まちづくり委員会のホームページは、地域住民への情報周知のほか、地域外(川路出身者)の方が、ふるさと(川路)を思い返すツールとなっている。地区外在住家族への情報発信と相まって、ふるさと(川路)への関心が高くなり、飯田市版ふるさと納税(20地区応援隊)への寄附が十数件寄せられた。</p>
今後の取組	<p>タウンミーティングなどを通して寄せられた意見を精査して、まちづくりの運営に取り込んでいく。</p> <p>情報の収集と発信を継続して、いつでもどこでも川路の様子を知ることができる環境にあることを、地域に浸透させていきたい。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	442,440
	うち助成金(見込み)	300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	郵送料(見込み)	180,400
	チラシ印刷・編集デザイン(見込み)	122,040
	パソコン【情報発信用】(見込み)	100,000
	その他【謝礼】(見込み)	40,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	芸能の郷づくり ～川路・天龍峡・龍江～
団体名	芸能の郷づくりの会
代表者氏名	北原妙子
地区名	川路、龍江、千代

取組みの目的	<ul style="list-style-type: none"> ・川路や龍江地区には、天龍峡の活性化のために様々な活動団体があるが、その中でも特に「芸能の復興」という視点から、天龍峡再生を行いたい。 ・川路地区には、260年続く祇園囃子があり、芸能に触れる生活文化がある。そのため、昨年度立ち上がった川路地区祇園祭り保存会連絡会と連携して、三味線の担い手育成事業を行いたい。 ・毎年9月に行われる「天龍峡をどり」では、天龍峡を支える川路・龍江地区住民からお囃子の担い手を輩出したい。 ・平成30年に設立された川路地区の天龍峡篠笛の会と連携して、日常的にお囃子などの芸能を披露する場(天龍峡温泉ご湯っくりイベント等)を設けたい。
--------	--

具体的内容	<p>1 三味線担い手研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川路祇園祭り保存会連絡会、龍江、千代、川路全区に対して情報発信を行い、関心を持つ方の発掘を行う。 ・特に若い世代の参加者を発掘するため、研修参加費を低額にして、興味を持った方が参加しやすくする。 ・9月～3月にかけて、研修会を月に2回実施。 <p>2 未使用三味線の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3地区各戸にある、使用しない三味線を譲ってもらい、三味線研修会で利用する。 ・同時に、三味線研修会を実施していることの周知につなげる。
-------	--



取組の経過	<p>1 三味線担い手研修事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月～8月 研修会の準備、チラシによる研修者募集 参加登録者数 20名 ・9月26日 第1回研修会（基礎講座） <p>以後、参加者数が多いため、昼と夜の部に分かれる</p> <ul style="list-style-type: none"> 10月18日、29日 第2回研修会（基礎講座） 11月14日、15日 第3回研修会（基礎講座） 12月19日、20日 第4回研修会（実践講座） <p>2 未使用三味線の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・龍江、千代、川路の3地区にチラシを配布し、寄付頂ける三味線を募集した。 ・4丁集まった。修繕し、研修会で使用する。
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・予想より多くの参加者が集まり、芸能の郷としての風土があることがわかった。地域の強みとして認識できた。 ・来年度開催の「天龍峡をどり」では、地区外からの応援団に頼らずに、地元で人材を揃えることができる。 ・芸能が盛んだった頃の天龍峡を今の若い世代が知ることで、世代を超えた文化の継承ができる。 ・川路祇園祭り保存会や現担い手の技能力向上つながる。 ・天龍峡大橋でつながる3地区の研修会参加者の交流につながった。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・天龍峡をどり、川路祇園祭りで三味線の発表ができるように、練習を重ねる。

○取組経費（単位：円）

事業費総額(見込み)		231,400
うち助成金(見込み)		161,000
主な経費内訳 (上位3項目)	研修会参加者募集チラシ作成事務費	31,400
	謝礼(指導者謝礼、三味線レンタル代、保険代含む)	200,000

*活動写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

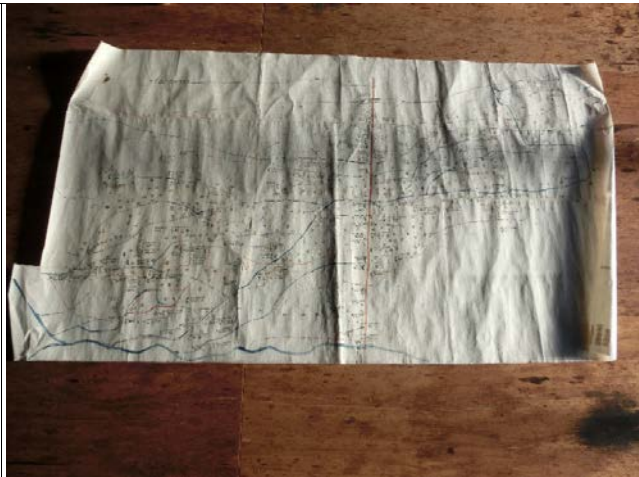
取組名称	古文書の修復及び展示会の開催
団体名	大瀬木自治区
代表者氏名	区長 伊藤 康德
地区名	飯田市大瀬木区内

取組みの目的	江戸時代末期作成の地区内を表示した地図が、経年劣化で破損が生じているので修復し、地区内文化祭等で展示を行い区民に見てもらう。 また箱の作成を行い安全な保存とし歴史的遺産の継承に努める。
具体的内容	事業者に依頼し、地図の裏打ちを行い正常な位置関係の地図に仕上げ、区民祭等にて展示を行う。



説明

修復後の地図(1)



説明

修復後の地図(2)



説明

箱に納めた地図



説明

展示会風景

取組の経過	<p>4月 4日 本年度事業計画案の作成を行う。</p> <p>4月12日 事業主体の大瀬木財産区管理会と自治区にて協議を行う。</p> <p>5月19日 区内各地区代表に事業内容の説明を行う。</p> <p>6月16日 表具師吉沢昭雲堂へ地図を持参し修復方法及び見積書の作成を依頼する。</p> <p>7月 2日 表具師吉沢昭雲堂より見積書届く。 役員にて相談修復依頼を行う。</p> <p>7月 6日 保存箱の制作を永坂晴男氏に依頼を行う。</p> <p>7月10日 表具師吉沢昭雲堂より地図が届く。</p> <p>7月14日 大瀬木区民祭等にて展示を行う。</p> <p>8月31日 広報おおせぎ37号に区民祭展示記事の掲載を行う。</p> <p>今後の予定</p> <p>3月20日 地図の展示及び古文書の閲覧を行う。</p>
取組の効果	<p>非常に傷みの酷かった地図が裏打ちにより補強され、今後の保存が安心です。</p> <p>区民祭にて展示を行った処好評であった。</p>
今後の取組	<p>地域の宝として他の古文書とともに安全に保管を行い永久に伝える。</p> <p>区民及び研究者の学習等に活用していく。</p> <p>もう一点地図がある事から修復を行う。</p>

○取組経費 (単位:円)

	事業費総額(見込み)	112,500
	うち助成金(見込み)	70,000
主な経費内訳 (上位3項目)	地図の修復費用	94,500
	保存箱の制作	18,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	ムトス飯田助成事業
団体名	米川桃源郷プロジェクト委員会
代表者氏名	福澤 秀則
地区名	千代地区

取組みの目的	『ここに住んで良かったと思える地域づくり』を目標として、米川地区の盆地形状と里山のある景観を活かし「春には桜・つつじ」「秋には紅葉・楓」が里山の緑の中に映え、子供たちの記憶に残る故郷を作ろうと思い活動をしています。
具体的内容	9年前より地主さんの許可を得ながら里山との境界線に、桜・つつじと紅葉・楓を将来の景観をイメージしながら三本寄せ植えと言う植え方で植樹しました。また、三年目からは廣幡八幡神社と城平公園の周辺整備も加わり、地区民の協力を頂きながら、年3回の草刈りをし管理しています。



説明

草刈り作業(城平公園)



説明

休耕地へあやめ植栽



説明

休耕地へ花菖蒲植栽



説明

城平公園へイロハモミジ植栽

取組の経過	今までは、各方面より頂いた枝垂桜、大山桜やみつばつつじ等春の花々を中心に植栽をしてきました。昨年度に引き続き今年度もムトス助成金を使わせて頂き、秋の花々であるイロハモミジの植栽を強化していきます。また、県道沿いの休耕田活用策として、あやめと花菖蒲を植え、あやめ園や花菖蒲園として景観を保全し観光に繋げていければと思います令和2年3月に植栽します。
取組の効果	以前より植栽してきた花木が徐々に咲き出し、地域住民にも見てもらえる機会が増え楽しんで頂いておりますが、「春には桜・つつじ」「秋には紅葉・楓」が咲き里山の緑に映える景観が定着していけば地区民に楽しんで頂ける名所になってくると思います。また、休耕田をあやめ園や花菖蒲園にすることが出来れば、これも地区の名所になってくると思います。これにより休耕田対策の一つとして有効な手段として地区民にご理解頂ければ良い効果を生むと思います。
今後の取組	単年で結果が出るものではないので根気よく継続していき、管理方法なども研究していきたいと思っております。三遠南信道が全面開通し、リニア新幹線が開通する七年後には、他地区から多くの観光客をこの地区に導くことの出来る名所に出来るよう努力します。

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		494,640
うち助成金(見込み)		300,000
主な経費内訳 (上位3項目)	植栽代(イロハモミジ・アヤメ・ハナショウブ)	468,720
	土壌改良材	25,920

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	遊休農地を利用してのお米作りの拡大と子供への夢づくり
団体名	夢かなえ隊
代表者氏名	木下 周次
地区名	飯田市鼎地区

取組みの目的	<p>鼎市区を中心に商工業者、農業者の若手が連携して地域を活性化する活動を行う。主に、農業の課題の遊休農地対策を行い、地元の保育園、小学校、高校と連携して食育活動、食農教育の実践を行う。</p> <p>●飯田市鼎の田園風景保存のより地域の活性化し、合わせて遊休農地解消の為に、休耕田などを借り水田事業を行う。その際、地域の子供たちと水田作りを行い、食農教育に繋げる。</p>
具体的内容	<p>●遊休農地を毎年チェックして、拡大してゆく(補修作業が必要となる) 44aから59aへの水田拡大</p> <p>●遊休農地での水田づくりを地域の子供たちと行い、食育・食農教育に繋げる。(保育園児や小学生にわかるように、教材を用意して食農教育の場とする)</p> <p>●遊休農地でのお米を利用して、保育園、小学校及び地区の文化祭で餅つきを行いふるまう。(地域の皆さんへ還元を行う)また、地域の保育園、などへお米を寄贈する。</p>



説明 5/30田植え(小学生園児共同)



説明 7月～8月雑草取り(遊休農地の宿命)



説明 稲刈り



説明 小学校での餅つき

取組の経過	<p>●遊休農地利用について 本年度は、計画通り遊休農地を44aから59aへと拡大し事業を展開でき鼎地区の遊休農地解消への対応ができました。 また遊休農地での水田づくりを地域の鼎あかり保育園園児と鼎小学校5年生全員と、田植えから稲刈りそして小学生ははざかけまで体験教育ができ有意義な活動となりました。鼎あかり保育園はお米作りとあわせて、じゃがいも・さつまいもの栽培収穫も実施できました。</p> <p>遊休農地でのお米を利用して、保育園、小学校での餅つき収穫祭、農協の収穫祭、鼎のふれあい文化祭では餅つきを行いふるまいました。(地域の皆さんへ還元を行う)また、地域の保育園、などへお米を寄贈する。</p> <p>●事業計画にはなかったのですが、OIDE長姫高校の地域人教育の協力を行い、鼎での文化祭、農協のイベントへの出店のお手伝いなどを実施しました。下伊那農業高校の遊休農地を利用によるおそばの栽培にも種まき、収穫などの協力をいたしました。</p>
取組の効果	<p>●鼎地区の遊休農地を減らす役割を担うことができました。</p> <p>●地域の子供たちとの連携することにより、子供たちが安心して住みやすい地域を作る効果は、家庭・学校(保育園)・地域にプラスした大人たち(夢かなえ隊)と様々な事業イベントを通して交流ができつながりができ有効でした。</p> <p>●食農教育を通じて、農業、地域の分解、地域の産業に目を向けてもらえ、食について体験を通して広く学ぶことができたと思います。</p> <p>●園児、小学生だけでなく鼎地区の2つの高校生と連携でき学びの一助になったと考えます。</p> <p>●鼎ふれあい文化祭など通して、鼎地区の活性化のお手伝いができたと考えます。</p>
今後の取組	<p>●遊休農地を利用しての米作りによる地域の健全化、活性化への取り組み</p> <p>●米作り、野菜作りによる子供たちへの食農教育の実施</p> <p>●餅つきなど地域の文化の伝承</p> <p>●園児から高校生まで巻き込んだ形での事業の実施</p> <p>●遊休農地利用での事業黒字化</p> <p>●作業効率の改善</p> <p>●黒字化、効率の見直しによる夢かなえ隊の継続とモチベーションアップ</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		1,100,000
うち助成金(見込み)		180,000
主な経費内訳 (上位3項目)	農薬肥料種子代	150,000
	農機具等リース代	700,000
	農具代、水田補修	50,000
	その他(会議費、総会費用、雑費など)	200,000

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

取組名称	エコール・デテ 2019 IIDA
団体名	一般社団法人 レキップ飯田
代表者氏名	代表理事 田口 満雄
地区名	

取組みの目的	<p>フランス人大学生に日本及び当地域の文化を紹介し興味を持ってもらい、フランス国内で飯田地域の認知を得てファンを作ること。それと同時に都市部の日本人学生へ当地域を認知してもらい、今後につながる人的ネットワークの構築をしていくこと。 ひいては、国内におけるフランス人(観光客)にとって当地域が生きた情報のハブとなること。</p> <p>学生たちに独自文化、観光資源を体験させ、どのような形で残していくべきか、活用するべきかのフィードバックを得る</p>
具体的内容	<p>08.14～08.17の4日間、パリと東京の大学生の交流団体であるFFJEのメンバー23人(仏11,日12)を招いて、飯田下伊那地域におけるローカルな文化を中心に視察・体験を企画した。フランス人大学生はもとより東京の日本人大学生にも認知と再発見を通じて当地のファンになってもらえるよう企画し、彼らからのフィードバックを市民と共有できるよう最終日に交流会を開催した。</p> <p>08.14 1)竹田扇之助国際系操り人形館視察 2)ウェルカムパーティ 3)ホームステイ 08.15 1)天竜峡視察 2)茶道体験 3)夏祭り(浴衣)体験 4)ホームステイ 08.16 1)水引体験 2)書道体験 3)ホームステイ 08.17 1)シンポジウム・市民交流会</p>



説明 竹田扇之助国際系操り人形館視察



説明 書道体験



説明 水引体験



説明 茶道体験

取組の経過	<p>事業全体において学生たち反応は、驚きと感心を持ったようで感謝の言葉も多かった。また、視察体験と同等若しくはそれ以上にホームステイについての感想が多く、商業的な側面のない「生の」地元の人々との交流が好印象だったようである。</p> <p>フランス人学生から「将来またここに戻ってきたい」という声があったように、当地域へ来てホームステイをしながら生活・文化体験をするようなプログラムがあれば、学生でなくともフランス人(外国人)に喜ばれると考える。その際、「(公共)交通網の整備が必要」「車がないと不便(だろう)」などの指摘が主に日本人学生から寄せられていたため、地域内の移動手段の確保が懸念材料ではある。</p>
取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人に対するホームステイ先のネットワークの構築が進んだ ・トレッキングの需要が高いことがわかった→手つかずの自然に関心が高い ・小規模でも地域の祭りに「参加」することが観光資源になり得ることがわかった ・地域内の移動手段として現在の交通機関に代わるものが利便性・経済的に必要であること ・フランス語(英語)対応のできる人材・店舗・施設が不足していることを把握した ・FFJEに関してはOBも含めて強い関係性を築けた。また、国内でフランスと交流している団体等に当会及び当地域の認知が深まった
今後の取組	<p>フランス人だけでなく日本人学生も事業の参加対象者としている理由として、今後のネットワークづくりのためという目的を持っていたが、それについては飯田での事業終了後に東京で行われたシンポジウム会場で一昨年に飯田へ訪問した学生たちと再会し、その際に今後なにかの折に協力できることがあれば是非協力させて欲しいと力強い言葉をもらったことから、FFJEの交流事業において役員を経験した学生との繋がりは大変深いものとなっていることを実感した。</p> <p>今後どうやってその繋がりを活かしていくか、相互利益がある形で考えていくことになる。</p>

○取組経費 (単位:円)

事業費総額(見込み)		535,665円
うち助成金(見込み)		240,000円
主な経費内訳 (上位3項目)	滞在費(1泊2食2500円/人)	170,000円
	事業費(会場費等)	130,800円
	移動費(レンタカー代・ガソリン代)	92,911円

*活動状況がわかる写真を入れてください。

*取組が完了していない場合は、取組経費は決算見込み額で記入してください。

その場合は、事業費総額及びうち助成金の()内に見込みと記入してください。

*この様式で助成金は確定しません。遅くとも3月16日までに実績報告書を提出してください。

(ふりがな)	いなしがくかい		
団体名称	伊那史学会		
(ふりがな)			
代表者氏名	原田 望		
設立年月日	1952.7		
ホームページ			
活動内容	  <p>1月 第64回年次大会 飯田市公民館にて 青木隆幸氏(田中芳男「虫捕御用」の明治維新)講演 11月17日 第465回 郷土巡礼 (伊那谷地名の会のフィールドワークと共催) 阿智村 神坂神社～古代東山道～安布知神社 など 阿智村の後援 月刊郷土史誌「伊那」の発行 通巻1088～1099号 第67巻1～12号 年会費 6,000円 定価550円 会員数 1,000人</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	伊那谷研究団体の一員として活動		
困っていること	会員の高齢化、活字文化の衰退		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	なし
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	




(ふりがな)	いнадにしぜんとものかい		
団体名称	伊那谷自然友の会		
(ふりがな)	なかむら たかとし		
代表者氏名	中村 貴俊		
設立年月日	1985年 11月 日		
ホームページ	https://inadanishizen.grupo.jp/		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伊那谷を中心に、自然探索の生き物ツアーとジオツアーを通年実施しています。 ・ 生物・地質の分野で自然講座と講演会を、美術博物館内で通年実施しています。 ・ 年間6回、16頁、一部カラーの友の会報を発行し、自然に関する情報発信をしています。 ・ 会員が個人やグループで地域の自然を調査研究し、その成果を発表しあっています。 ・ 伊那谷の自然の保護や保全のために、研修を行ったり情報交換や情報発信をしています。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>▲ジオツアーの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲総会講演会の様子</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<p>伊那谷自然友の会は、日本全国に約900名の会員をもつ自然愛好団体です。伊那谷をめぐる生き物ツアーとジオツアーでは、専門家と一緒に自然を学び楽しみ、会員同士で交流します。年間6回発行される16頁(一部カラー)の会報を見るだけでも、自然へ引き込まれる楽しさがあります。講演会や講座は、だれでも参加できます。年会費2000円で気軽に入会できます。</p>		 <p>▲会報「伊那谷の自然」</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>生き物ツアーやジオツアーでは、他の団体やグループと共催したり、協力し合ったりして、楽しく交流しています。また、会員以外でも1日会員という制度で、ツアーに参加することもできます。お気軽に相談したり申し込んで下さい。</p>		
困っていること	<p>会員約900名の大きな団体ですが、年々会員が高齢化してきて、会員の減少傾向にあります。大いに入会を願っています。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>年会費2000円、年間会報6回発行、自然ツアーや講座への参加は自由で、特に制約はありません</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだしみんすいそうがくだん		
団体名称	飯田市民吹奏楽団		
(ふりがな)	こばやし けんじ		
代表者氏名	小林 憲司		
設立年月日	1982年6月15日		
ホームページ	https://ja-jp.facebook.com/iidashisui/		
活動内容	<p>毎週月・水曜日の午後7時から9時半まで野底山森林公園ふもとの専用練習場で練習しています。年1回の定期演奏会、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストへの出場、市内外で開催されるイベントへの参加が主な活動です。</p> <p>団員は18歳から50歳代まで幅広い年代が所属しており、親・子・孫の3世代と一緒に演奏できるような団を目指しています。</p> <p>演奏活動とともに、団員相互の交流を深めることも目的の一つであり、阿南町での合宿やレクリエーションなどの交流事業を積極的に行っています。楽しく演奏することはもちろんのこと、演奏技術向上のため外部講師を依頼し定期的な指導を受けています。</p> <p>地域の音楽文化向上のために活動することも重視し、様々な音楽イベントへの参画と、次代を担う子供たちの指導にも力をいれています。</p>		
PRしたいこと	<p>一般の音楽団体ではあまり例のない団所有の練習場を上郷黒田に構えています。また、打楽器や楽譜も多数所有しており、練習環境に恵まれています。</p> <p>現在全パートについて団員募集を行っています。入団希望の方は練習場専用電話0265-52-3350にご連絡ください。(練習時間以外は事務局に転送されます。)</p> <p>しばらく楽器に触れていなかった人もやる気があれば大丈夫。私たちと一緒に活動しませんか？</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	演奏会や講習会の共同開催など。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	当団の活動に対し賛同いただける方で、基本的には18歳以上の一般社会人を入団の条件としています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	定期演奏会などのスタッフ(裏方)としてお手伝いいただける方を募集しています。音楽経験がある方は大歓迎ですが、特に条件はありません。



(ふりがな)	かざこしやまをあいするかい		
団体名称	風越山を愛する会		
(ふりがな)	やました もりひろ		
代表者氏名	山下 守弘		
設立年月日	昭和61年5月14日		
ホームページ	www.mis.janis.or.jp/~hilasawa/		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5月26日 虚空蔵山草刈り</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>7月13日 近隣里山・恵那山登山</p> </div> </div> <p>登山道および案内板の整備を通じた環境保護。イラストマップの販売や会員通信「風のたより」発行・ホームページを通じての風越山のPR活動。地元まちづくり委員会を含めた各種団体、小学校と連携した風越山学習会、登山への参画、登山マラソン・白山社開山祭への協力、観月の夕べの実施、風越山の自然・歴史、文化ガイド、学習会を通じての歴史・文化の保護。笠松山、吉田山、摺木山などへの近隣登山、加賀の白山遠征登山など、風越山の魅力や登山の楽しさを感じていただけるような活動をしています。</p>		
PRしたいこと	<p>風越山は飯田市のシンボルとして親しまれています。歴史をひもとくと、古くは霊山としての信仰の拠り所となってきた山であり、今もその凛々しさを感じることができます。また、四季折々の表情の変化によって私たちを楽しませてくれる、懐の深い山でもあります。私たちは、会員だけでなく、多くの方々にこの風越山の魅力に触れていただくために、楽しく和気あいあいとした雰囲気をもっと活動しています。みなさんとの出会いが、風越山を通して広がっていくことを楽しみにしています。</p>		 <p>8月11日 山の日登山</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>私たちは、いつも飯田市の暮らしに寄り添ってきた風越山を守り、その魅力を感じていただくための活動をしています。そのためには、自然環境や歴史、文化を守り、語り伝えていく必要があります。そのため、まちづくり委員会をはじめ、幅広い団体と連携し様々な活動していくことができると考えています。風越山に少しでも興味のある方、団体は、是非お声かけください。</p>		
困っていること	<p>風越山が誇る独自の自然形態や、守り伝えられてきた歴史・文化を次世代に残していくために、是非とも幅広い年齢層の方に活動に参加していただきたいと思っています。特に若い世代のエネルギーやアイデアを「風越山を愛する会」に加えていただくことができたら幸いです。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>私たちは、たくさんの方々に風越山の魅力を感じていただくために活動しています。老若男女問わず、幅広い方々に参加していただきたいと思っています。少しでも興味のある方は是非ご入会ください。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>風越山の登山道の整備や、自然・歴史のガイドのお手伝いなどをお願いしたいと思います。是非お声かけください。</p>

(ふりがな)	かみいいだゆういちぐるーぷ		
団体名称	上飯田夕市グループ		
(ふりがな)	まつした みなこ		
代表者氏名	松下 みな子		
設立年月日	昭和 年 月 日		
ホームページ	なし		
活動内容	  <p>○丸山小学校2年生と毎年、大豆まき、さつまいも植え、スイカ、ポップコーンなど子ども達の希望による ○収穫祭に招待してくれ、さつまいも、大豆を使ったおやつを頂く。 ○丸山保育園の子ども達とさつまいも植え、地産地消で(会費提出)お昼ご飯をご馳走してくれる。</p>		
PRしたいこと	<p>○高齢になり、孫(ひこ)のような子ども達から元気をもらい、仲間の親睦も深まり、草取りの重荷もわすれさせてくれます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	○特別ありません。		
困っていること	○高齢化して、会員が少なくなったこと。 ○畑の準備、草取りなどが重荷になっていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだ かんこうがいの の かい		
団体名称	飯田観光ガイドの会		
(ふりがな)	にしむら しゅんすけ		
代表者氏名	西村 駿介		
設立年月日	平成 8年 10月 21日		
ホームページ			
活動内容	  <p style="text-align: center;">ガイドの様子</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 観光案内 ①丘の上ガイド ②しらびそ高原～下栗の里案内 ほか 2 月例会の座学・現地研修による観光案内スキルの向上 3 観光ガイドの会パンフレット「案内人と歩く城下町飯田」の発行および配布 4 やまびこマーチ「おもてなしコース」「案内人と歩く5Kmコース(赤石コース、風越コース)」のご案内 5 りんごん翌日の清掃活動への参加 		
PRしたいこと	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田、下伊那地区の観光案内は、ご依頼があればどこでもご要望にお応えできるように準備しています。是非お声をお掛け下さい。 2 生活している場所でも、案外知らないことが多くあります。一度案内人と一緒に住み慣れた地区を歩いてみませんか、思わぬ発見があるかも知れません。 3 ご案内はお一人様から団体様まで可能です。お申し込み窓口は飯田市観光課 (TEL 0265-22-4852 FAX 0265-22-4567)です。ガイドのお申し込みは希望日の1週間前までをお願いします。 		 <p style="text-align: right;">現地研修会の様子</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	各団体が企画するイベントなどで観光ガイドを実施したい。		
困っていること	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田観光ガイドの会をもっと活用していただきたい。 2 会員数の確保・増員が難しく、案内依頼が集中した場合の対応が柔軟にできない。 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<ol style="list-style-type: none"> 1 飯田・南信州に愛着のある方で、ご案内する事に興味があり、かつウィークデーの日中にもガイドが可能な方。 2 年会費は1,000円となります。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	いいだこどもげきじょう		
団体名称	飯田子ども劇場		
(ふりがな)	ふじた ゆか		
代表者氏名	藤田 由香		
設立年月日	1973 年 12月 1日		
ホームページ	http://iidakogeki.web.fc2.com/		
活動内容	<p>子ども達の感性・想像力・生きる力を育むために、以下の活動を行っています。</p> <p>○定期的な舞台鑑賞 舞台劇・人形劇・音楽・芸能など様々なジャンルの舞台を、年齢に合わせて鑑賞しています。</p> <p>鑑賞をきっかけに、視野を広げたり、子どもの自主性を育てる活動を行っています。 ・終演後のバックステージツアー・当日の会場の飾り作り・出演者とのランチ交流会 鑑賞会の挨拶や受付などの係りの仕事などを行う。</p> <p>○キャンプやお祭りなど、子どもの自主的な参加を意識した活動。</p>		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>鑑賞会の当番 子どもと一緒に、鑑賞会の企画にかかわります。事前の打合せ会で係りを決めてたり、会場の飾りを作ったり。</p> <p>始まる前のあいさつも、子ども達の活躍する場面です。ちょっと緊張して、人の前で話すのも、経験のひとつ。</p> </div>
PRしたいこと	<p>体験を重ねて、経験に。毎年夏のキャンプは、子どもの班作りから。献立、持物分担、事前の練習など、やる事がたくさん。大人は助言のみ。当日は高校生や青年達と一緒に過ごします。飯盒すいさんも、ナタやのこぎりを使った工作も、失敗もしながら、だんだんと身につきます。</p>		
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>舞台を観た後 役者さんとの 交流も心に 残ります。</p> </div> 
他団体との連携が可能なこと・したいこと	舞台鑑賞会の共同開催		
困っていること	◎子ども達と一緒に楽しむ、新規会員を広く募集しています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	赤ちゃんから、どなたでも。年齢制限はありません。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)	ひさかたふうどしゃ		
団体名称	ひさかた風土舎		
(ふりがな)	はせべ みひろ		
代表者氏名	長谷部 三弘		
設立年月日	1991年 3月 15日		
ホームページ			
活動内容	  <p>風土舎通信の発行 1991年5月刊行 目的:小さな村の出来事を記録に残す 配布:地区内外・諸機関へ配布している 現在発行No:312～ 5冊を保存版にしている。</p> <p>鎮守の杜寺子屋 1991年7月開設以来29年間継続している。今までに修了した寺子の人数は、765人である。</p>		
PRしたいこと	<p>発展途上国の研修員の受入れ JICA (日本国際協力機構) 事業 1998年～現在まで22年間継続している。毎年8月下旬飯田市で研修している。今までの受入れ国と人数は、59か国と339人</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	高齢化と財源不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会費納入
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	くろだにんぎょうほぞんかい		
団体名称	黒田人形保存会		
(ふりがな)	やまぎし ひふみ		しみず けんいち
代表者氏名	黒田人形保存会会長 山岸 一二三		黒田人形座座長 清水 謙一
設立年月日	元禄年間(1688～1703年)から300年余り続いていると言われている。 昭和28年(1953年)に黒田人形保存会を結成。		
ホームページ	http://www.city.iida.lg.jp/puppet/kuroda/		
活動内容	  <p>黒田人形は、1体の人形を3人で操る三人遣いで、300年余り続いていると言われている伝統人形芝居。人形遣い・太夫・三味線が三位一体となって演じる。淡路の昔の技を伝承されていて国選択無形民俗文化財に指定されている。郷土に伝承されている伝統芸能を更に伝承していくのが保存会の活動。人形を動かす人形遣い。義太夫を語る太夫、その伴奏を弾く三味線。撮影その他裏方。下黒田諏訪神社春季禮祭奉納上演(本祭り毎年4月第2日曜日午後1時から宵祭り前日午後6時から)。いいだ人形劇フェスタ。伊那人形芝居公演(四座発表会)。依頼があれば主張上演も行う。特に寿式三番叟は、芝居の幕開けに上演される祝儀の演目であり、五穀豊穡を祈る。江戸後期天明年間(1781～1788年)淡路から黒田に来て人形を教え、黒田の太念寺に眠る吉田重三郎が伝えたといわれている。</p>		
PRしたいこと	<p>黒田人形舞台(指定名称「下黒田の舞台」)は、天保11年(1840年)に再建された人形舞台。本格的な構造・規模・歴史が揃っていて、人形舞台として全国で第一号の国指定重要有形民俗文化財に指定されている。毎年4月に春季禮祭奉納上演が行われている。黒田人形浄瑠璃伝承館は、平成11年(1999年)に下黒田諏訪神社境内隣接地に、人形芝居の伝承の施設として建設。収容人員150人本格的舞台、楽屋等に使える控室等が5室等あり、各種芸能の練習・発表会に適している。毎年11月に伊那人形芝居公演(伊那谷四座発表会)が行われている。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今年度上郷小学校チャレンジ教室では、人形を動かして飯田りんごを踊れるように指導。高陵中学校黒田人形部では、春季禮祭奉納上演、野底山森林公園さくら祭り、いいだ人形劇フェスタ、伊那谷伝統人形浄瑠璃中学生サミット、高陵祭、健和会病院交流等の上演の人形遣い・三味線の指導、伝統人形芝居を通じた南あわじ市との交流。飯田女子高等学校人形劇クラブでは、野底山森林公園さくら祭り、津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス祭、南信州民俗芸能継承フォーラム、2019台湾雲林国際人形劇フェスティバル海外遠征等の上演の人形遣い・三味線の指導。高陵中学校黒田人形部、飯田女子高等学校人形劇クラブでは、それぞれ生徒の皆さんを募集しております。</p>		
困っていること	<p>黒田人形座 座員の募集 定例稽古のなかで、黒田人形の技を伝承していくことが難しいこと。 人形を動かす「人形遣い」。義太夫を語る「太夫」。その伴奏を弾く「三味線」。撮影その他「裏方」。 黒田人形座座員が少ないこと。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>黒田人形座 座員募集 高校生以上。 定例稽古 正月・お盆休みを除いて、毎週土曜日午後7時から9時まで。 上演・公演に出られること。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	いいだこうきょうがくだん		
団体名称	飯田交響楽団		
(ふりがな)	やたか もりと		
代表者氏名	矢高 森人		
設立年月日	1989年 5月 日		
ホームページ	http://iidakoukyougakudan.g1.xrea.com/		
活動内容	<p>飯田下伊那に唯一のオーケストラ団体として、クラシック音楽の演奏や、地域への貢献を目指して活動しております。毎週水曜日 19時～ 場所は主に飯田文化会館にて練習しています。</p> <p>5月 オーケストラと友に音楽祭「オーケストラのおと」に参加 名古屋フィルハーモニー管弦楽団の方々と飯田交響楽団の合同オーケストラで多くの子どもたちにオーケストラの魅力をお伝えしました。</p> <p>12月 飯田交響楽団第26回定期演奏会を開催し、名古屋フィルハーモニー管弦楽団クラリネット奏者首席をでいらっしゃいます、ロバート・ボルジョスさんをお招きし、モーツァルト クラリネット協奏曲を演奏しました。メインプログラムにチャイコフスキー交響曲第5番を演奏し多くの方に熱のこもった演奏がお届けできた事と思います。</p> <p>11月 伊那谷文化芸術祭に参加</p>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>オーケストラと友に音楽祭では、小学生を対象とした演奏会を新規プロジェクトに飯田交響楽団も参加し、名古屋フィルハーモニー交響楽団との合同演奏を企画しております。</p> <p>保育園への出張演奏会や、老人ホームへのお出張演奏など、ご依頼いただいたところへのお出張演奏も積極的に行っております。</p>		
困っていること	<p>弦楽器の団員を募集しています。特にコントラバス、ビオラ、ヴァイオリン、トロンボーン、チューバ経験者大募集です。 お気軽にお越し頂ければと思います。</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ご自身で楽器をお持ちの方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	みなみしんしゅういいだそばたつじんのかい		
団体名称	南信州飯田蕎麦達人の会		
(ふりがな)	にしな たもつ		
代表者氏名	仁科 保		
設立年月日	平成年8年 3月 日		
ホームページ			
活動内容	<p>全国本物体験教育旅行の子供達のそば打ち教室年間500人、手打ちそばインストラクター養成講座、一般そば打ち教室毎月2回(23年続く)、そば祭りイベント(年5回出店)、昨年から二人前そば打ち大好評！老人会、子供会で開催。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
PRしたいこと	シニア大学のそば打ち教室の受け入れ、企業OB会そば打ち部の受け入れを行っている。		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること	そば打ち道場の会場費負担。光熱費負担。そば道具の搬送と道具劣化のため補充不十分。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	特に無し
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	休日イベントに参加出来る方。

(ふりがな)	かがくこうさくきょうしつすいしんきょうぎかい		
団体名称	子ども科学工作教室運営協議会		
(ふりがな)	はやし けいぞう		
代表者氏名	林 敬三		
設立年月日	平成 5 年 4 月 1 日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p>年間4回の子ども科学工作教室を実施 第1回 三極モーターカーの製作 三極モーターを組み立てて電池で動く車を製作します。 第2回 スペースロボの製作 太陽光パネルを搭載したロボットを製作します。 第3回 天体望遠鏡の製作 8種類の筒を組み合わせて天体望遠鏡を製作します。 第4回 燃料電池カーの製作 塩水で発電する燃料電池で動く4WDカーを製作します。</p>		
PRしたいこと	<p>飯田下伊那の小学校4年生から6年生までの子どもを対象にして45名定員で行っています。各回のキット代金は個人負担です。10の企業・高校等から指導に来て、個人的な指導をしてくれるので、保護者は同伴しなくても一日じっくり製作し完成して持ち帰れます。製作したものを動かして遊んだり、天体を観測したりできます。この教室ではもの作りへの興味関心を高めます。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	現在、飯田下伊那の企業9社と飯田OIDE 長姫高等学校の生徒さんなどが毎回指導に参加してくれます。他にも指導を希望する企業などがありましたら受け入れます。		
困っていること	子ども科学工作教室運営協議会への参加企業は9社です。もっと参加企業を増やして指導協力をしていただきたいと思います。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	募集はしていませんが、飯田市工業課で受け入れています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	しもぐりさとのかい		
団体名称	下栗里の会		
(ふりがな)	のまき たけし		
代表者氏名	野牧 武		
設立年月日	平成15年 6月30日		
ホームページ	なし		
活動内容	 <p style="text-align: center;">上久堅地区での文化祭へ参加</p>  <p style="text-align: center;">年1回 視察研修を実施(豊川稲荷)</p>		
PRしたいこと	<p>下栗地区で自分たちが楽しみながらできる事を考えて無理のない範囲で活動しています。 信州の伝統野菜「下栗芋」を伝承できるよう保存と栽培を続け、加工品の開発と販売に取り組んでいます。</p> <p style="text-align: center;">下栗ふれあい祭り 懇親会参加 →</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	下栗自治会との連携による環境整備、ふれあい祭り等の活性化活動。遠山郷観光協会、下栗案内人の会と連携して観光客の誘致。		
困っていること	会員の高齢化と後継者不足。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗里の会の活動に参加できる方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下栗集落で開催する事業、イベントに参加できる応援隊

(ふりがな)	きざわちくかつせいかすいしんきょうぎかい		
団体名称	木沢地区活性化推進協議会		
(ふりがな)	まえざわ のりみち		
代表者氏名	前澤 憲道		
設立年月日	平成3年 4月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	<p>○地域資源を活用した交流による主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年 5役会議、役員会、学校周辺整備作業、来校者受け入れ、遠山藤原学校他団体との交流、遠山森林鉄道復活支援ほか ・遠山郷マラニック大会支援 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>5月と9月に開催されたモトカフェ (多くのライダーが来校)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地元遠山中学校生徒の感謝祭 (3月)</p> </div> </div>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・当協議会は、木沢小学校が休校になった平成3年4月に発足し、今年で29年目を迎えます。地域の活性化を図る為、その後廃校になった木造校舎を活用した各種交流による取り組みを行っています。 ・交流人口も年々増加し、木造校舎保存に賛同される来校者のご厚意と役員ボランティア活動のお陰で、施設の運営・維持管理が行われています。 ・昔懐かしい木造校舎で日常生活からタイムスリップし、癒しの空間で子供のころの思い出に浸ってみませんか。各教室には各種団体の活動紹介や木沢の歴史的(霜月祭り、森林鉄道など)な展示品による紹介がされています。また、校長として親しまれている猫と教頭の犬もおり、訪れる方をやさしくお出迎えしています。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体が企画・計画する各種交流事業等への木造校舎をはじめとする地域資源の提供(一部有償)		
困っていること	役員の高齢化と後継者の確保		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	会の趣旨に賛同し会則に従って活動できる方で、当会が認めた方(地域外の方でも可)
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	ボランティア活動の趣旨に賛同し参加できる方(活動ごとに募集)

(ふりがな)	きねはらがっこうおうえんだん		
団体名称	杵原学校応援団		
(ふりがな)	いのうえ まさお		
代表者氏名	井上 征雄		
設立年月日	2005年5月		
ホームページ	https://kinehara.com/		
活動内容	<p>こども教室 おやす作り デイキャンプ</p>    <p>○年間を通じて、旧山本中学校、通称「杵原学校」を核にして様々な事業を実施しています。 ○主に、こども教室開催、農業体験、農場の運営、里山散策、大人向けの勉強会(山本学講座)、南信州観光公社の体験教育旅行受入、旭ヶ丘中学校が行う地域学習「かやの実チャレンジ」受入、その他校舎や敷地内の整備作業も行っています。</p> <p><子ども教室・農業体験・食文化教室></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ、さつまいも、白菜、大根など植付、収穫体験 ・土器づくり、おやすづくり、餅つき ・柏餅、おはぎ、ジャガイモ料理、流しラーメン、さつまいも料理、五平もち、ケーキ作り、餅料理、恵方巻き <p><里山・屋外体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイキャンプ <p><施設等整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大掃除 <p><地域おこし></p> <ul style="list-style-type: none"> ・杵原学校桜フォトコンテストの開催 ・杵原学校の枝垂れ桜見頃期間の桜まつり(おもてなし活動) 桜フォトコンテスト 表彰式 		
PRLしたいこと	<p>○地域の方が講師になって、経験から生まれた知識を元に、杵原学校を中心にした屋内外活動や自然に触れることからの本物体験を行っています。</p> <p>○同様に地域の伝統、文化の継承を行っていくための活動もしています。</p> <p>○この様な活動を通じて地域の活性化や、地域おこしにつながる活動にしていきたいと考えています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○個々の取り組み内容では出前の講師対応も可能なものもありますのでご相談ください。</p> <p>○木造校舎の保存、利活用を行っている団体と交流を深めたいです。</p>		
困っていること	<p>○今後、応援団員の平均年齢の高さからくる事業の継続性の問題</p> <p>○若い団員の確保</p> <p>○各事業での講師人数確保</p>		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>時間とやる気のある方歓迎、経験不問。</p> <p>費用負担は軽微ですが、報酬はほぼ無いので、それでも構わない方、地域外の方でも入会はOKです。</p>
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	<p>基本は会員と同様です。</p> <p>ボランティア即、団員可ですのでお気軽にご参加下さい。</p> <p>会則、会費などの複雑な縛りはありません。</p>

(ふりがな)	みなみしんしゅういーだおもしろかがくこうぼう		
団体名称	南信州飯田おもしろ科学工房		
(ふりがな)	みうら ひろこ		
代表者氏名	三浦 宏子		
設立年月日	平成13年 6月		
ホームページ	http://www.i-kagaku.net		
活動内容	 <p>平成30年度 活動実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験ミュージアム(47回実施 6,264名参加) ・出前工房(31回実施 2,566名参加) ・幼稚園、小学校等の支援活動(37回実施 1,454名参加) ・科学実験教室(18回実施 1,136名参加) 		
PRしたいこと	<p>南信州飯田おもしろ科学工房は、飯田市出身のサイエンスプロデューサー(故)後藤道夫先生の「故郷飯田の子どもたちに科学の楽しさと不思議さを知ってもらいたい。科学を好きになってもらいたい。」という想いから始まりました。</p> <p>かざこし子どもの森公園おいで館を拠点に、理科実験ミュージアムや学校や公民館への出前工房などを開催しています。子どもも大人も楽しめる実験を目指し、また科学をより身近に感じてもらうため、身のまわりにあるものを使った理科実験や工作の指導、実演を行っています。</p> <p>日常のあつと驚く不思議な体験や感動を通じて、子どもたちには考える力や科学の興味を、楽しさを知った大人には科学を通じた地域活動の輪を広げてもらえるよう、地域を活性化していく一助になりたいと思います。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の企業や高校、公民館などと連携しながら科学の輪を広げていきたいと考えています。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	理科や科学が好きな方、子どもが好きな方なら特に資格は問いません。

(ふりがな)	おみのさとしんこういいんかい		
団体名称	麻績の里振興委員会		
(ふりがな)	つつい せいいつ		
代表者氏名	筒井 誠逸		
設立年月日	平成 11年 4月 1日 (平成6年設立平成11年再編成)		
ホームページ	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">座光寺</div> で検索 http://zakoji.jp		
活動内容	<p>座光寺地域中段には元善光寺・高岡1号古墳(県宝)・麻績学校舞台校舎(県宝)・南本城(県史跡指定)・麻績の里舞台桜(市天然記念物)・石塚桜(石塚古墳の上)さらに恒川官衙遺跡(国史跡指定)等文化遺産が集積している。これらの文化遺産ゾーンを保護活用して地域振興のため、地域住民が自ら行動することを基本に座光寺地域自治会の特別委員会として4班編成で活動を展開してきた。</p> <p>具体的内容:主な内容として、 1班:元善光寺門前町(県道市場桜町線)の活性化 2班:南本城の山林間伐・遊歩道の草刈・史跡案内看板等の整備 3班:麻績舞台校舎の活用と舞台桜保護と周辺整備 4班:南信州を軸とする竹宵による地域活性の展開</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="344 824 975 1155">  <p>麻績の里桜まつり</p> </div> <div data-bbox="999 645 1437 936">  <p>門前町の小菊</p> </div> </div> <div data-bbox="999 947 1437 1238">  <p>舞台校舎活用事業</p> </div> <div data-bbox="999 1256 1437 1518">  <p>麻績竹宵の会「かぐや姫」</p> </div>		
PRしたいこと	<p>『自ら考え自ら行動する麻績の里づくり』を合言葉に地域の有志ボランティアで活動を継続している。会員の職業も様々で事業においては参加できない時もあるが強制的な召集はしていない。活動にあたっては“自分たちが楽しみながら地域を盛り上げる”が継続の力となっている。</p> <p>☆座光寺のホームページをぜひご覧ください☆</p> <div style="text-align: right;">  </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>今後はリニア建設・開通に伴い、様々な地域状況や生活の変化が生じ、なにより長野県の玄関口として県内県外大都市から人の往来により、広範囲な交流・国際化が想定される。そのような変化を機として座光寺地域の魅力を発信し地域振興のため、従来からの活動の継続と充実はもとより、新たな発想で新たな活動および組織柔軟な対応が必要となる。それらを課題とした他団体との意見交換や交流を行いたい。</p>		
困っていること	会員は年代が殆ど50代以上の男性であり、若年層や女性の加入が課題		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	地域会員を基本とする
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	大変な作業を笑顔で出来る方

(ふりがな)	とおやまやまのかい		
団体名称	遠山山の会		
(ふりがな)	こざわきんぞう		
代表者氏名	小澤欣三		
設立年月日	平成12年頃 (以前よりの活動を統合)		
ホームページ			
活動内容	 <p>西澤渡の渡し修繕 H28.7</p>  <p>登山道災害復旧 R1.7</p>  <p>中学登山サポート 熊伏山 H26.7</p>  <p>易老渡簡易トイレ設置 H29.6</p>  <p>登山道倒木処理 池口岳 H28.9</p>		
PRしたいこと	 <p>聖岳(百名山)</p>  <p>光岳(百名山)</p>  <p>池口岳</p> <p>こんなに素晴らしい自然が身近にあることを自分の眼と体で確かめてみてください！</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	他団体と情報交換をしながら大勢の人が気楽に山を楽しめるようにしたい。		
困っていること	アクセス道路や、登山道の整備が間に合わないこと。 2018年9月に崩壊した登山口に繋がる道路の早期復旧を願っています。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	入会金2000円、年会費2000円。一緒に山岳と酒を楽しめる老若男女。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	一緒に登山道整備等の環境保全に汗を流してくれる人。

(ふりがな)	しゃかいりりょうほうじん りつざんかい いいだびょういん		
団体名称	社会医療法人 栗山会 飯田病院		
(ふりがな)	はら しげき		
代表者氏名	理事長 原 重樹		
設立年月日	明治36年 9月 1日(1903)		
ホームページ	http://www.iida.or.jp		
活動内容	 <p>当病院は、病院理念の具現化として「医と文化の融合」を掲げ、各種の文化事業に取り組んでいます。特に一流の演奏家を招いて病院エントランスホールで毎月1回行う「ロビーコンサート」は、非常に好評を博しており、さらにロビー空間への絵画・写真作品などの展示活動等は「公開」の精神に貫かれております。</p> <p>また、最先端精神科医療を学ぶ「精神科公開ゼミ」、院内での事例研究発表を行う「飯田病院学会」などの活動も活発に行っています。</p> <p>病院そのものを地域におけるアメニティー空間として一般に開放するなど、文化による「交流」の場を地域に創出しています。</p>		
PRしたいこと	<p>諸活動の中でも特に病院ロビーをコンサート会場として使用し、入院患者さんをはじめ来院者が、一流の演奏家による生の音楽を無料で気軽に楽しむこと出来る「ロビーコンサート」は、毎月1回原則として土曜日に開催しておりますが、2019年12月7日で191回となり市民の皆様から極めて高い評価をいただいております。地域に定着したものとなっています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
困っていること	特になし		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	


(ふりがな)	みんなのいえ ぬくぬく		
団体名称	みんなの家 ぬくぬく		
(ふりがな)	なかだいら しゅんじ		
代表者氏名	中平 俊次		
設立年月日	平成14年 11月 1日		
ホームページ			
活動内容			
	<p>ご利用者とスタッフ合わせ て60名の昼食風景</p>		<p>竜丘保育園の園児との交流会</p>
PRしたいこと	<p>竜丘地区の80歳以上の方に声をかけ月1回開催している。 午前10時に始まり、軽い体操・お茶の時間・おしゃべりの時間・昼食・お昼寝・クイズ・ビンゴゲームなどで楽しみ、午後3時に解散。</p>		
			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	

(ふりがな)	ちいきぐるみかんきょうあいえすおーけんきゅうかい		
団体名称	地域ぐるみ環境ISO研究会		
(ふりがな)			
代表者氏名	—		
設立年月日	1997年11月（設立時の名称は「地域ぐるみでISOへ挑戦しよう研究会」）		
ホームページ	https://www.city.iida.lg.jp/site/kankyouseisakujiouhou/isokenkyuukai.html		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>研究会参加事業所の実務者全体</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ISO 14001規格改訂内部監査員養成</p> </div> </div> <p>研究会の「活動理念」は、地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境改善の地域文化を創造する。参加事業所それぞれの枠を超えた活動を展開し、「点」から「面」を合言葉に、地域全体で環境改善活動を展開することを視野に入れて活動している。</p> <p>(1)ISO 14001の認証取得・継続審査の相互支援 (2)従業員・職員を通じての環境意識の向上 (3)地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」の構築・普及 (4)温室効果ガス削減に向けた省エネ等対策の普及 (5)講師を招聘してのISO関係の研修会の開催 (6)市の環境行政への支援</p>		
PRしたいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・年々顕在化してくる環境問題に対し、地域内の事業所同士で課題を共有しつつ、将来にわたり持続可能な事業活動を行うべく活動を1997年から20年以上行っている。パリ協定やSDGsが社会実装される中、行政の環境政策の一翼を担うことを目指し取り組んでいる。 ・現在71事業所で運用されている中小・零細事業所向けの地域独自の環境マネジメントシステム「南信州いいむす21」は、研究会が構築・審査・支援を行っている仕組みである。 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体への省エネなど環境一斉行動週間への参加の呼びかけ ・講師を招聘してのISO・環境関係の研修会への参加のよびかけ ・研究会主催や飯田市との共催による環境講演会やセミナーへの参加呼びかけ 		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会の活動理念や活動内容に賛同でき、ボランティアな活動に関われる事業所
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	研究会そのものがボランティアな活動を行う組織であり、「南信州いいむす21」の審査・支援など研究会会員事業所の実務者等によりボランティアな活動によって進められている。

<p>(ふりがな)</p>	<p>とくていひえいりかつどうほうじん みなみしんしゅうおひさましんぽ</p>			
<p>団体名称</p>	<p>特定非営利活動法人 南信州おひさま進歩</p>			
<p>(ふりがな)</p>	<p>こばやし としあき</p>			
<p>代表者氏名</p>	<p>小林 敏昭</p>		<p><さんぼちゃんの誓い> いらないでんきはつかいません あかるいでんきは たいようからの おくりもの おひさまパワーで あかるい まいにち みんなでなろう さんぼちゃん</p>	
<p>設立年月日</p>	<p>2004/5/27</p>			
<p>ホームページ</p>	<p>http://www.ohisama-shinpo.or.jp</p>			
<p>活動内容</p>	<p>①地球温暖化防止を図る活動 ②まちづくりの推進を図る活動 ③社会教育の推進を図る活動 ④子どもの健全育成、環境教育の推進を図る活動 ⑤前号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言、援助の活動</p> <p>ライチョウ&大町 環境見学ツアー 地球温暖化防止と地域づくりを考える研修視察</p> <p>大町山岳博物館「雷鳥」</p>   <p>NPO法人地域づくり工房(大町市)と交流して 小水力発電、菜の花栽培など先進事例を学ぶ</p>			
<p>PRLしたいこと</p>	<p>当NPOは市民等から寄付をいただいて、鼎切石の明星保育園に太陽光市民共同発電所「おひさま発電所1号」を開設しています。市民がおひさまパワーを身近に感じて自然エネルギー利活用や地球温暖化防止に意識を高めて、環境保全を推進してもらえたら嬉しいです。市内外の児童施設等へ出向いて環境教育したり、森や水の大切さ、太陽光発電など自然エネや省エネの普及をわかりやすく伝えたりしています。森林や環境保全について県内の各種団体等と連携した取り組みにも参画しました。長野県環境保全協会「信州エコ大賞」受賞後、新たな交流や協働を模索しています。</p> <p>【主な事業】 ①一般参加を公募した研修視察 今年は大町山岳博物館と大町市で活躍する環境NPOの先駆的な取組を見学し、地域づくりや環境保護の学習を深めました。 ②松川アダプトプログラム 温暖化現象を感じる猛暑。河川愛護活動では夏を避けて今回は冬に河川沿いのごみ拾いと清掃活動をしました。</p> <p>エネルギーの地産池消と自然豊かな南信州を持続可能な地域社会としていくために活動していきます。</p>  <p>松川 アダプトプログラム 河川清掃</p>			
<p>他団体との連携が可能なこと・したいこと</p>	<p>◇地球温暖化防止活動や環境教育の推進を図る事業。 ◇各地区の公民館やまちづくり委員会と連携し、環境問題を課題に地域のまちづくりに関わる事業。(住民向け省エネ講座、文化祭へのワークショップ出展、春休み・夏休みのイベント企画・出前講座)</p>			
<p>困っていること</p>	<p>一緒に活動してもらえる新規会員を求めています。</p>			
<p>会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>	<p>○</p>	<p>条件等</p>	<p>地球温暖化防止、自然環境保全、当NPOの活動に取り組める方 (連絡先:事務局 池戸 090-4007-6076)</p>	
<p>ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)</p>	<p>○</p>	<p>条件等</p>	<p>地球温暖化防止、環境教育、まちづくりなどに関心・関心がある</p>	

(ふりがな)	ゆめくらぶ		
団体名称	夢くらぶ		
(ふりがな)	ひよし たかゆき		
代表者氏名	日吉 隆幸		
設立年月日	平成 18年 4月 1日		
ホームページ	shimokitadreamclub.web.fc2.com		
活動内容	 <p> 4月17日 黒田人形奉納公演鑑賞 6月16日 春のフルーツライン清掃 7月21日 献血奉仕活動 【受付者数65名 献血者数53名】 7月27日 納涼大会屋台出店 9月22日 秋のフルーツライン清掃 10月13日 黒田諏訪神社秋季祭典協力 </p>		
PRしたいこと	<p>自分達の夢、やりたいことをメンバーと語り実現することが、結果的に地域への貢献や仲間づくりに繋がっています。</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	下黒田北地域に在住の方、もしくは地区内にお勤めの方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	きょうほく おもしろ くらぶ		
団体名称	橋 北 面 白 俱 楽 部		
(ふりがな)	あいづ ひろと		
代表者氏名	座長 相 津 博 人		
設立年月日	平成19年 4月 1日		
ホームページ			
活動内容	  <p>活動内容 7月 橋北夏祭り 12月 橋北イルミネーションフェスタ(旧飯田測候所) 橋北まちづくり委員会と連携しながら事業の企画実施をしています。 橋北地区にある施設、自然を地区内はもちろん、地区外の方に知ってもらいたいとの 思いから住民有志で活動しています。</p>		
PRしたいこと	<p>私たちの趣旨は、 「面白そうならやってみる」 「出来ることは自分たちでやる」 です。 事業のすべてを会員の手だけ で協力し合い作業しています。</p>		
他団体との連携 が可能なこと・し たいこと	<p>イルミネーションフェスタについては趣旨に賛同して下さる団体、企業、学校などのお力をお 借りできると幸いです。(イルミネーションの企画、飾り付け) 例年、おひさま進歩エネルギーさんに御協力いただき、旧飯田測候所の有効利用、及びP Rを考えて一緒に活動しています。</p> <p>夏祭りでは、飯田OIDE長姫高校の方にお手伝いいただきました。</p>		
困っていること	<p>会員の高齢化の為、事業の継続 若い会員の確保</p>		
会員募集(募集の 場合は○、しない場合 は×)	<input type="radio"/>	条件等	橋北地区在住者で趣旨に賛同して協力できる方
ボランティア募 集(募集の場合は ○、しない場合は×)	<input type="radio"/>	条件等	毎年、12月に行っているイルミネーションフェスタにつき、他地区、 企業、学校の協力及び参加を募集しています。

(ふりがな)			
団体名称	おはなしのいす		
(ふりがな)			
代表者氏名	佐藤 圭代		
設立年月日	平成28年4月 日		
ホームページ			
活動内容	<p>子ども達に昔ばなしや創作のおはなしを、絵本の読み聞かせではなく、声だけの”素話”でお届けしようと、「おはなしの語り(ストーリーテリング)」を学び合っています。第2月曜の10時から12時半まで、県公民館で月に一度の会を持ちながら、県小学校の「おはなしのじかん」や、上郷図書館の「おはなしのへや」で、子どもたちに素話を楽しんでもらっています。</p> <p>この会が発足して、おはなしを語る仲間が増え、上郷図書館の「おはなしのへや」が誕生したり、学校へ出向けるボランティアメンバーが増えました。子ども達に、声でおはなしを聞く楽しさ、自分の想像力でおはなしを楽しむ豊かさを味わってもらいたいと願っています。おはなしは、大人が聞いてもとても楽しめます。ご自分のために、又はお子さんのためにおはなしを聞いてみたいという方、おはなしを聞くのが大好きだという方、是非体験にお越しください。活動日は、毎月(8月を除く)第2月曜の10時から12時半(県公民館)です。(予定が変更の月もあります)</p>		
PRしたいこと			
他団体との連携が可能なこと・したいこと			
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	

(ふりがな)	ふれあいぼらんていあ もみじのかい		
団体名称	ふれあいボランティア もみじの会		
(ふりがな)	なかじま しげる		
代表者氏名	中島 茂		
設立年月日	平成26年 11月 1日		
ホームページ	なし		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>2017.12.13</p> <p>*利用者さんと歌っているところ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>2017.07.09</p> <p>*独唱で「みだれ髪」を唄っています</p> </div> </div> <p>○大正琴・音響・ハーモニカの音にあわせて、童謡・唱歌・懐メロなどを施設の利用者さんと一緒に歌をうたったり、体操のような踊りと独唱・フラダンスも取り入れて、笑いながら一緒に身体を動かして一定のリハビリ効</p>		
PRしたいこと	<p>○単純に、施設などを利用している高齢者が喜んでくださることをしていますが、結構必要で大事な福祉活動だと思いますので、いろいろなボランティア団体でも、是非取り組んでいただけた</p> <div style="text-align: right;">  <p>2017.02.17</p> </div>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	○手品・マジックショーなど面白そうな「芸」があれば取り入れてもよいかと思っていますが、あまり積極的には考えて		
困っていること	○訪問地への移動車の費用と交通事故があった場合の補償問題		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	※歌が好きであって、介護施設などで利用者さんと楽しく接することができる方。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	※訪問先へ移動するのに車と運転手のボランティアさんを探して

(ふりがな)	とおやまごうかんこうきょうかい		
団体名称	遠山郷観光協会		
(ふりがな)	こんどうちかお		
代表者氏名	近藤力夫		
設立年月日	平成17年10月1日		
ホームページ	tohyamago.com		
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>しらびそチャレンジ(サイクリングイベント) 下栗の里にて R1.10</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>チャレンジマラニックin遠山郷 R1.9</p> </div> </div> <p>伊那山脈と南アルプスに挟まれた遠山郷。 遠山へ来たら、かぐらの湯のとなりにある「アンバマイ館」にぜひお寄り下さい。遠山郷観光協会はこのアンバマイ館の中にあります。「アンバマイ館」の名前の由来は、「あんばまいか」。「アンバマイカ」とはこの地方の方言で「遊びましょう」という意味。 観光案内所やホームページを通して、遠山郷の魅力を知ってもらったり、住民との交流</p>		
PRしたいこと	<p>遠山郷は長野県の最南端、南信濃・上村地方の山深い谷これぞ日本の秘境です。 国の重要無形民俗文化財に指定されている遠山霜月祭、神様の湯治場の伝説がある秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」、日本の原風景が残る場所下栗の里、南アルプスの雄大なパノラマを望むしらびそ高原、南アルプスの恵みをたっぷり含んだ名水・観音霊水、山と渓谷に囲まれた里山がここに 있습니다。 心安らぎ、人情味溢れる遠山郷へのお越しをお待ちしています。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	情報発信、地域振興における連携、役割分担。		
困っていること	地域として、過疎化・高齢化が深刻になってきていること。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	遠山郷では、遠山郷の外に住んでいて、遠山郷を応援して下さる「第二のふるさと村民」を募集しています。入会金も会費も無料ですが、特にお得な特典はありません！何も特典はありませんが、あなたの心のふるさとにして、応援してくれると嬉しいです。

(ふりがな)	まるやまいしがまぶ		
団体名称	まるやま石窯部		
(ふりがな)	たなか ひであき		
代表者氏名	田中 秀明		
設立年月日	平成29年4月9日		
ホームページ			
活動内容	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">石窯のお祓い・安全祈願 石窯の補修</p> <p>○会の目的 石窯を活用して「交流の場」をつくり、自らの学びと豊かな地域づくりに寄与すること</p> <p>○具体的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石窯の補修、環境の整備 ・地区内外の人との交流事業 ・石窯を活用した料理の研究 ・丸山公民館事業への協力(文化祭など) 		
PRしたいこと	<p>石窯を利用した交流会を定期的に行い、親睦を深めています。</p> <p>石窯で作った料理は絶品です。当会に入会し、ぜひ一度食べてみてはいかがでしょうか。</p>		 <p style="text-align: center;">石窯で作った料理</p>
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>石窯を使った料理の研究</p> <p>石窯料理を通じた交流会</p>		
困っていること	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的知識をもった人の不足(石窯保守整備・石窯料理) ・継続的な取り組みになるような組織作り 		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	

(ふりがな)	とらいわの ぶんかざいを まもるかい		
団体名称	虎岩の文化財を守る会		
(ふりがな)	いけだ けんいち		
代表者氏名	池田 健一		
設立年月日	平成27年6月14日		
ホームページ			
活動内容	 <p style="text-align: center;">飯田やまびこマーチ接待</p>  <p style="text-align: center;">嵯峨坂ざぜん草自生地草刈り</p> <p>1月:新年総会・旧瀧澤医院1階手術室床復旧 2月:ザゼンソウ開花・ムトス学習会・大石垣下段雑木伐採整備 3月:第3回嵯峨坂ザゼンソウ見学会・有賀峠ざぜん草の里公園視察・大石垣下段整備・水仙植栽 4月:大石垣上ドウダン植栽・桜植栽・飯田やまびこマーチ竜東コース接待・トイレ屋根瓦施工 5月:あんり窯陶芸展&旧瀧澤医院第3回一般見学会 6月:下段にポケットパーク(木製ベンチ)・ザゼンソウ自生地草刈り 7月:大石垣雑木伐採 9月:廃屋状態の馬屋撤去 11月:ザゼンソウ自生地周辺草刈り</p>		
PRしたいこと	<p>飯田市有形文化財の旧瀧澤医院は明治28年竣工の擬洋風病棟で門構えの八角時計台を載せる特異な建築。、いち早く近代ドイツ医学を習得し、地域にあって高い医療技術と政治家・歌人・銀行頭取・新聞社社長など幅広い活躍で知られる瀧澤清顕医師の心意気を天下に示すように、天に屹立する尖塔と馬に乗って往診に出たとされる門が特徴。「虎岩の文化財を守る会」では、平成27年より廃屋状態だった母屋の修復を進め、現在全ての部屋が使用可能となっています。見学会・学習会はもちろん、講演会や展示会など各種イベントに活用を図っていただけるよう願っています。一方、飯田市天然記念物の嵯峨坂ざぜん草自生地では春真っ先に発熱して雪を解かして開花、悪臭で虫を呼ぶ特異な生態。県北部に多く自生が知られ、日本海側で多雪の鳥取～兵庫～滋賀などにも、近在では阿智村伍和や阿南町新野が知られ南限の自生地としての価値が評価されます。嵯峨坂の自生地は開通した三遠南進道「ひさかたIC」から約2kmとアクセスも向上。飯田では取り組みも対応も不十分でまだまだPR不足と思われる。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	趣ある環境を最大限に利用、相互の交流会等の場として有効活用したい		
困っていること	会員の高齢化と活動資金の絶対的不足・旧瀧澤医院のアクセスの悪さおよび駐車場の不足		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	文化財の保護保全に理解を示し物心いづれかでも支援頂ける方
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	文化財に興味関心をもち活動の意義に賛同される方

(ふりがな)	きょうほくまちづくりいいんかい		
名 称	橋北まちづくり委員会		
(ふりがな)	ふじもと まさる		
代表者氏名	会長 藤本 勝		
ホームページ			
メールアドレス	kvouhoku@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「誰もが安心して暮らせる 春草を生んだ歴史と文化の香り高い きらめくまち 橋北」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ここで子どもを育てたい」魅力的な橋北 ○次世代が希望をもてる橋北 ○福祉が充実し、支えあいができ、幸せを感じることができる豊かな橋北 ○歩きたくなるまちなみ、人のつながり夢のある橋北 ○歴史と文化に誇りと愛着を持てる橋北 ○落ち着いた清らかな橋北 ○災害に強い安全安心な橋北 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○橋北地区基本構想・基本計画の策定 基本構想策定委員85名が7つの分科会に分かれ、2019年度～2028年度までの10年間の橋北地区のあり方について検討を重ね、基本構想・基本計画を策定しました。 今年5月には、基本構想・基本計画推進委員会が立ち上がり、掲げた目標に向かって、7つの分科会の活動が始まりました。 ○橋北記憶遺産の継承事業(まるごと博物館研究会) 橋北地区の三大災害(飯田大火・内山煙火工場爆発事故・三六災害)の体験者の声を後世に残し、災害の体験から学ぶ事業を行いました。(体験談・記録集の作成、三六災害から学ぶ防災学習会およびフィールドワークを実施) ○橋北夏まつり、イルミネーションフェスタでの賑わいと交流 夏祭りは、趣向を凝らしたステージと出店ブースに、子どもからお年寄りまで多くの人で賑わいました。飯田長姫OIDE高校の生徒や消防団第2分団の出店もあり、交流を深めました。 11回目を数えるイルミネーションフェスタは、橋北「愛」をテーマに、「ハート型」や「天使の羽根ニューバージョン」、「クリスマスツリー2019」など、写真スポットを配するなど工夫を凝らしました。12月15日から1月10日までの開催期間に、延5,000人以上の来場者が光と音の織りなす世界を楽しみました。 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ○旧飯田測候所の利活用 ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○歴史的建造物の保存活用 ○空き家の利活用 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<ul style="list-style-type: none"> ○菱田春草生誕地公園の維持管理・活用 ○空き家の利活用 ○イルミネーションフェスタ飾りつけ



(ふりがな)	きょうなんまちづくりいいんかい		
名 称	橋南まちづくり委員会		
(ふりがな)	たけうち ふみたか		
代表者氏名	会長 竹内 文隆		
ホームページ			
メールアドレス	kyounan.machi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>① 歩いて暮らせる街 ～市街地の魅力でチャレンジできる街をめざして～</p> <p>② 人と人のつながりが強い街 ～自治の力で誰もが暮らしやすい街をめざして～</p> <p>③ 伝統と文化の中心地 ～彩り豊かな城下町とりんご並木の街をめざして～</p> <p>④ まちづくり委員会の活性化と総合力の発揮</p> <p>⑤ 環境にやさしいまちづくりの形成</p> <p>⑥ 地育力の醸成</p> <p>⑦ 道路・河川等の環境整備</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域一体となった諸行事への協力体制 橋南夏まつり、文化祭、ほか ○ 防災組織体制の強化と計画的な防災用具の整備 ○ 街頭防犯カメラ設置の推進と防火・防犯巡回 ○ ラベンダーの維持管理 ○ りんご並木の維持管理と周辺の活性化 りんご並木後援会、収穫祭、周辺清掃など ○ 地育力の醸成と伝統芸能文化の継承活動 夏休み子ども教室や放課後子ども教室、児童クラブ等を活用し、地域の伝統芸能の継承と、地域への愛着を育む (松一獅子舞子ども教室、天龍太鼓子ども教室、おひまち) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>中学生と一緒にりんご並木作業</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>松一獅子舞の文化祭での発表</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	はばまちづくりいいんかい		
名 称	羽場まちづくり委員会		
(ふりがな)	しのだ のぶひで		
代表者氏名	会長 篠田 信秀		
ホームページ			
メールアドレス	habamachi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>安全安心で住みよい羽場地区</p> <p>羽場地区まちづくり基本構想・基本計画「羽場の未来構想」を平成27年3月に策定し、2015年度から2027年度までの重点施策を具現化する各種事業を進めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然と伝統文化を守り育てる羽場 2. あいさつと交流で笑顔あふれる羽場 3. 命を大切にする住みよいまち羽場 4. 女性が輝くまち羽場 5. ワクワク体験いっぱいの羽場公民館 6. 清潔で花あふれる羽場 7. 羽場地区土地利用計画の充実 <p>「羽場の未来構想」を柱に据え、より良い地域づくりを進めます。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>羽場地区クリーンアップアクション</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>サル去れ警備隊(有害鳥獣対策)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>地震防災訓練(避難所開設)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>羽場セントラルパーク愛護会</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地元企業、市民団体、小中学校と協働して、主要幹線のポイ捨て防止啓発活動やゴミ拾いに取り組む。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「環境美化重点区域」の指定を目指し、公園はじめ飯田南木曾線、羽場大瀬木線など、ポイ捨て等防止にご協力ください。

(ふりがな)	まるやま まちづくりいいんかい		
名 称	丸山まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう おざわ のぶよし		
代表者氏名	会長 小澤 伸好		
ホームページ			
メールアドレス	machi-maruyama@aq.wakwak.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「風越山とともに 住み続けたい自然豊かなまち 丸山」(2015～2024年度)</p> <p>自主・自立の精神の下、丸山地域自治区住民の参加により、住民一人ひとりが豊かさを実感できる、安心・安全で潤いのある地域づくりを進める。</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>◎リニア時代を見据えた丸山地区の10年後を想定した計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域振興【インフラ整備の促進と地域資源を活用した安心安全な地域づくり】 2 健康づくり・地域福祉【子どもの声が響き合う、長寿社会の構築】 3 生活安全【交通安全、防火、防犯対策による安心して暮らせる丸山】 4 環境保全【みんなで守り育てる自然豊かな美しいまち丸山】 5 公民館【より多くの人が集う「公民館」づくりに向けて】 6 自主防災【自分の命は自分で守る・自分たちの地域は自分たちで守る】 <p>◎計画に基づき各種事業を実施(R1年度の主な取り組み)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 未来へつなぐ 風越山麓わくわくプロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマザクラ・カラナデシコ・ベニマンサク育苗 ・風越山夕源平山林整備 ・森林体験等のイベント企画・実施(ツリークライミング・樹木観察会) ・交流人口増に向けた学習会、研究会の開催 ・主に登山客を対象としたブルーベリー狩りに向けた環境整備 ・風越山の環境保全のための携帯トイレ普及啓発 2 防災訓練の実施(避難所開設訓練の実施) 		
			
	携帯トイレ普及啓発活動		夕源平遊歩道整備
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	ブルーベリー圃場草刈 風越山夕源平山林整備

(ふりがな)	ひがしのまちづくりかいぎ		
名 称	東野まちづくり会議		
(ふりがな)	おおば たかし		
代表者氏名	大場 孝		
ホームページ			
メールアドレス	higashinokaigi@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「桜並木を大切に、歴史と伝統を守る、人にやさしいまち」をめざします。		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○東野地区基本構想・基本計画の推進 東野地区では、2017年度に「東野地区基本構想・基本計画」を策定しました。本計画を着実に推進するため、「基本構想推進委員会」を立ち上げ7つの部会が中心となり事業を実施しています。各部会で計画したテーマ(めざすべき姿・目標)について、「推進リーダー会議」や「まちづくり会議幹事会」において、進捗状況を毎年2回(中間と年度末)検証し、次年度への取り組みに繋げています。</p> <p>○大宮通り桜まつり・桜並木イルミネーション 東野地区のシンボルである桜並木の賑わいを創出するため、大宮通り桜保存会を中心に「桜まつり」及び「桜並木イルミネーション」を実施しています。今年は4月7日(日)に「桜まつり」を開催し、高校生ボランティアの協力、フリーマーケット、写生大会、写真コンテスト、グルメ出店等が行われました。また、「桜並木のイルミネーション」は、今年で5回目を迎え、今年も市長のカウントダウンを皮切りに12月14日(土)から1月25日(土)まで点灯されました。</p> <p>○寺子屋「ひがしの」 地域内での社会体験を通して地域に関心を持ち、地元へ愛着や誇りを持つ子どもの育成、地域の大人との交流を通して顔の見える関係づくりなどを目的に東野地区基本構想の担当部会と公民館等が連携し寺子屋「ひがしの」を開催しました。今年は、子どもたちの春休み期間中及び夏休み期間中に実施し、多くの子どもが参加しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>大宮通り桜まつり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>寺子屋閉講式</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	4月初旬に開催する「大宮通り桜まつり」のスタッフ

(ふりがな)	ごこうじちいきじちかい		
名 称	座光寺地域自治会		
(ふりがな)	ふくた とみひろ		
代表者氏名	福田 富廣		
ホームページ	http://zakoji.jp		
メールアドレス	ominosato@zakoji.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>あなたも私も暮らしやすい 自然・歴史・文化・ものづくりが煌く新舞台「麻績の里 座光寺」 [自ら考え自ら行動するまちづくり]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心通い合うコミュニティーを創造するまちづくり ・一人ひとりが地域に学び、生涯成長できるまちづくり ・自然と歴史・文化を活かし育むまちづくり ・健やかに安心して暮らせる住みよいまちづくり ・地域特性を活かした元気な産業のまちづくり ・人と自然に優しいインフラ整備 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○地域住民参画のもと策定した、第2次基本構想・基本計画がスタート (H29.4～H41.3)</p> <p>○長期的な視野に立った取組を行うために、有志で結成する特別委員会を設置 ・麻績の里振興委員会 ・水辺の広場委員会 ・麻績の里ふるさと応援倶楽部 ・歴史に学び地域をたずねる会 ・パノラマファーム大門</p> <p>○リニア中央新幹線に備えるために策定した「リニアを見据えた地域づくりの基本方針」を踏まえて、整備に係る具体的対策組織として「リニア地域づくり推進会議」を設置し、リニア・SIC・アクセス道路・国道153号北改良等の課題に対応</p> <p>○国史跡「恒川官衙遺跡」をはじめ、数ある歴史文化を活かして、市民の憩いの場や都市との交流と学習の拠点としてまちづくりを推進するために協議・活動する組織として、「2000年浪漫の郷委員会」を設置</p> <p>○都市と農村交流による新たな価値観の創造を目的とした、渋谷区との交流事業の推進、渋谷区へのリンゴの植樹・管理、渋谷区からの自然体験ツアーの受け入れ、渋谷くみん祭への参加、渋谷・座光寺～絆～シードルプロジェクト『渋谷と座光寺のりんごでシードルをつくろう!!』</p> <p>○地域への愛着心を育むため、自然や地域の資源を活用した体験学習への取組強化 また、地域の情報発信を効果的に行う住民主体のホームページの運営</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>大賑わいの夏祭り</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>～絆～シードルプロジェクト</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容・条件	

(ふりがな)	まつおちくまちづくりいいんかい		
名 称	松尾地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	みやざわ なおと		
代表者氏名	会長 宮澤 直人		
ホームページ			
メールアドレス	matuo@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○松尾地区基本構想 自分たちのまちは自分たちの手で、やらまいか松尾「共生、共働、サステイナブルコミュニティ」</p> <p>○松尾地区のまちづくり 重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが心と力を合わせる元気なまちづくり ・安心して暮らせる安全なまちづくり ・子どもから高齢者まで健やかに暮らせるまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○鳩ヶ嶺八幡宮紅葉ライトアップ 平成23年度から継続して開催。八幡宮を中心とした地域の活性化、住民の郷土意識や地区の一体感の醸成、人づくりを目的として11月初旬から中旬に実施。期間の最終日には、笛コンサートなどの催事を行った。</p> <p>○地域安全大会 平成21年度から継続して実施。今年度は防犯に関する内容で開催。地域住民やPTAなど約190名が参加して地域の安全を考えた。</p> <p>○学校支援ボランティア(松尾小学校への支援) 松尾を良く知り、専門的な技術等をお持ちの方が、年5回、クラブ活動を指導。</p> <p>○グリーンベルトの保全 松尾西部の段丘にあるグリーンベルト(緑地帯)の保全活動。26年度から飯田市の里山保全事業を導入し、間伐等を実施。</p>		
			
	紅葉ライトアップ・笛コンサート		地域安全大会
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	有り	内容・条件	グリーンベルト(段丘崖の緑地帯)保全活動の実施(竹林伐採、間伐等)



(ふりがな)	しもひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	下久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう まきうち ひでゆき		
代表者氏名	会 長 牧内 秀幸		
ホームページ	http://www.shimohisakata.com(下久堅地区まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第9次下久堅地区基本構想(H30.3月 策定) 「自然も人も輝ける里 ひさかた」 2018年度～2022年度</p> <p>①みんなでにぎわい、心豊かな里づくり ②地域の絆を深め、安全・安心に暮らせる里づくり ③誰もが心豊かに暮らせる健康・福祉の里づくり ④いきいきとした人と自然の調和する里づくり ⑤地域に愛着と誇りがもてる、心豊かな教育・文化の香る里づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>(1)桜色に染まる里づくり 地域の団体や下久堅小児童等の協力で「梶曲輪の桜保全」「桜の苗づくり」の活動を行い、梶曲輪の桜の苗を卒業の記念樹として贈呈している。</p> <p>(2)ひさかた和紙の保存・継承 ひさかた和紙保存会と小学生が地元で栽培した和紙の原料を使用して、卒業証書作りに取り組んでいる。</p> <p>(3)地域ぐるみで子育て支援 児童クラブ・放課後子ども教室などによる子育て支援にあたり、保護者・住民ボランティアが参加・協力している。また、「地域は大きな教室」をモットーに平成26年度から下久堅子ども応援隊が活動中。</p> <p>(4)道路整備 リニア・三遠南信自動車道の高速交通網に対応すべく、国道256号下久堅バイパス、(主)飯田富山佐久間線などの地区内幹線道路網整備に向けて取り組んでいる。</p> <p>(5)ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)南信州ステージへの支援と協力を行っている。</p>		
			
	トロアオイ種まき (ひさかた和紙)		放課後子ども教室 (おやす作り)
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>(1)ひさかた和紙の保存・継承活動 (2)UIターン者の定住を支援するための住宅や農業技術支援者等の確保</p>		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	<p>・ひさかた和紙の活動への協力 ・放課後子ども教室のボランティアスタッフ</p>

(ふりがな)	かみひさかたちくまちづくりいいんかい		
名 称	上久堅地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	きたざわ やすみ		
代表者氏名	会長 北沢 保美		
ホームページ	http://kamihisakata.net (上久堅まちづくり委員会)		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>〈目指すまちの将来像〉 未来をひらく 人と人が支え合う 元気な上久堅</p> <p>〈目指すまちの将来像に向けて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然と共に 安心して住み続ける まちづくり ・支えあい見守りあい 健康に暮らせる まちづくり ・日頃から防災意識を高め 互いに協力し合う まちづくり ・熱意と創意で協力し 地域の発展を進める まちづくり ・自然や文化を基底にした 学習と交流が展開される まちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 令和元年度重点事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①基本構想・基本計画の初年度 本年度からスタートする基本構想・基本計画の実現に向け活動を実施。 ②まちづくり委員会新組織体制での実施 まちづくり委員会組織体制の改編を行い、新体制でスタートしました。 ③空き家対策について検討 基本構想でも重点課題としている、空き家対策について実施に向けた検討を行い、来年度から、特別委員会を設けて本格的に活動を実施します。 ④屋外広告物基準検討 三遠南信自動車道天龍峡IC～龍江ICが令和元年11月17日に供用開始されました。それに伴い、地区内の屋外広告物設置に関する基準を検討しています。 <p>2 特徴的な活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者健康対策事業:「食工房 十三の里」による高齢者向け配食サービス支援 ②JA上久堅給油所給油補助制度:給油所存続延長のため給油に対して支援 		
	<p style="text-align: center;">基本構想表</p>  <p style="text-align: center;">小川路峠に登ってみよう イベント</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地区の活性化、振興に関すること		
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	




(ふりがな)	ちよちくまちづくりいいんかい		
名 称	千代地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	せきぐち としひろ		
代表者氏名	会長 関口 俊博		
ホームページ	http://chiyo-x.jp		
メールアドレス	chiyomachidukuri@gmail.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p><めざす地域の姿・将来像></p> <ol style="list-style-type: none"> そこに住む人々が、心豊かに生き生きと暮らせる地域 特有の魅力が醸し出され、地区内外の多くの人々による交流が活発な地域 地域の力を結集して支え合い、前へ向かって歩もうとする活力に満ちた社会 <p><地域づくり 5つの重点目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 安全、快適、便利そしてエコな地域づくり(生活基盤・環境) 交流による活力で地域をつくる(産業振興) ふれあい、思いやり、支え合う地域づくり(福祉・健康) 歴史と伝統のもと、風土に調和した文化を発展させよう(地域文化) 地区のあり方、進め方を地域で考え実践する「地域力」を高めよう 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ol style="list-style-type: none"> 令和元年度重点事業 <ol style="list-style-type: none"> ①持続可能な地域づくりのため「健康で生涯現役」をめざし、地区の皆さんの健康づくりを支援する取組 ②定住促進の取組 ③グリーンツーリズムと農家民泊を中心に地域内観光の振興を図る。 ランナーズ・ビレッジ構想の取組に協力し、地区内への誘客に繋げる ④減災・防災の取組 特徴的な活動 <ol style="list-style-type: none"> ①日本の棚田百選「よこね田んぼ」の保全活動、ブランド化の推進 ②地域で設立した社会福祉法人と連携した子育て支援、高齢者福祉の取組 ③グリーンツーリズムの推進 ④地域で立ち上げたNPO法人と連携した地域づくりの取組 <p style="text-align: center;">よこね田んぼの保全活動 万古溪谷桁の木ツアー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	「よこね田んぼ」保全活動の協働や助言、支援		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	「よこね田んぼ」保全作業(草刈り・田植え・稲刈り等)

(ふりがな)	龍江地域づくり委員会		
名 称	龍江地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう きのした ひろし		
代表者氏名	会長 木下 博史		
ホームページ	www.tatue.jp/		
メールアドレス			
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>第3次龍江21構想 だれもが住みたい地域 “みんなで創る 豊かで元気な 住みよい龍江”</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人が行き交う和の地域づくり「憩 2 便利で豊で住みよい地域づくり「豊」 3 健康で生き活きと暮らせる地域づくり「活」 4 安全で安心して快適に暮らせる地域づくり「安」 5 思いやりを持って支え合う地域づくり「絆」 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1、農村起業家育成スクール開講 ・昨年に引き続き、曾根原久氏を講師に開講。地区内外から10人受講。 ・中山間地の特性を生かし、各自農村の資源を生かしたビジネスモデルを策定している。 ・2年2月には、各自事業計画をまとめ発表会を開催。</p> <p>2、シャルルビルメジュール市訪問 ・平成31年8月の「シャルルビルメジュール通り」命名の答礼として、前会長の一ノ瀬孝司さんを団長に、訪問団を組織してシャルルビルメジュール市を訪問した。 ・飯田市長や教育長も現地で合流し、市長を表敬訪問した。 ・現地のノートルダム小学校を訪問し、龍江小学校の児童たちの手紙などを手渡し、交流</p> <p>3、三遠南信自動車道開通イベント開催に続き、龍江-天竜峡間開通。 ・三遠南信自動車道の龍江一天竜峡間が11月17日に開通。龍江にとって新しい時代が到来 天竜峡大橋という新名所も誕生し、今後の交流人口の増加に期待している。 ・開通に先立ち11月10日には開通前イベントが、快晴のもと盛大に開催され、約一万人の人が集まって一日中にぎわった。</p>		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	特になし		
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容 ・ 条件	

(ふりがな)	たつおかちいきじちかい		
名 称	竜丘地域自治会		
(ふりがな)	しもだいら かつひろ		
代表者氏名	下平 勝熙		
ホームページ	http://tatsuoka.nagano.jp		
メールアドレス	tatuoka@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>・竜丘地区基本構想(2014年度～2030年度)の将来像「ロマン溢れる学びの丘 共生のまちづくり」を実現するための7つの「丘づくり」</p> <p>①住民の支え合いによる丘づくり ②地域資源の保全・活用、景観形成による丘づくり ③災害予防活動と豊かな人間関係による丘づくり ④歴史文化の活用で人材育成を進める丘づくり ⑤地域産業の振興と地域ぐるみ支援による丘づくり ⑥秩序ある適正な土地利用による丘づくり ⑦地域力の強化による丘づくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>・基本構想を実現するための戦略として、「景観・環境」及び「教育文化」分野に重点的に取り組み、短期的、中・長期的な重点事業を実施することで「環境・文化地区」を目指している。</p> <p>【天竜川鷲流峡復活プロジェクト事業】 「地域ぐるみによる不法投棄対策と景観美化活動の促進」を施策として位置づけ、名勝鷲流峡周辺の不法投棄をなくすため、自治会と事業者である信南交通(株)天竜舟下り事業部と連携しプロジェクトを立ち上げた。 竹林伐採・維持管理作業等による景観保全に努めながら、環境・教育・産業・次世代交流(後継者育成)という視点で活動している。 主な活動は次のとおり 竹林伐採・維持管理、天竜いなちく(国産メンマ)の製造・販売、竹灯籠の製作と各種イベントへの出展、ガードレール洗浄作業、しあわせ桜・紅葉のライトアップ等</p>		
	  		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域内外を問わず、事業者、NPO等との連携を進め、地域の課題解決に取り組んでいきたい。		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	竹林伐採作業・メンマづくり




(ふりがな)	かわじまちづくりいいんかい		
名 称	川路まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう なかじま ちあき		
代表者氏名	会長 中島 千明		
ホームページ	https://kawaji-machidukuri.com/		
メールアドレス	kawaji-m@kawaji-machidukuri.com		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>『グレイドアップ川路・大作戦！！』 「豊かで活力ある安全・安心な川路」の実現 『不老長寿の郷・川路をめざして！』</p> <p>(1) 住み続けたいと思える川路まちづくり (2) 人を育て未来の川路まちづくり (3) 川路に住もう！人生を健康で豊かに！まちづくり (4) 川路の産業・観光・農業の振興促進のまちづくり</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>「川路カレンダー作成」プロジェクト 川路地区内すべての団体(保育園・小中学校・福祉施設・各委員会・公民館・観光・商工・消防・日赤・防災・水防・JR・金融機関等)の主な会議、研修・奉仕活動、イベント、行事等を1年間のカレンダーに集約し、全戸配布しました。 川路地区内の様子が一目で分かるとともに、新規事業の企画や、類似した活動の団体連携など、事業見直しの一助となっています。 また、ホームページを開設し、いつでもどこでも川路のこと(実施した行事の様子やこれからの予定)が分かる環境を整えています。</p> <p>「川路に帰ろう！」プロジェクト 川路を離れた兄弟・姉妹・子・孫等へ「川路カレンダー」を送る活動を行いました。 全戸に協力を依頼し、兄弟・姉妹等の住所録を作成。「川路カレンダー」のほか「川路に帰ろう！挨拶状」「広報かわじ」「ホームページのご案内」「ふるさと納税のお願い」を同封。ふるさと川路を思い出し、帰省・帰郷に、いずれは移住(Uターン)に繋がることを期待しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>川路カレンダー</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ホームページ</p>  </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容・条件		

(ふりがな)	みほまちづくりいいんかい		
名 称	三穂まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう はやしたかなり		
代表者氏名	会 長 林 高功		
ホームページ	http://iidamiho.wpblog.jp/		
メールアドレス	miho@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>自然とロマンの里 三穂 「子どもから高齢者まで 元気な声が響き渡り 活力あり 支え合い 心豊かな 人も自然も輝ける里」</p>		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>①三穂地区活性化プロジェクト委員会の報告…2018年から活動を開始したこの会は、まちづくり委員会とは別に組織され、自由な発想のもとで地区の活性化を考える活動を展開しております。 空家対策事業…委員会の空家対策班が中心となり、長年空家となっていた住居の居住希望者を見つけることができました。さらに空家の家財道具の片付作業を、旧所有者・新規居住者委員と地域住民共同で行いました。猛暑の中、軽トラ約30台分の家財を片付けることができました。</p>  <p>②小笠原書院活性化イベント「神無月の宴」報告…地域の最大の財産である小笠原書院の活性化を目指すイベントとして、落語会を行ってきました。4年目の昨年は、落語に加え、書道パフォーマンスとプロジェクションマッピングを資料館大窓に投影しました。さらに5年目を迎えた今回は、「大名行列」を行いました。多くの観衆の前で、大名行列の勇壮な舞が演じられました。</p> 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	やまもとちいきづくりいいんかい		
名 称	山本地域づくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう しおざわ あきお		
代表者氏名	会長 塩澤 章男		
ホームページ			
メールアドレス	yamamoto@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>「美しく、心豊かに、集うさと 山本」 この言葉を旗印に、地区内外を問わず、全ての人々が楽しめる地域、住んでよかった、来てみてよかったと言われる地域を皆で創出する。</p> <p><10の地域づくり目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ○土地を活用した住みよい地域づくり ○自然が豊かで潤いのある地域づくり ○思いやり支え合う地域づくり ○安全に暮らせる地域づくり ○文化や歴史・スポーツに親しむ地域づくり ○地域自治の推進と交流の地域づくり ○拠点が整備された地域づくり ○産業の発展する地域づくり ○健康で快適な地域づくり ○ひとが育つ地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【山本地区組織等見直し】 地域自治組織が発足して10年余となり、現在と当時の人口等が大きく変化し、組織体制・事業内容等について見直しが必要な時期となりました。 2021年4月の新体制を目指し山本地域組織見直し検討委員会にて協議しています。</p> <p>【二ツ山市営住宅跡地分譲の募集】 二ツ山の市営住宅跡地を利用し、市と山本地域づくり委員会と協働で分譲を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区画数：残り8区画 ○区画面積： 300㎡～312㎡ ○区画価格： 約307万円～318万円 ○第9回目募集：令和2年2月3日(月)～2月28日(金)   <p>【乗合タクシー山本西部山麓線本格運用に向けた取り組み】 平成31年4月に実証運行がスタートしました。本格運行の目安である1運行二人以上の乗車を目指して、利用補助の他、敬老会等への働きかけ、「味噌づくりと乗合タクシー体験ツアー」等を開催し、利用促進に向けた取り組みを行いました。</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	無	内容条件	

(ふりがな)	いがらまちづくりきょうぎかい		
名 称	伊賀良まちづくり協議会		
(ふりがな)	みやした ひろし		
代表者氏名	宮下 博		
ホームページ			
メールアドレス	igara@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>伊賀良地区基本構想(2011～2020)「緑輝き、人と文化が行き交うまち 伊賀良」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人に自然に優しい土地利用 2 誰もが安心して暮らせる地域づくり 3 自然を大切に「地の利」を生かした産業づくり 4 香り高い文化の創造 5 心が通い合う地域づくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>【人に自然に優しい土地利用】 ～アップルロードりんご並木愛護の取組～ 中央道飯田ICのアクセス道路である国道153号バイパス、通称「アップルロード」の建設計画時に、当地区の農家の青年層からの発案で、街路樹としてりんごが植えられました。以来、30年にわたって、まちづくり協議会、伊賀良小学校、果樹農家など地区が一体となって管理、秋には小学生が地区民とともにりんごを収穫し、収穫祭を実施しています。</p> <p>【誰もが安心して暮らせる地域づくり】 ～自然エネルギーの有効利用～ 隣接する山本地区との統合中学校である旭ヶ丘中学校の生徒が自ら、校舎への太陽光発電施設の設置を発案し、両地区へ提案、3者で協議会を立ち上げ、市から認定を受け、平成27年度に工事が行われ、運用が開始されました。</p> <p>【自然を大切に「地の利」を活かした産業づくり】 ～豊かな森林資源の活用～ 当地区は西側の山地に広大な森林を有しており、「西部山麓」と呼ばれています。飯田ICに近いという「地の利」を活かし、森林資源の活用を図っています。</p> <p>【香り高い文化の創造】 ～公民館活動～ 全世代がふるさとに誇りと愛着を持って暮らせるよう、特に小学校との連携を強化しながら、小学校校歌など地域に着目した学習と交流を推進しています。</p> <p>【心が通い合う地域づくり】 ～あいさつ運動の推進～ 地区住民の安心安全のためのコミュニケーションの第1歩として、地区を上げてあいさつ運動に取り組んでいます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>アップルロードりんごの収穫作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地区マスコットキャラクター「いがりん」も参加したあいさつ運動</p> </div> </div>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容	内容 ・ 条件		

(ふりがな)	かなえちくまちづくりいいんかい		
名 称	鼎地区まちづくり委員会		
(ふりがな)	かいちょう やすだ かんじ		
代表者氏名	会長 安田 完爾		
ホームページ			
メールアドレス	kanae@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>【めざす将来像】 ～ 人・暮らし・文化が潤う 夢ある“かなえ” ～</p> <p>【めざすまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> I 10地区の魅力を生かし活力あるまちづくり II 誰もが豊かな心を持ち健康で生きがいを持てるまちづくり III みんなが支え合い安心して暮らせるまちづくり IV 景観と調和する潤いと快適なまちづくり V 明日のかなえを創る子どもを育むまちづくり VI 産業の振興と自然を活かしたまちづくり VII 地域に学び人と文化が輝くまちづくり 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>○第4次鼎地区基本構想・基本計画の策定 令和元年10月に鼎地区としては、第4次となる基本構想・基本計画(令和元～令和12年度)を策定しました。住民から策定委員を約60名選出し、平成30年から2年間7つの分科会に分かれ協議を重ねました。鼎地区まちづくりの今後12年間の取り組みの指針となります。</p> <p>○ 鼎地区パワーアップ事業 鼎地区では、特色ある地域づくりや人づくりを推進するため、地区独自の『パワーアップ事業』を実施し、自主グループの活動や事業、まちづくり委員会で実施しがたい事業などに毎年助成を行っています。令和元年度は10団体に約140万円を助成する予定です。</p> <p>○公民館事業 鼎公民館では「乳幼児学級」や「すくすくの樹」、「かなえっこどつきどきスクール」等、子育て世代や子どもを対象とした事業に重点的に取り組むと共に、「華甲大学」に代表される生涯学習事業や、鼎地区全体で取り組む「ふるさと鼎コマーシャル」の制作等、多彩な活動を行っています。また、体育や文化事業を通じて地域の活性化に努めています。</p>		
			
	第4次 鼎地区基本構想・基本計画		すくすくの樹 防災講演会(文化祭)
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみさとちいきまちづくりいいんかい		
名 称	上郷地域まちづくり委員会		
(ふりがな)	いわさき もりつね		
代表者氏名	岩崎 守倫		
ホームページ			
メールアドレス	kamisato@city.iida.nagano.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「地域で育み支え合う 個性と魅力を生かした 活力ある未来を切り開く 新たな上郷地域の創造と挑戦」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>1 リニア及び関連する基盤整備について、による経験のない大規模事業に対して、コミュニティを維持した移転対応、必要最小限の整備、地域コミュニティの場の整備、最大限の生活環境保全への配慮等について、地域住民に真に寄り添った対応を関係機関に求めるとともに、地域全体の将来を展望し対応します。</p> <p>2 リニア駅周辺整備及びリニア関連道路整備の進展に伴い沿線の土地利用や景観について、適正な用途地域の指定や見直しについて必要な検討を進めてきました。豊かな自然環境や田園風景の保全と活用のため、適宜必要な検討を進めるとともに、現在運用している上郷地域の独自ルールの定着を図ります。</p> <p>3 野底山森林公園の管理運営にあたって、リニア時代を見据えた地域密着型の公園づくりに向け管理棟を拠点に関係者が役割を分担し、連携して管理運営を進めるとともに、リニア時代を見据えた活用について、具体化に向けた検討を進めます。</p> <p>4 組合加入に向けて、積極的な取組と加入しやすい環境の整備を検討するとともに、全員参加で生まれる理想の地域づくりを推進します。</p> <p>5 上郷地域基本構想・基本計画に掲げる将来像の実現のため、後期計画の初年度にあたります。役員会及び各委員会は、他の委員会及び各種団体等と相互に連携を図り取り組みます。取組の進行管理に当たっては、基本構想・基本計画推進会議がその役割を果たします。</p>		
	  		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	

(ふりがな)	かみむらまちづくりいいんかい		
名 称	上村まちづくり委員会		
(ふりがな)	まえしま そのこ		
代表者氏名	前島 園子		
ホームページ			
メールアドレス	kamimura.machidukuri@i.softbank.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	「環境・伝統文化・人々がかがやく上村」		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<p>遠山郷“夏”キャンプの開催</p> <p>遠山郷の夏を体験してもらおう！と企画キャンプを通じて都市部で暮らす人と地元で暮らす住民が交流しながら上村の自然に対する魅力を感じてもらうことを目的として開催。</p> <p>農業体験、川遊びや魚のつかみ取り、火をマッチやライターで点けるのではなく自力で火起こし。大人が真剣になる一幕も…。夜は谷間に響く花火大会を鑑賞、しらびそ高原での星空は曇っていて望むことは叶わず残念でした。</p> <p>川魚に触ることが出来なかった女の子が魚を捌いたり、昆虫が大好き男の子は「青虫を育てる」とお持ち帰り（何に成長したのかな??）。貴重な体験と交流ができたキャンプでした。</p> <p>しぜんとあそぼうプロジェクト発動</p> <p>地域の資源を見つめなおし、エコパーク・ジオパークを活用した自然体験プログラムを構築し、都市部の子どもたちとの交流を通じて関係人口の増加を図る。</p> <p>また、住民の居場所づくり、交流を場を設け、世代間の交流を通じて子育て環境を整備し、子育て世代の移住定住へ繋げていく。</p> <p>保育園の裏山ヘツリーハウス設置を計画中！</p>		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと			
ボランティア募集希望の有無・内容		内容 ・ 条件	



(ふりがな)	みなみしなのまちづくりいいんかい		
名 称	南信濃まちづくり委員会		
(ふりがな)	まきしま さだよし		
代表者氏名	牧島 定好		
ホームページ			
メールアドレス	minamisoumu@city.iida.lg.jp		
基本構想・計画、事業計画等で目指すまちづくりの目標	<p>○住み続けたい、住んで楽しい郷づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人が輝き、にぎやかな遠山郷 ・安心安全に暮らせるまち 地域内の助け合い ・交流人口、関係人口の拡大を移住定住へつなげる ・三遠南信自動車道の開通を見据え、人を呼び込む取り組みを実施 		
重点事業又は特徴ある事業や活動	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスの開始に向けた準備(地域福祉プロジェクト) ・若者等が住み続けられる支援(地域格差、負担の軽減) ・移住定住に特化した体制づくり及び活動を開始 ・地域の課題や将来をみんなで考える(遠山未来フォーラム) ・学校と地域が連携した地域人教育の推進 「和田宿にぎやかし隊」との連携 和田の寺子屋ほか ・南信州の新たな玄関口の整備 「遠山郷花街道事業」への取り組み(関係団体との横連携) ・ゲストハウス「太陽堂」、シェアハウスの活動支援、協力 地域おこし協力隊・山暮らしカンパニー 		
	 		
NPO等他団体との連携が可能なこと・したいこと	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を支援対象とした移送サービス、助け合い ・生活支援サービス 		
ボランティア募集希望の有無・内容	有	内容・条件	・遠山川沿いの桜の手入れ作業、花街道整備事業による花木植栽地の維持管理作業

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ほんいがくせいぼうはんたいさくしえんきょうかい		
団体名称	特定非営利活動法人 飯伊学生防犯対策支援協会		
認証年月日	2006年12月21日		
(ふりがな)	いわさき まさる		
代表者氏名	岩崎 愈		
主な事務所の所在地	〒395-0041 飯田市中央通り4丁目43番地 新星ビル4階		
ホームページ			
主な活動分野	○地域安全(子どもの安全・高齢者の特殊詐欺被害防止)		
活動内容	<p>○子どもの防犯意識高揚のためのオリジナル防犯テキストの(小中学生用)作成配布</p> <p>○学校の安全対策として、防犯機器の寄贈、防犯器具の考案及び寄贈</p> <p>○防犯意識高揚のための防犯ポスター・防犯カレンダーの作成支援</p> <p>○防犯教室、防犯訓練の共同開催 通学路防犯パトロール</p> <p>○防犯意識高揚のためのDVDの作成並びに配布</p>		
PRしたいこと	<p>○子ども達を犯罪から守るためには、子ども達に対する防犯教育徹底するとともに、子ども達自らが「自分の身体は、自分で守る」ことが最も大切であると考え、「イカのおすし」の普及に努めている</p>		
	<p>○高齢者が自分の財産は自分で守り、特殊詐欺被害にあわないための「イカのおすしと5つの約束」の普及に努めている</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	<p>○子ども達を守る各種地域ボランティア団体等との連携・協力</p> <p>○高齢者が特殊詐欺被害に遭わないための各種ボランティア団体等との連携・協力</p>		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	



防犯テキストの寄贈



防犯ポスターコンクール表彰式



わが家の生活安全課長終了

(ふりがな)	いいだぶるーべりーしんこうかい		
団体名称	NPO法人飯田ブルーベリー振興会		
認証年月日	H27年10月27日		
(ふりがな)	しみずみのる		
代表者氏名	清水 實		
主な事務所の所在地	飯田市川路1843-1		
ホームページ	「飯田ブルーベリー振興会」で検索		
主な活動分野	社会教育、科学技術		
活動内容	<p>ブルーベリー栽培体験教室を毎月1回行っています。</p> <p>2019.1.20 第1回剪定講習 2019.2.17 第2回剪定講習、ピザ製作体験 2019.3.17 挿し木講習 2019.4.21 接ぎ木講習 2019.5.19 植え付け講習 2019.6.16 観光農園視察 2019.7.21 緑枝挿し木講習、第1回収穫 2019.8.18 栽培講習、第2回収穫 2019.9.15 ブルーベリー食べ尽くし、 取り尽くし会 2019.10.20～21 視察研修 2019.11.17 栽培講習、根の観察 2019.12.15 反省会、懇親会</p> 		
PRしたいこと	<p>栽培農園での講習と体験実習、また、室内での教室等を楽しんでいます。</p> <p>会員はいつでも募集しています。希望者はホームページから申込み、又は下記の携帯電話でご連絡下さい。</p> <p>清水實 080-5109-3652</p> 		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	ブルーベリーを使用する場合、料理教室、地域づくり等の団体と連携できます。		
困っていること	特にありません。		
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	条件はありません。会員特典として苗木の配布、ブルーベリー収穫等があります。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	×	条件等	

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ひなた きょうせいほーむひなたぼっこ		
団体名称	特定非営利活動法人 ひなた 共生ホームひなたぼっこ		
認証年月日	平成25年 7月 8日		
(ふりがな)	もりもと まゆみ		
代表者氏名	森本真由美		
主な事務所の所在地	飯田市鼎名古熊1711		
ホームページ	なし		
主な活動分野	介護保険事業 障がい福祉サービス事業 自主事業(ニーズにできる限り応えていく)		
活動内容	<p>今まで介護保険事業を中心に行ってききましたが、昨年の9月より障がい者の受け入れもできるようになりました。また自主事業も充実させ、様々なニーズに応えられるように、泊りや訪問、病院への付き添い、お弁当の配食などを行いながら活動しています。</p> <p>来所後はそれぞれ好きな飲み物を淹れたり淹れてもらったりしながらの談笑が始まります。自分達のお昼は自分達で作ります。手慣れた手つきで包丁を使う方、食材の入っている袋を破いたり、野菜をちぎったりという方など、男性女性関係なく、できる方に手伝っていただけます。広告のごみ箱作りや洗濯物たたみなどの作業から、手芸や事務的なことや掃除なども行っていただいています。職員は何か行おうとする時、「これはご利用者と一緒に出来ないかな？」とまず考えます。どんなことでも一緒に行くと、まだまだできることはたくさんあり、その方の得意なことを活かしてもらいながら、そこを活動として行っています。また外出の機会も設けています。季節ごとの花見ドライブや写真展の観覧など、行きたい場所があれば出かけていきます。また1年の内何回かお店を選んで、その日のご利用者職員全員で外食へも行っています。お弁当の配食では、家庭的な内容でとてもおいしいと好評を得ています。宅老所の良さを生かし、制度を利用しながら、自由さも生かしつつ、このような活動を行っています。</p>		
PRしたいこと	<p>理念『ひとりひとりを主役にする』</p> <p>この理念を基本とし、利用する方も職員もその日を一緒に過ごす仲間として出かけることは行い、出きづらいことはお互いさま、で助け合いながら楽しくやっています。</p> <p>ひなたぼっこの建物は古民家を改修して使用しているため、いらした方には、どことなく懐かしさを感じていただけるかもしれません。また道路より一段高い所にあるため、「南アルプスの眺めが素晴らしい！」と喜んでいただけることも多いです。陽当たりも良く、まさにその名の通り、日向ぼっこをするには最高の場所です。ひなたぼっこはどこもが居場所。居間も静養室もお風呂場も。台所や外だつてそのひとつ。それぞれが居たい場所でもやりたいことを行い、ゆっくり且つ活動的に過ごしています。</p> <p>自由気ままな日々。どうぞいつでもおでかけ下さい。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	地域の連携がこれまで以上に必要となってくる今後。近隣の事業所でお互いに声をかけ合い、この地域のニーズを拾いあげ、話し合っていく機会を持って行けたらと思います。		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)		条件等	
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	利用者中心で考えて下さること。



(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん おしゃべりさらだ		
団体名称	特定非営利活動法人 おしゃべりサラダ		
認証年月日	2016年 3月 1日		
(ふりがな)	まつむら ゆみこ		
代表者氏名	松村 由美子		
主な事務所の所在地	飯田市追手町2丁目630-8		
ホームページ	nposalad.com		
主な活動分野	1.2.3.8.10.11		
活動内容	<p>1. 地域子育て支援拠点事業 (厚生労働省が勧める子育て支援の活動「つどいの広場」事業の運営)</p> <p>◆「子育てサロンおしゃべりサラダ」、出張ひろば「おしゃべりポトフ」、そして指定管理者として「座光寺つどいの広場」を運営しています。妊婦さんから未就園児を持つご家庭に親子の居場所として利用していただけます。遊んだり、おしゃべりしたり…子育て講習会やお楽しみ会、子育て情報もあり、子育てアドバイザーに相談ができます。「Baby&妊婦さんDay(毎月第2土曜日)」には助産師が常駐しています。</p> <p>◆訪問活動「てとて」 妊娠期の不安、授乳や赤ちゃんがいる生活での不安等、家庭で孤独になりがちなママの不安を和らげるお手伝いとして、子育てアドバイザーや助産師がご自宅にお伺いします。お気軽にご連絡ください。</p> <p>2. 集団託児事業 イベントや行事時に集団託児をお引き受けします。ご家族が安心して行事に参加でき、お子さんも安心して楽しい時間が過ごせるよう、託児サポーターがお預かりします。</p>		
PRLしたいこと	<p>ママ仲間で「いつでも行ける親子の居場所があつたらいいね」とH14年に始めた「子育てサロンおしゃべりサラダ」の活動は、長年任意の民間団体として活動を続けましたが、2016年3月「NPO法人おしゃべりサラダ」として再スタートしました。親子を迎えるスタッフは子育て中のママでもあり当事者目線を持ちながら、みんなの子育てを応援し活動しています。子育てが、ひとりだけで頑張る「孤育て」にならないよう、みんなで手と眼と心をかけあって、親子ともに育ちあえることを願っています。困った時に手を伸ばせば、手を添えてくれる人がいる安心、そして今度はあなたがその手を握ってあげる人に！そんな子育てを結いのまち飯田で一緒にしたいですね。</p>		
他団体との連携が可能なこと・したいこと	小学生・中学生・高齢者、地域の方々との交流		
困っていること			
会員募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育てを応援し、活動を応援して下さる賛助会員を募集しています。
ボランティア募集(募集の場合は○、しない場合は×)	○	条件等	子育て家庭を温かく見守り、親子に楽しく関わってみたいという方 託児サポーターをしていただける方 庭の整備(草取り、剪定、雪かき等)のお手伝いをして下さる方



人と人が手をつないで活動の輪を広げていきます。そしてリンゴの形の輪に「多様な主体の協働によるまちづくり」の精神を込め、ムトス飯田のロゴマークをデザインしていきます。




ムトス飯田
ロゴマーク





～「ムトス」は 地域づくりの合言葉～

ムトス飯田



多様な主体の協働によるまちづくり ムトス飯田

飯田の語源とも言われる「結い」は、「多くの人の協力と役割分担により一つの事を成し遂げる仕組み」であり「協働」です。その前提には一人ひとりの「自立」が欠かせません。飯田のまちづくりの底流には、この長い歴史が息づいています。

●ムトスとは

「ムトス」とは、広辞苑の最末尾の言葉「んとす」を引用したもので、「…しようとする」という意味であり、行動への意志や意欲を表す言葉です。

飯田市は昭和57年「10万都市構想」において理想とする都市像の実現に向けての行動理念として「ムトス」を使用しました。平成19年4月1日施行の飯田市自治基本条例にもムトスの精神について謳われています。「ムトス」を地域づくりの合言葉に、私たち一人ひとりが持つ「愛する地域を想い、自分ができることからやってみよう」という自発的な意志や意欲により、具体的な行動で地域づくりをしていくことをめざします。

<p>■ムトス飯田表彰事業</p> <p>「ムトス飯田の精神を広めるために」という寄付を契機に、昭和60年度に創設されました。毎年、飯田の将来に向けて示唆的で主張ある活動をしている団体・個人を表彰しています。</p>	<p>■ムトス飯田助成事業</p> <p>ムトス飯田推進委員会は、飯田市の交付金を財源に、団体や個人による独創的で波及効果のあるまちづくり活動に対して、助成をしています。</p>
<p>■ムトス飯田交流会・学習会</p> <p>市民協働や相互連携を築くことを目的に、毎年、多くの市民や団体等に呼びかけて、実践事例や課題などを語り合う交流会（または学習会）を開催しています。</p>	<p>■一般社団法人 ムトス飯田市民ファンド</p> <p>市内の特定非営利活動法人を対象に300万円まで「無利子の融資」（貸金業）をしています。</p>

ムトス飯田推進委員会

〒395-8501 飯田市大久保町 2534 飯田市役所内 電話 0265-22-4511

ムトス飯田30周年記念 2015.2作成

ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう！市民協働を推進します